

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画



知（地）のアリーナ

山形県酒田市

(10代 女性 冬・平日の一日)

朝、友達と学校に行く。学校で授業を受ける。16時半に学校を出て、ライブラリーセンターの中にあるオシャレなカフェで友達とおしゃべりして、1時間ほどしたら、近くのラーメン屋で夜ご飯としてラーメンを食べる。(ライブラリーセンターに駅周辺のラーメンガイドがあるので、それを見て行く。)

ラーメンを食べた後、ライブラリーセンターに戻り、友達と終電まで一緒に教え合いながら勉強する。

電車が発車する15分前にライブラリーセンターを出てみると、クリスマスシーズンなので、赤、緑のイルミネーションがきれいで、友達と写真を撮って帰る!

(40代 男性 休日の一)

今日は妻が友達とランチに行くということなので、6歳の娘と2人でデート(子守り)。なるべく節約したいので、ライブラリーセンターに出かけた。

子ども図書を選んでいると、子どもコーナーで紙芝居の読み聞かせをしていて、娘も興味を持っていた。聞くと3歳以上は、コーナーに置いていっていいらしい。娘をコーナーに置いて、自分は大好きな作家の小説を探しに行く。本を持って子どもコーナーに隣接した読書コーナーでゆっくり本を読んだ。隣の子どものコーナーからは笑い声が聞こえる……。30分経過……。

お昼になったので、コンビニでおにぎりを買って、広場の芝生に座って娘と食事。午後3時まで紙芝居があったらしく、午後3時までライブラリーで過ごした。

ゆっくりした幸せな一日だなあ……。

あなたが、将来酒田コミュニケーションポート(仮称)で過ごす

ある一日のストーリー

(60代中頃 男性 今から10年後)

小春日和の日、よちよち歩きの孫を連れて酒田コミュニケーションポートに出かけた。

広場には、子どもたちを連れてきたお母さん、お父さんたちが、たくさん。思い思いに子どもを、そして親同士が楽しんでいる。私も混ぜてもらおうことにしよう。

しばらくして、気になる新刊を探しに図書館へ。その途中、岸洋子、成田三樹夫の映像が流れていた。若いお父さんに、「この人、誰?」「カッコいい」と言われ、説明する。それをきっかけに、本や雑誌を数冊借り、数人で好きな飲み物を片手に酒田トーク。いつの日か再会を誓って、帰宅。

(30代 女性 ある休日)

近く、遠方から友人が酒田に遊びに来るので、最近の最新観光情報を知りたくて、コミュニケーションポートを利用。最新のおススメツアーなど(体験型で酒田を楽しめる)の情報を観光情報センターで教えてもらい、酒田に来て10年が経つ自分自身も満足する。新しい酒田を発見!

併設されている産直・物産コーナーをぶらぶら見ながら、まずはライブラリーセンターへ、しばし読書。気に入った図書を借りる。

帰り際、先ほど見た産直コーナーで、夕飯の食材(地元産)と新作の日本酒(試飲して気に入ったもの)を購入。カフェで図書を読みながら一服して、帰宅。

※第3回市民ワークショップの最後に、将来酒田コミュニケーションポート(仮称)でどのように1日を過ごしたかを参加者に考えてもらったストーリーの一部です。

目次

はじめに	3
1 これまでの経過	4
(1) 施設整備の経緯	4
(2) 酒田コミュニケーションポートの整備の方針	6
2 基本計画策定の目的	7
3 基本計画の位置付け	8
(1) まちづくり全体に関わる計画	8
(2) 関連する主な個別計画	9
4 本市の現状	15
(1) 地勢・交通	15
(2) 人口	15
(3) 歴史・文化	17
(4) 産業・観光	17
(5) 教育	18
(6) 広域圏形成	18
5 市立図書館・酒田駅前観光案内所の現状・課題	20
(1) 市立図書館	20
(2) 酒田駅前観光案内所	22
6 市民意見等の状況	24
(1) 市民アンケート調査結果	24
(2) 高校生アンケート調査結果	29
(3) 市民ワークショップ結果	30
(4) 高校生ワークショップ結果	34
(5) 各団体等意見交換結果	35
7 基本理念	37
8 基本方針	38
9 機能別サービス、整備方針	39
(1) ライブラリーセンター	39
(2) カフェ	49
(3) 観光情報センター	50
(4) 広場	52

(5) 駐車場	53
(6) バスベイ	54
(7) その他	55
10 施設計画	56
(1) 施設整備の基本的な考え方	56
(2) 施設全体の構成・計画に対する留意事項	56
(3) 地域産業支援基本方針及び木材利用促進基本方針に基づく整備の推進	59
(4) 施設各機能の計画の留意事項	59
11 管理運営計画	61
(1) 開館時間及び休館日	61
(2) 運営組織	63
(3) 運営形態	64
(4) 事業計画及び評価	64
(5) 民間施設、周辺関係機関等との連携	64
12 人材の確保及び育成	65
13 市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して	66
14 事業スケジュール	67
資料編	68

まちの再生のシンボルとして

～酒田の新しい船出がここから始まる～

本市の市街地域における人口総数（国勢調査）は、昭和 10 年代後半以降増加し続け、合わせて世帯数も増加し、これに伴い昭和 30 年代後半から市街地の拡大、宅地の拡大が進展していきました。人口総数は平成 7 年がピークとなりましたが、世帯数は、平成 22 年においても、なお伸び、区画整理は平成 17 年まで続きました。

この間、まちの広がりとともに、道路を中心としたインフラ整備も進み、商業環境も大きく変化していきました。酒田駅周辺地区では、平成 9 年に大型商業施設の旧ジャスコが撤退し、酒田の玄関口（顔）といえる場所が、現在に至るまで未利用地として存在しています¹。

これまで、当該未利用地の民間事業者による開発事業が 2 度計画されましたが、実現に至らずにいます。また、全市的な共通課題でもある少子高齢化・人口減少社会が、当地区でも急激に進展し、商店街の空き店舗数も増加し、来街者に、まちの停滞、空洞化を印象づけるものになっていると考えられます。

このような状況を打開し、また、将来にわたり持続するまちづくりへ資するため、旧ジャスコ跡地を中心とする区域において、公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称））の導入を決定し、平成 28 年 7 月には、全国公募により再開発の事業予定者を決定したところであります。

今回の官民複合施設による再開発は、まちに新たな価値を創出し、市民の暮らし・生活の豊かさを実現し、また、酒田駅周辺地区の活性化、中心市街地の均衡ある発展、まちなかへの回遊性の向上等の起爆剤となるまちの再生のシンボルになりたいと考えています。

本市は、長い歴史の中で、湊町酒田として築かれてきた風土があり、「進取の気性（精神）」「公益の心」が息づいていると言われ、まさしく、今回の整備において、その精神・心が求められるものと思います。先人に恥じぬよう、また将来世代へ受け継いでいく責務を持って進めなければなりません。

本書は、今回の再開発で整備される公共施設が、市民に愛され、ともに成長していく施設として実現していくための羅針盤となるため、酒田コミュニケーションポート（仮称）基本計画（以下「基本計画」という。）として定めるものです。

¹ 平成 26 年からは、暫定駐車場として開放している。

1 これまでの経過

(1) 施設整備の経緯

平成9年に旧ジャスコが撤退して以降、当該跡地については、2度にわたる民間事業者による開発事業が実現に至らず、未利用地となっていました。

(酒田駅周辺地区グランドデザイン(平成26年度))

そうした現状を脱却するべく、平成26年度に、市が主体となって、学識経験者、市民代表等からなる「酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会」等から意見を伺いながら、酒田駅周辺地区(約9.0ha)の将来のあるべき姿を再整理し、整備に関する方針を明らかにするため、「酒田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。

当該地区は、中心市街地の他地区と同様に人口の減少と高齢化が進むとともに、空き地や空き家が目立つようになってきています。また、建物の老朽化も進んでおり、緊急車両の通行が難しい細街路も多いことから、災害に対する脆弱性も懸念される状況になっています。

さらには、駅周辺の交通結節機能の分散(駅とバスターミナル)や駅前広場における各機能の充実等の課題を抱えており、公共交通機関の利便性が高い駅前の魅力を生かすことができていません。

このような中、当該地区の求められる機能として、「玄関口機能」「交通結節機能」「市民にぎわい交流機能」「まちなか居住機能」の4つを掲げ、目指すまちづくりの基本理念を「観光起点+市民の憩いの場」と定め、当該地区を起点にまち全体が有機的につながり、来街者、市民がともに回遊を生み出し、それがまちの魅力と利便性を向上させ、「ひと」で賑わう空間を形成していくと位置付けました。

旧ジャスコ跡地と隣接街区の整備の方針としては、「土地活用は空洞化の解消という意味において喫緊の課題であり、市民からの有効活用が強く求められている。また、隣接する街区にある老朽化した高層建築物等を含めた整備の検討も必要なエリアである」との評価を行い、「市民生活の利便を高め、にぎわいと交流を向上させる機能を担う「市民にぎわい交流機能」を中心に短期整備をする」としています。

また、事業実施にあたっては、官民複合施設を想定していくこととしました。

酒田駅周辺地区のまちづくりの基本理念 「観光起点+市民の憩いの場」

【図1】酒田駅周辺地区（酒田駅周辺地区グランドデザインでの位置付け：9.0ha）



（対話型市場調査、整備計画方針（平成27年度））

これを基に平成27年度には整備事業への参加意欲のある民間企業を対象に、実現可能な事業化プランを求め、意見交換を行う対話型市場調査を実施しました。そして、当該調査結果等を踏まえ、本市における行政課題、財政負担、市民の利便性向上、持続可能なまちづくりなど多方面にわたる検討を行い、ライブラリーセンターを中核とした公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称）（以下単に「酒田コミュニケーションポート」という。））の導入を決定し、その他整備区域、事業手法及び公共施設購入基準額を盛り込んだ「酒田駅前整備計画方針」（以下「整備計画方針」という。）を定めております。

（事業者募集（平成27～28年度））

この整備計画方針に基づき、第一種市街地再開発事業を基本として、事業の実施主体となる民間事業者を募集し、提案内容の公開プレゼンテーションや市民アンケート等を踏まえ、平成28年7月に事業予定者を西松建設株式会社に選定しています。

今後、市、事業予定者及び地権者での基本協定締結や都市計画決定、設計等を経て平成32年度の工事完成を目指していくこととなっております。

(2) 酒田コミュニケーションポートの整備の方針

整備計画方針において、酒田コミュニケーションポートの施設コンセプトとして、次のとおりとしています。

**人と人（情報、まち）を繋ぎ、多様なコミュニケーションを創出し、
新しい風・パワーを生み続けるハブ拠点**

導入する機能の整備目的と整備内容は、次のとおりとなっています。

機能	整備目的	整備内容
ライブラリーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を築く人財育成、交流支援機能の充実 ・多様な読書スタイルを提供し、多様なニーズへの対応<学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場> 	<ul style="list-style-type: none"> ・床面積 3,000 m²を基本として整備 ・カフェや憩いの場等として、別途 200 m²を基本として整備 ・蔵書数は、30 万冊（開架 20 万冊、閉架 10 万冊）を参考規模として想定
観光情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の観光案内、情報発信機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・100 m²を基本として整備
広場	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前にはイベント等に活用できる空間がない ・景観形成や憩いの場として 	<ul style="list-style-type: none"> ・1,000 m²を基本として整備
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設利用者及び駅周辺への不特定多数利用者用 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備駐車台数のうち 200 台
バスベイ	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点機能強化のため、駅前バス停を集約 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧ジャスコ跡地の北側（県道沿い）に整備

なお、ライブラリーセンターは、現中央図書館機能も引き継ぐものとし、また観光情報センターは、現駅舎内にある観光案内所を移転・強化するものであります。

○酒田コミュニケーションポート（名称の意味）

人と人（情報、まち）を繋ぎ、多様なコミュニケーションを創出し、新しい風・パワーを生み続けるハブ拠点として活性化を目指したい。ポートには、湊町酒田のイメージと、その場所から街に人々が回遊する（こぎ出す）イメージを込めている。

○ライブラリーセンター（名称の意味）

現在の中央図書館のサービス機能やネットワークを引き継ぎつつ、多様なニーズ等に対応する新しいスタイルの図書館機能づくりを進めるため、新しい施設イメージとして名称をライブラリーセンターとしている。

2 基本計画策定の目的

- 酒田コミュニケーションポートの具体化のため、必要な機能やサービスのあり方等について定めるものです。
- 将来に向けた羅針盤であり、将来の世代への約束・宣言書となるものです。

本基本計画は、酒田駅周辺地区のまちづくりの基本理念や、整備計画方針で定める目指すべき酒田コミュニケーションポートの具現化のため、必要な機能やサービスのあり方等について定めるものです。

なお、策定にあたっては、様々な機会を捉えて幅広く市民からも参画していただき、そこで出された意見等も参考としながら、取りまとめたものです。

本書では、特段、計画期間は定めていません。だからと言って、施設が完成したら基本計画の役割も終わりということではありません。目指そうとしているまちづくりは、施設が完成したら即座に実現するものではなく、完成後も絶え間ない試みを継続していかなければ、達成できません。

また、少子高齢化・人口減少社会の進展や技術革新等により、将来に渡って市民ニーズは益々多様化し、その時代時代で、酒田コミュニケーションポートの役割に変化が求められ、それに柔軟に対応しながら、目的を見失わず、市民に愛される施設として持続していく必要もあります。

そのためにも、本書は、その羅針盤としての役割を果たし、また、将来の世代への約束・宣言書となるものです。

3 基本計画の位置付け

(1) まちづくり全体に関わる計画

○本市のまちづくりの課題を解決し、目指す将来像の実現に資するため、酒田コミュニケーションポールの整備・運営を進めていきます。

① 酒田市総合計画

1市3町による合併後の平成19年9月に策定された「酒田市総合計画」（計画期間は、平成20年度から平成29年度まで）では、「雇用の拡大」と「人口減少の抑制」を最重要課題と捉え、基本理念と都市の将来像を、次のとおりとしています。

<基本理念>

心豊かに健やかで未来に向かうまちづくり 【人】
誇りと信頼にあふれる協働のまちづくり 【ふるさと】
創造が世界に広がる活力あるまちづくり 【交流】

<将来の都市像>

人いきいき まち快適 未来創造都市 酒田

この実現のため、施策の大綱（8つの柱）として

- ・公益の心を育むまち
- ・潤いと美しいが広がるまち
- ・元気があふれるまち
- ・賑わいと活力に満ちたまち
- ・地域力が高いまち
- ・明日を拓く交流のまち
- ・安全と安心を実感できるまち
- ・市民のための質の高い行財政運営

を定め、選択と集中の視点のもと、「雇用創造」「市民元気」「個性創造」「まち快適」を4つの重点プロジェクトとして推進してきています。

計画策定から5年経過した中間見直しにおいては、「人口減少、少子高齢化対策」を市の最重要課題と位置付けています。

なお、現在、平成30年度からの次期酒田市総合計画を策定作業中ですが、本基本計画で定める目標や方針との整合性を図ります。

② 酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

酒田市総合計画を基本に、平成27年10月に策定された「酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間は、平成27年度から平成31年度まで）では、酒田市人口ビジョンに掲げた人口の将来展望（2060年の段階で7万5千人程度）を実現していくため、次の4つの基本目標を掲げています。

- I. “働きたい”がかなう酒田をつくる
- II. 酒田への新しい人の流れをつくる
- III. “結婚・出産・子育ての希望”がかなう酒田をつくる
- IV. “つながり”と“安心”にあふれた「住み続けたい」酒田をつくる

これらの計画及び戦略は、本市の将来を展望する上で最も重要なものであり、駅周辺整備事業や酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業も、これらの計画及び戦略を実現するための施策として位置付けられているところです。酒田コミュニケーションポートの目指すべき方向性、あり方（必要な機能やサービス等）については、これらの上位計画の基本理念等の実現を基本としていくこととなります。

(2) 関連する主な個別計画

○各分野の施策と連携しながら、酒田コミュニケーションポートの魅力づくりを行っていきます。

酒田コミュニケーションポートを構成する機能である「ライブラリーセンター」「観光情報センター」「駐車場」「バスベイ」に関わる個別計画として、次のものがあります。

酒田駅周辺地区のまちづくりや酒田コミュニケーションポートの最終的な目標は、基本計画に基づく展開のみで実現できるものではありません。

厳しい市の財政状況や限られた資源配分を考えれば、自ら単独としてではなく、様々な分野と連携し、有機的に交わりながら、オール酒田を意識し、推進していく必要があります。中心市街地活性化分野、観光分野、公共交通分野等、それぞれが発展していくことが、酒田コミュニケーションポートの更なる活性化にも繋がり、それが魅力的な施設運営になると考えます。

様々な分野とのネットワークを積極的に構築して、進めていきます。

① 酒田市中心市街地活性化基本計画

【中心市街地活性化 × 酒田コミュニケーションポート】

平成27年3月に策定された「酒田市中心市街地活性化基本計画」（計画期間は、平成27年度から平成31年度まで）では、「湊まちルネッサンス（再興）－湊のにぎわいと交流のあるまちづくり－」を基本理念に、「にぎわいあふれる商業のまち」「訪ねて楽しい観光のまち」「市民が集う交流のまち」の3つの基本方針の実現を目標としています。

事業推進にあたっては、中心市街地内に5つの拠点エリア（駅周辺、山居倉庫周辺、中町、港、日和山・台町）を設定し、拠点エリアごとの特色を活かした整備を進め、拠点エリア間の回遊性の向上を図り、相乗効果によるにぎわい創出を図るとして

います。

◆関連する主な取組み内容

・駅周辺エリア

J R酒田駅を中心とした地区である。長年、本市の大きな課題となっている大型商業施設跡地、駅前広場、駅舎を含め、本市の玄関口としてふさわしい駅前地区を目指した整備を図っていく。

・回遊性向上の推進

5つの特色ある拠点エリアを有機的に結び付け、相乗効果を図ることを目的に各エリアの回遊性の向上を図る事業（中心市街地循環バス運行事業、街なかサイン整備事業、観光用自転車運行事業等）を積極的に展開していく。

② 酒田市教育振興基本計画 【教育 × 酒田コミュニケーションポート】

平成22年4月策定の「酒田市教育振興基本計画」（計画期間は、平成22年度から平成31年度まで）では、次の3つの教育目標を定めています。

- ・「いのち」を大切にし、健やかな体と心を持つ人をはぐくむ
- ・「まなび」を通して、自立する人をはぐくむ
- ・広い「かかわり」の中で、郷土を愛し、公益の心をもって社会に貢献する人をはぐくむ

◆関連する主な教育施策内容

○基本的方向 世代を超えてまなびあう

○図書館活動の充実

○図書館機能の充実<図書館>

- ・年齢・性別・月別等のデータを分析し、個別需要に応じた適切な選書
- ・多方面での情報収集により郷土資料や本市出身の作家関係資料の収集
- ・中央図書館、各分館、ひらた図書センターや東北公益医科大学メディアセンターとの連携により、市民の要望への対応、利便性の向上
- ・図書館施設の整備の検討
- ・展示スペースの拡大、来館者に新鮮な情報提供、利用者のスキルアップを目的にした講座の開催
- ・高齢者や視覚障がい者への利用拡大のため、大活字本や朗読CDのさらなる充実
- ・雑誌スポンサー制度を導入して、企業の宣伝と社会活動の場の提供と雑誌閲覧の充実

③ 酒田市生涯学習推進計画 【生涯学習 × 酒田コミュニケーションポート】

平成25年4月策定の「酒田市生涯学習推進計画」（計画期間は、平成25年度から平成31年度まで）では、「「いつでも」「どこでも」「だれでも」 つなげよう

学び 公益の心 拓こう明日の酒田～学びの扉を開けてみよう～」をキャッチフレーズとし、次の3つの基本目標を定めています。

- ・『人づくり』・・・学びで高めよう公益の心
- ・『仲間づくり』・・・学びで広げよう仲間の輪
- ・『地域づくり』・・・学びの成果をつないで興そう地域コミュニティ

◆関連する主な施策の展開

- ・人材の活用と育成
- ・高度情報化等利用者ニーズへの対応
- ・乳幼児期：親子でのふれあいをはぐくむ機会の充実
- ・少年期：「生きる力」をはぐくむための学習機会の提供
- ・地域生涯学習関連施設の有効活用

④ 酒田市子ども読書活動推進計画

【子ども読書 × 酒田コミュニケーションポート】

平成28年3月策定の「酒田市子ども読書活動推進計画」（計画期間は、平成28年度から平成32年度まで）では、次の基本方針を定めています。

- ・幼少期に身に付けた読書習慣を生涯にわたり継続できるよう支援する

- 1 子どもたちの身近に本があること
- 2 子どもたちの身近に本に親しむ場所があること
- 3 子どもたちの身近にいる大人たちが、子どもと本をつなぐこと

その中で、新重点施策として「「読書手帳」を活用しよう」「「家読（うちどく）」をはじめましょう」を打ち出しています。

◆4つの施策体系

- ・家庭における読書活動の推進
- ・保育園・幼稚園等における読書活動の推進
- ・地域における読書活動の推進
- ・学校における読書活動の推進

⑤ 酒田市子ども・子育て支援事業計画（酒田っ子すくすくプラン）

【子育て × 酒田コミュニケーションポート】

平成27年3月策定の「酒田市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間は、平成27年度から平成31年度まで）では、基本理念として、家庭、地域、社会が全体で、次のことを目指すとしています。

- ・すべての子どもが大切にされ健やかに成長できるまち
- ・子育てに喜びや生きがいを感じられるまち
- ・子どもを生み育てやすいまち

その上で、次の2つの目標を設定しています。

- ・【子どもの姿】 生きる力と豊かな心で たくましく未来をつくる 酒田っ子

- ・【まちの姿】 家庭 地域 社会 みんなで支え育むまち 酒田

◆関連する主な施策方針

- ・子どもと保護者の居場所づくりの推進
- ・子どもの生きる力の育成に向けた学校等の教育環境の整備
- ・家庭や地域の教育力の向上

⑥ 酒田市中長期観光戦略 **【観光 × 酒田コミュニケーションポート】**

平成 28 年 3 月策定の「酒田市中長期観光戦略」（計画期間は、平成 28 年度から平成 37 年度まで）では、次の 7 つの方針を定めています。

- ・「これなら人を呼べる酒田の“ウリ”」の確立
- ・既存観光資源のリノベーションと新たな観光資源の活用
- ・酒田の「オリジナル・ストーリー」の確立
- ・酒田の個性を光らせる「サブ・ストーリー（新酒田物語）」の創出
- ・地域の総合力を活かす
- ・庄内地域が連携して取り組む広域観光連携
- ・酒田の観光の魅力の発信

その上で、オリジナル・ストーリーを、“交易”と“公益”を 2 つの柱として、「K O E K I（交易と公益）のまち・酒田～港町文化とおもてなしのまち・酒田～」と設定し、酒田の「強み」である「歴史・伝統」「食・食文化」「自然景観」「公益と豪商」を 4 つのサブ・ストーリーとして設定しています。

なお、本戦略のスローガンは、「広めよう！“酒田自慢” 増やそう！“酒田ファン”」としています。

◆関連する主な取組み内容

- ・地域の商工関係者や市民を巻き込んで、地域の総合力を活かせる体制構築とプログラムづくり
- ・回遊性を高める観光ルートの創設（施策例として）
- ・街あるき観光の推進（施策例として）
- ・広域観光圏との連携
- ・地域プラットフォームの創設

⑦ 酒田市地域公共交通網形成計画

【公共交通 × 酒田コミュニケーションポート】

平成 28 年 7 月策定の「酒田市地域公共交通網形成計画」（計画期間は、平成 28 年度から平成 32 年度まで）では、「人と地域の交流を支える公共交通～市民とともに、持続可能な交通網を形成し、コンパクト＋ネットワークを実現～」を基本理念とし、「将来のまちの姿を見据えた持続可能な公共交通」「地域の交流・発展を支える

公共交通」「市民協働で取り組み、利用者目線で考える公共交通」の3つを基本方針としています。

◆関連する主な取り組み内容（重点事業）

- ・市街地における拠点の整備
酒田駅前付近・中町・日本海総合病院を市街地における主要拠点として位置付け、乗り入れの充実や交通機関同士の乗り継ぎしやすさの向上、快適な待ち合い環境の確保等を図ります。
- ・主要拠点間の交通ネットワーク充実
- ・交通拠点における接続性向上
- ・待合環境の確保
- ・観光バス車両の新たな活用

⑧ 酒田市公共施設適正化基本計画

【公施適正 × 酒田コミュニケーションポート】

平成27年3月策定の「酒田市公共施設適正化基本計画」（計画期間は、平成27年度から平成66年度まで）では、「量的マネジメントー施設総量の削減ー」「質的マネジメントーサービスの向上ー」「財政的マネジメントー運営等の効率化ー」を公共施設適正化マネジメントの3原則としています。

◆関連する主な施策方針

- ・施設の複合化・多機能化
- ・ひとや環境に優しい公共施設の実現
- ・公民連携等による経費の抑制

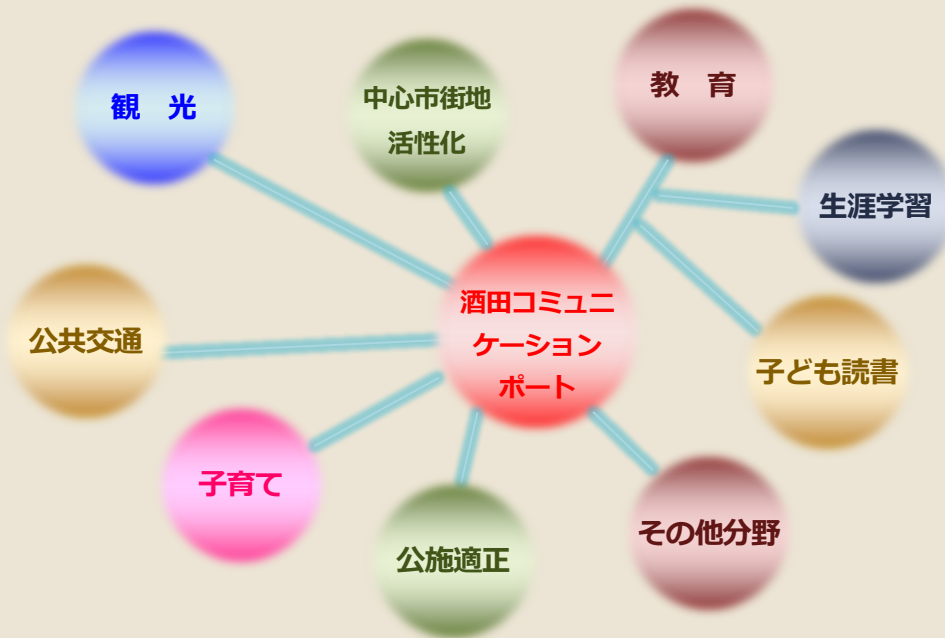
このほかにも、福祉・医療、スポーツや市民ボランティア、民間の経済活動等、様々な分野が活動されており、縦割りでない連携を図ります。もちろん、「選択と集中」の視点を持ちつつ、酒田コミュニケーションポートの運営を通じて本市の地域課題の解決に資していく必要があります。

将来の市の都市像（市総合計画）

酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略



連携し、つながって、本市の地域課題の解決に資する



4 本市の現状

(1) 地勢・交通

本市は、山形県の北西部、庄内地方の北部に位置し、北は秀峰鳥海山を望み、東は出羽丘陵を背にし、南はほぼ庄内平野の中央に達し、西は日本海に面しています。また、鳥海山から発する日向川、県を縦貫する母なる川最上川が、砂丘帯を貫き日本海に注いでいます。酒田沖の県唯一の有人離島・飛島は、鳥海山とあわせ鳥海国定公園に指定されています。

交通では、空路は庄内空港が、鉄道はJR羽越本線が通っています。また、高速道路は、日本海沿岸東北自動車道が、地域高規格道路では、新庄酒田道路が走っています。

酒田港は、県唯一の重要港湾、国際貿易港となっています。

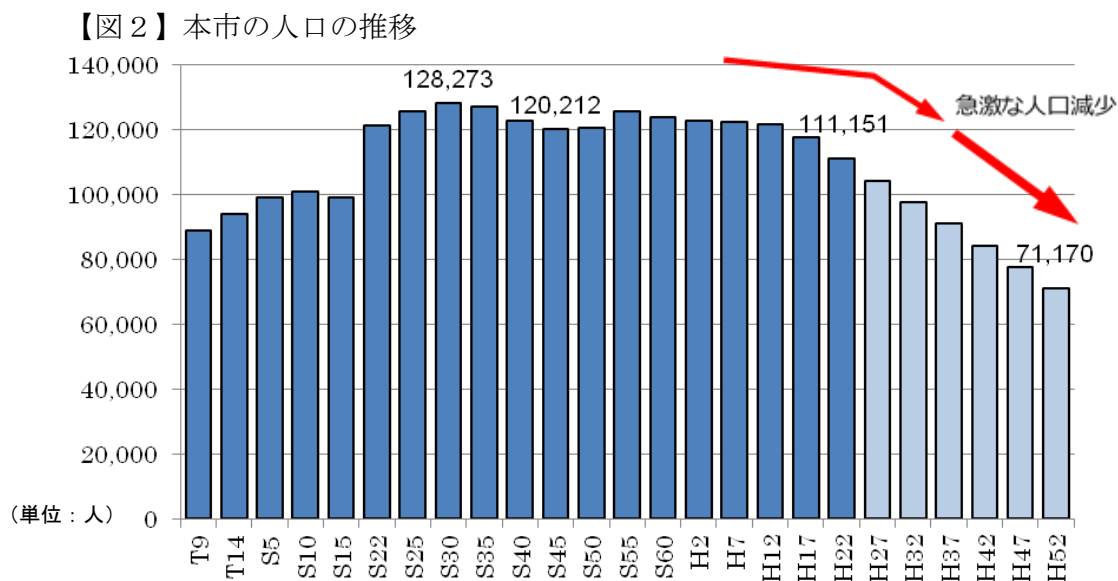
(2) 人口

本市の人口は、昭和30年（1955年）の128,273人をピークに減少し、昭和50年代に一旦回復したものの、その後は減少の一途をたどっています。

その中においても、酒田駅周辺地区を含む中心市街地内の居住人口は、全市の減少率よりも高い減少幅となっています。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の推計によると、平成52年（2040年）には全市で71,170人となり、平成22年（2010年）に比べると36%の減少となっています。

本市が平成27年度に策定した人口ビジョンでは、平成52年（2040年）に86,000人程度、平成72年（2060年）に75,000人程度の人口が確保されるとしています。



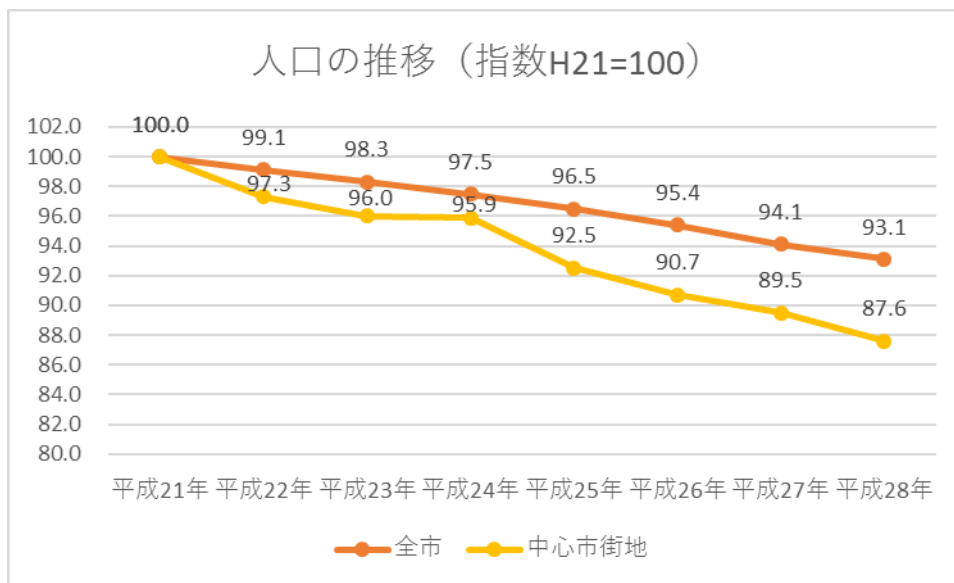
資料：「国勢調査」（総務省）、「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月、社人研）

【表1】 全市と中心市街地の人口の推移

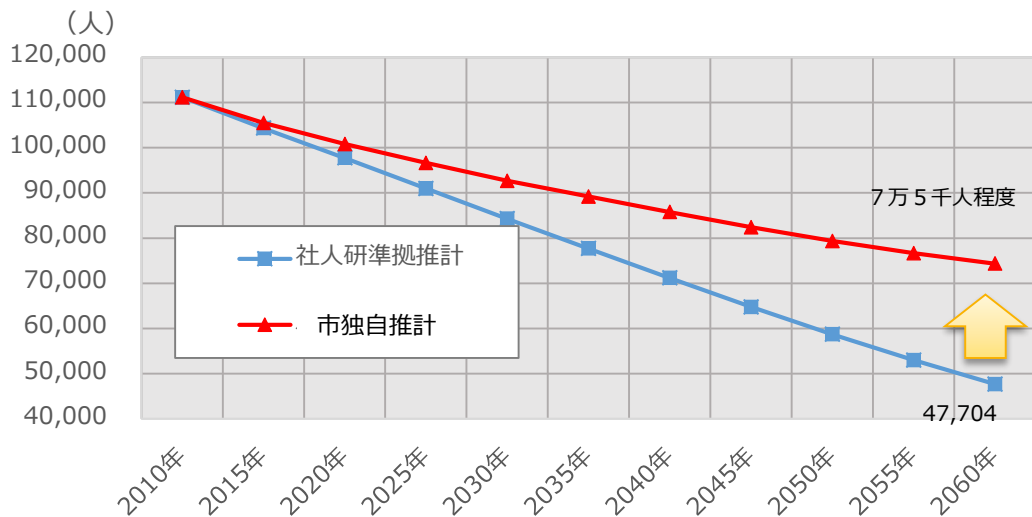
年次	全市		中心市街地		b/a (%)
	人口 (a)	指数	人口 (b)	指数	
平成 21 年	113,591	100.0	2,923	100.0	2.57
平成 22 年	112,587	99.1	2,844	97.3	2.53
平成 23 年	111,672	98.3	2,805	96.0	2.51
平成 24 年	110,771	97.5	2,803	95.9	2.53
平成 25 年	109,595	96.5	2,705	92.5	2.47
平成 26 年	108,335	95.4	2,651	90.7	2.45
平成 27 年	106,939	94.1	2,615	89.5	2.45
平成 28 年	105,708	93.1	2,562	87.6	2.42

資料：各年 9/30 現在の住民基本台帳

(注) 中心市街地の範囲は、中心市街地活性化基本計画に定める範囲と同じ。



【図3】 酒田市人口ビジョン (2015~2060)



(3) 歴史・文化

湊町・酒田の歴史は、徳尼公と秀衡の遺臣 36 騎により始まると言われています。

江戸時代には、河村瑞賢による西廻航路が開かれ、米の集積地・積出港となった酒田は大いに栄えます。北前船が往来する酒田には、全国から人や物が集まり、華やかな湊町文化が形成されました。

そうした繁栄の中から、「本間様には及びもせぬが、せめてなりたや殿様に」とまで謳われた豪商・本間家が生まれます。本間家三代当主・光丘は、防砂林の植林、庄内藩の財政再建、飢饉への備えなどに多大の功績を残しました。世のため人のためを思う「公益の心」は、今でも大切に受け継がれています。

近代に入ってから、港湾都市、米どころとして知られ、戦後は昭和 51 年の「酒田大火」も乗り越えてきました。平成 17 年には、酒田市、八幡町、松山町、平田町の市町が合併し、現在の新酒田市が誕生しています。

本間家の栄華は、本間家旧本邸、本間美術館、光丘文庫などに偲ぶことができます。江戸時代から続く酒田まつり、料亭の文化にも、湊を通して栄えた酒田の歴史と文化が色濃く残ります。

(4) 産業・観光

平成 22 年国勢調査に基づく産業別就業人口割合は、第 1 次産業 8.3%、第 2 次産業 25.3%、第 3 次産業 63.2%となっております。

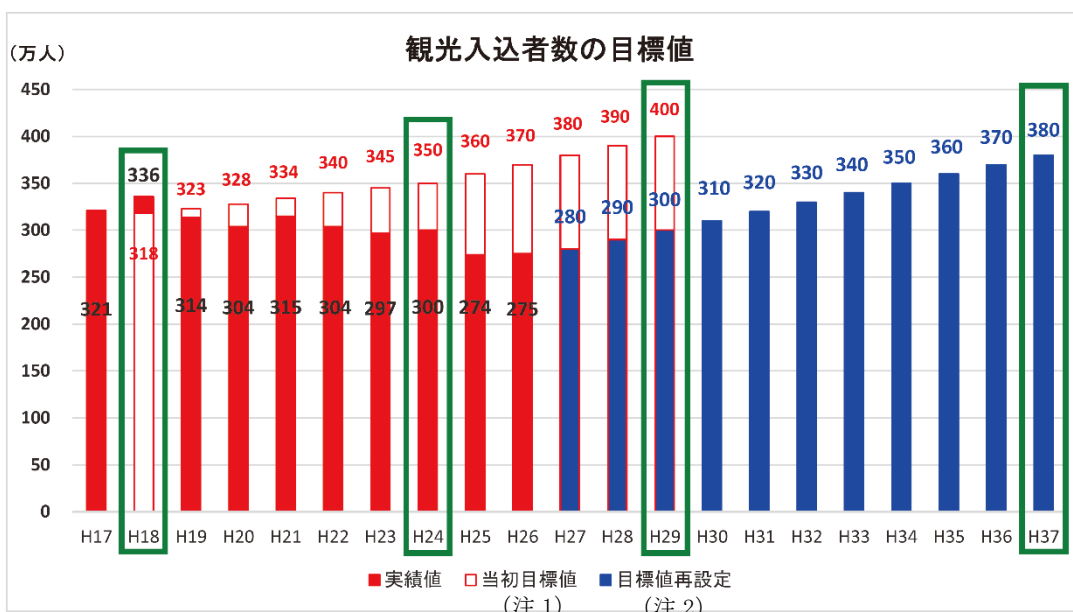
農産物、海産物が豊富で、庄内米、刈屋梨、メロン、いちご、平田赤ねぎ、寒鱈、紅えび、トビウオ、岩牡蠣、イカなど、特産品には枚挙にいとまがありません。全国的に高い評価を受けている日本酒や、酒田のラーメンも、酒田名物として全国に知られるようになりました。さかた海鮮市場、みなと市場等の市内各所で、これらの食を堪能することができます。

観光資源としては、本間家ゆかりの本間家旧本邸、本間美術館、光丘文庫（平成 28 年 10 月現在閉館中）のほか、湊の栄華が偲ばれる山居倉庫、独特の雅な文化が残る相馬樓や山王くらぶ、郷土の偉人を顕彰する土門拳記念館などがあります。

観光入込者は、平成 26 年時点では、平成 17 年に比べ、庄内地域全体は増加しているものの、本市は約 14%減少している状況です。中長期観光戦略に基づき各種施策を展開し、平成 37 年度には 380 万人を目指していきます。

平成 28 年 9 月には「鳥海山・飛島ジオパーク」の日本ジオパークネットワークへの加盟が認められ、ジオ・ツーリズムなどとともに「酒田の成り立ち」への注目が今後、高まることが期待されます。また、国内外のクルーズ客船誘致にも力を入れています。

【図4】観光入込数の目標値



(注1) 酒田市観光基本計画（平成20年3月策定）による目標値
 (注2) 酒田市中長期観光戦略（平成28年3月策定）による目標値

(5) 教育

本市には、市立小学校が25校（飛鳥小学校が平成28年10月5日で休校）、市立中学校が8校、高等学校（県立及び私立）が6校（通信制を含む）、特別支援学校が1校、大学・専修学校が3校あります。そのうち、小学校の5校が改編の対象となっており、平成29年度には22校となる予定です。

平成27年5月1日現在では、児童・生徒数は、小学生が5,125人、中学生が2,925人、高校生が3,102人となっております。

社会教育施設・文化施設として、総合文化センター、出羽遊心館、公益研修センター、市立資料館、旧鑑屋、市美術館、酒田海洋センター、松山文化伝承館、松山城址館、ひらた生涯学習センター等です。

子育て支援関連施設としては、平成28年度では、認可保育所が31カ所、認定こども園が3カ所、幼稚園が6園あります。

(6) 広域圏形成

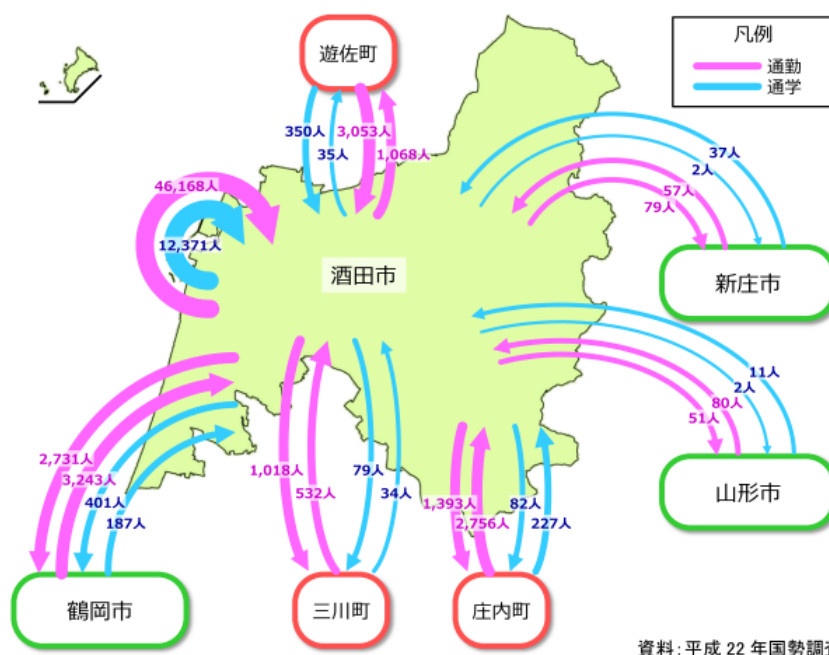
本市は、平成27年3月に三川町、庄内町、遊佐町とともに、「庄内北部定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。

本市は、「庄内北部定住自立圏」の中心市として、「定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る」ことを役割としています。

観光圏としても、高速道路のミッシングリンクの早期解消や、羽越本線、陸羽西線の高速化、新幹線延伸等の可能性を踏まえながら、交流人口の拡大が想定されます。「鳥海山・飛島ジオパーク」における連携の推進も期待されています。

こうした生活圏や観光圏の拡大は、中心市街地の活性化にも大きく寄与することが期待されます。

【図5】通勤・通学流動



【表2】商圈

項目	商品総合	外食	レジャー・娯楽
第1次商圈 (吸引力30%以上)	酒田市 遊佐町	酒田市 遊佐町 庄内町	酒田市 遊佐町
第2次商圈 (吸引力15%以上 30%未満)	庄内町		庄内町
第3次商圈 (吸引力5%以上 15%未満)		三川町 鶴岡市	三川町 鮭川村

資料：平成24年度山形県買物動向調査

5 市立図書館・酒田駅前観光案内所の現状・課題

(1) 市立図書館

現中央図書館は、昭和 57 年に総合文化センター内に設置されました。延床面積は 1,449.33 m²となっております。

市立図書館全体の主要統計指標の推移は、表 3 のとおりとなっております。

蔵書冊数は伸び、登録者数も大きな変化がないにもかかわらず、館外貸出人数及び館外貸出冊数は頭打ちであり、直近の 5 年間では減少に転じています。

同様に減少で推移しているのは、入館者数です。館外貸出者数と入館者数は、同じような下降線をたどっています（表 3 参照）。蔵書の増加が来館増に結びつかず、入館者の減少＝貸出者数の減少だとすると、図書館は来館者を増やすために、新たなサービスの開発等の方策を検討する必要があります。

人口規模の近い国内の 14 自治体の図書館統計と比較したのが、表 4 です。

本市は、蔵書密度（人口一人当たりの蔵書数）、貸出密度（人口一人当たりの貸出数）ともに平均を下回っており、本館の占有延床面積では最も狭くなっています。図書館サービスの充実に向けた方策の検討が求められます。

【表 3】市立図書館の主要統計指標の推移（単位：冊、人）

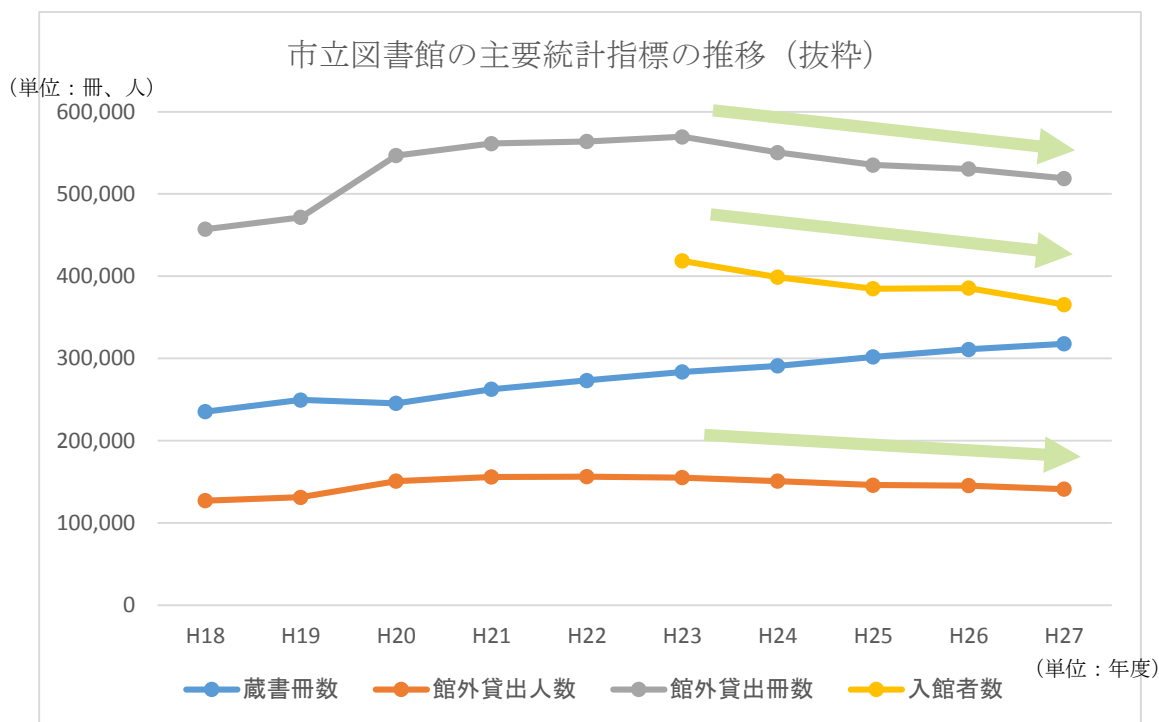
指 標	H18	H19	H20	H21	H22
有効登録者数	19,796	17,516	17,483	18,255	17,327
蔵書冊数	235,258	249,469	245,359	262,572	273,357
館外貸出人数	127,161	131,126	150,842	155,889	156,330
館外貸出冊数	457,324	471,662	546,768	561,434	563,882
入館者数	—	—	—	—	—
1日当たりの館外貸出人数	370.7	386.8	437.2	450.5	458.4
1日当たりの館外貸出冊数	1,333.3	1,391.3	1,584.8	1,622.6	1,653.6
1人1回当たりの館外貸出冊数	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
人口1人当たりの館外貸出冊数	3.9	4.1	4.8	5.0	5.0
人口1人当たりの入館者数	—	—	—	—	—
登録率	15.3%	15.3%	15.3%	16.2%	15.5%
蔵書回転率	1.9	1.9	2.2	2.1	2.1

指 標	H23	H24	H25	H26	H27
有効登録者数	17,239	17,056	16,862	16,403	18,796
蔵書冊数	283,663	290,962	301,974	310,972	317,840
館外貸出人数	155,163	150,826	145,955	145,364	141,195
館外貸出冊数	569,505	550,436	535,245	530,560	519,019
入館者数	418,750	398,895	384,886	385,639	365,638
1日当たりの館外貸出人数	447.2	439.7	431.8	422.6	421.5
1日当たりの館外貸出冊数	1,641.2	1,604.8	1,583.6	1,542.3	1,549.3
1人1回当たりの館外貸出冊数	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7
人口1人当たりの館外貸出冊数	5.1	5.0	4.9	4.9	4.9
人口1人当たりの入館者数	3.78	3.63	3.54	3.59	3.44
登録率	15.6%	15.5%	15.5%	15.3%	17.7%
蔵書回転率	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6

資料：図書館の概要（酒田市教育委員会発行）

（注1）蔵書冊数、貸出人数及び貸出冊数には、光丘文庫分は含まれず、中央図書館、八幡分館、松山分館及びひらた図書センターの合計となります。

（注2）入館者数には、松山分館及び光丘文庫分は含まれず、中央図書館、八幡分館及びひらた図書センターの合計となります。



【表4】人口近似自治体の図書館における蔵書密度及び貸出密度の比較

(単位：人、m²、冊)

県	市	人口	本館専有 延床面積	蔵書数	蔵書 密度	貸出数	貸出 密度
福岡県	筑紫野市	102,228	2,213	270,000	2.64	677,000	6.62
新潟県	三条市	102,489	2,233	342,000	3.34	461,000	4.50
大阪府	池田市	102,964	2,512	347,000	3.37	683,000	6.63
長野県	飯田市	105,549	2,507	737,000	6.98	770,000	7.30
岡山県	津山市	105,557	3,229	441,000	4.18	561,000	5.31
鹿児島県	鹿屋市	105,607	2,073	194,000	1.84	330,000	3.12
埼玉県	富士見市	108,469	4,464	486,000	4.48	609,000	5.61
石川県	小松市	108,980	1,840	250,000	2.29	389,000	3.57
山形県	酒田市	109,358	1,449	324,000	2.96	529,000	4.84
茨城県	筑西市	109,563	4,673	375,000	3.42	379,000	3.46
茨城県	取手市	109,595	1,528	341,000	3.11	658,000	6.00
千葉県	鎌ヶ谷市	109,695	1,634	301,000	2.74	377,000	3.44
埼玉県	ふじみ野市	110,121	2,772	529,000	4.80	909,000	8.25
福岡県	春日市	111,702	2,632	309,000	2.77	792,000	7.09
平均		107,277	2,554	374,714	3.50	580,286	5.41

資料：日本の図書館 2015（日本図書館協会発行）

(注1) 本市の本館は、中央図書館を指します。

(注2) 蔵書数及び貸出数は、それぞれ本館、分館等を含めた総数です。本市の場合は、光丘文庫分も含まれます。

(2) 酒田駅前観光案内所

現在の酒田駅前観光案内所は、JR酒田駅構内の一角、8.9 m²を賃借して設置されて

おり、市が（一社）酒田観光物産協会に委託して運営されています。

案内件数などの推移は、次のとおりです。

年度	酒田駅前観光案内所利用数（単位：件、人、台）				予約ガイド利用数	
	案内件数	案内人数	内外国人	自転車 貸出台数	団体数	団体人数
H24	11,936	16,826	213	4,710	110	2,519
H25	11,092	15,758	220	4,080	168	3,255
H26	12,447	17,211	313	5,027	131	2,229
H27	12,297	16,857	401	4,900	124	2,712

案内件数は、ほぼ横ばいですが、外国人への案内が増加しています。しかし、現

在は外国人観光客への対応は困難であり、窓口の狭隘さ、運営を実際に担っているガイド協会会員の高齢化などが課題となっています。

6 市民意見等の状況

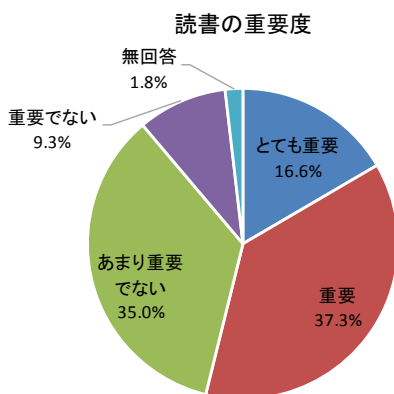
平成 28 年度に実施しました市民アンケート調査結果等については、次のとおりとなっております。詳細については、資料編に掲載しています。

(1) 市民アンケート調査結果

- ・ 調査期間 平成 28 年 8 月 1 日～同年 8 月 22 日
- ・ 回収サンプル数 869 件

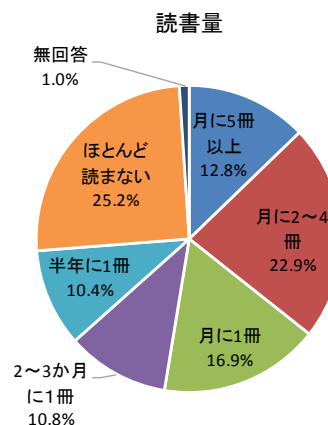
① 読書に関する状況について

ア 読書の重要度



重要度が高いと考えている層が、5割以上を占めました。

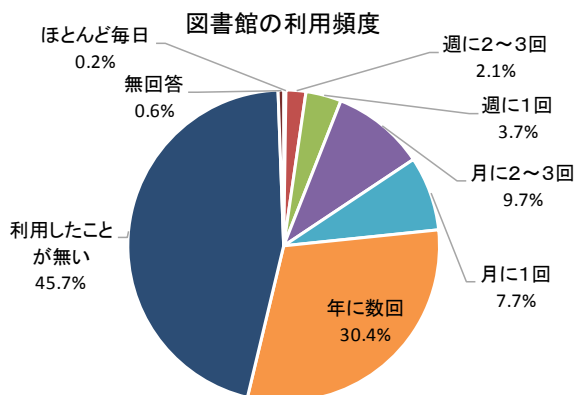
イ 読書量



月2冊以上読む人と、ほとんど読まない人がそれぞれ4分の1以上であり、ばらつきが見られました。

② 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

ア 利用頻度



全体的に図書館利用経験が、少ないことが分かりました。

イ 利用目的（上位5つの回答）

利用目的	件	割合
図書を借りるため	331	70.1%
気分転換、リフレッシュするため	161	34.1%
館内での図書、新聞等を閲覧するため	154	32.6%
宿題、勉強をするため	111	23.5%
子ども等の付添いのため	68	14.4%

図書を借りる以外にも、特に目的が無くとも気軽に行ける場所という捉えられ方をしていることも伺えます。

ウ 利用しない理由(上位5つの回答)

利用しない理由	件	割合
本は購入して読んでいる	169	42.6%
本をあまり読まない	132	33.2%
忙しくて行く暇がない	123	31.0%
自宅や学校、勤務先から遠い	92	23.2%
場所や利用の仕組みが分からない	81	20.4%

エ 充実してほしいもの(上位5つの回答)

充実してほしいもの	件	割合
居心地の良い空間	450	51.8%
書籍、雑誌等の充実	396	45.6%
交通の利便性・駐車場の充実	270	31.1%
インターネットやWi-Fi環境の充実	223	25.7%
書籍、雑誌、資料等の探しやすさ	211	24.3%

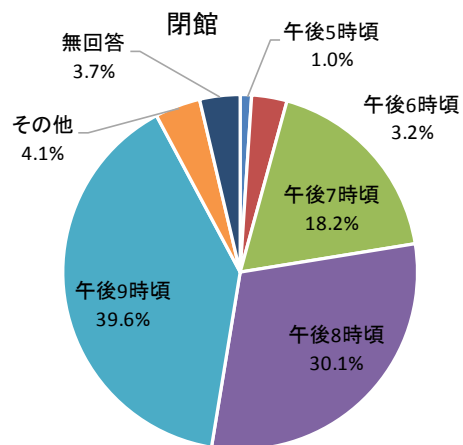
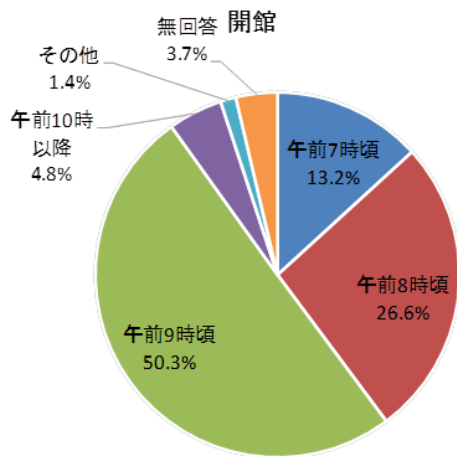
③ 酒田コミュニケーションポート(仮称)について

ア ライブラリーセンターで何ができれば良いか(上位5つの回答)

何ができれば良いか	件	割合
目的がなくても気軽に立ち寄れる	429	49.4%
くつろぎながら読書ができる	286	32.9%
飲食ができる	273	31.4%
仕事、学校帰りに気軽に立ち寄れる	258	29.7%
静かな部屋で調査や自習ができる	211	4.3%

多様な使われ方が、求められていると想定できます。

イ ライブラリーセンターの開館時間



ウ 広場で何ができれば良いか
(上位5つの回答)

何ができれば良いか	件	割合
休憩ができる	430	49.5%
飲食ができる	424	48.8%
イベントの開催	410	47.2%
待ち合わせや談話ができる	361	41.5%
緑を感じることができる	328	37.7%

エ 駅前への交通手段は何ですか
(上位5つの回答)

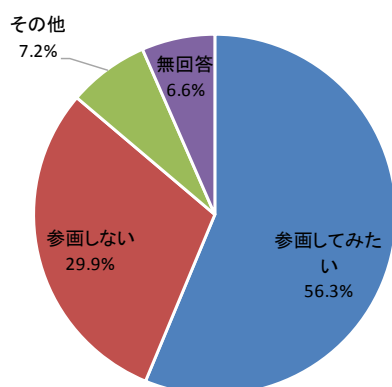
交通手段	件	割合
自動車	603	69.4%
自転車	181	20.8%
バス	100	11.5%
徒歩	84	9.7%
電車	38	4.4%

オ 観光情報センターに求めるサービス (上位5つの回答)

求めるサービス	件	割合
休憩ができる (カフェ等を含む)	418	48.1%
お土産品の充実	380	43.7%
インターネットやWi-Fi環境の充実	190	21.9%
ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信	137	15.8%
バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介	135	15.5%

カ イベント企画や施設運営等への参画

運営等への参画



「その他」でも、内容による、時間が合えば、という回答が多くあり、関心は高いことが伺われました。

④ クロス集計分析

ア 図書館を利用したことが無い市民の分析

- ・読書の重要度や読書量が全体より低く、図書館を利用しない理由も、本を読まない、購入するという割合が高い。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、蔵書の充実より、気軽に立ち寄れる、飲食ができるという回答割合が全体より高い。
- ・イベント企画や施設運営等への参画も「してみたい」という回答が多く、きっかけさえあれば、参画する意欲はあると考えられる。



- 蔵書の充実では、利用者には結びつかない層である。
- 気軽に立ち寄れるきっかけ（イベント、居心地の良い空間等）があれば、利用者になる可能性がある。
- イベント企画や施設運営等に参画する意欲が高いため、その場づくりが利用者となるポイントである。

イ 中学生、高校生、専門学校生・大学生及び20歳代の分析

- ・年齢が上がるにつれ、読書の重要度が低くなっている。読書量では、ほとんど読まないという回答が、特に高校生に多く見られた。
- ・図書館を利用しない理由として、アクセスの悪さ、時間がない、本は購入して読んでいるという回答が高くなった。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」「飲食ができる」が共通して支持があった。
- ・イベント企画や施設運営等への参画も「してみたい」という回答が多く、特に、10歳代は、世代間で最も高く、参画する意欲はあると考えられる。



- 中学生から高校生への過程で、読書の習慣を持続させる取組が必要である。
- 蔵書以外の施設の魅力を持たせる必要がある。
- 施設へのアクセスの改善が求められる。
- 飲食ができ、目的がなくても立ち寄れる気軽さづくりが、若者たちの居場所となるためには必要である。
- イベント企画や施設運営等に参画する意欲がとて高いため、その場づくりが利用者となるポイントである。

ウ 午後9時頃の閉館希望者の分析

- ・年齢では、10歳代～50歳代で支持が最も多くなっている。60歳代では2番目、70歳以上では3番目に下がる。

- ・職業別では、午後 9 時頃と回答した人の 37.5%を会社員が占める。
- ・図書館の利用頻度が低い人が、回答者の 78.8%を占める。
- ・図書館で充実してほしい機能として、「利用しやすい開館日・開館時間」、
「インターネットや Wi-Fi 環境の充実」と回答した人の半数以上が選択している。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかについて、「飲食ができる」と回答した人の約半数が選択している。



○あまり利用していない層が来館するきっかけの一つとなり得る。
○午後 9 時頃まで開館していれば利用しやすいと感じる人が多く、インターネットや Wi-Fi が使え、飲食ができれば、さらに利用動機が高まる。

エ 図書館の定期的利用者（月に 2～3 回以上利用すると回答した方）の分析

- ・女性が 70.6%を占めている。年代は 40 歳代（23.5%）、10 歳代（22.8%）、60 歳代（13.2%）の順に多くなっている。
- ・読書の重要度が高いと考えている人が 87.5%、本を月に 2 冊以上読む人が 72.1%を占めている。図書館の利用目的も「図書を借りるため」が 84.6%、図書館で充実してほしい機能も「書籍、雑誌等の充実」が 62.5%に上る。
- ・ライブラリーセンターで何ができれば良いかでは、「静かな部屋で調査や自習ができる」「くつろぎながら読書ができる」の回答割合が全体より 5 ポイント強上回っている。
- ・一方で、図書館で充実してほしい機能で「居心地の良い読書空間」、ライブラリーセンターで何ができれば良いかで「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が「くつろぎながら読書ができる」よりも 10 ポイント高い。



○本や読書に関するニーズが高い層である。
○資料の充実、静かな読書環境が図書館に求められている。
○現在の図書館でもニーズには、一定程度応えていると考えられるが、この層からも居心地の良い空間、目的がなくても気軽に立ち寄れる雰囲気なども求められていると言える。

⑤ アンケート結果からの考察

以上の結果を踏まえ、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画を策定するあたり、検討するにあたってのポイント（視点）は、次のとおりです。

- 図書館利用経験が全体的に少ない。

- 「場所や利用の仕組みが分からない」という市民も2割を超えている。
- 観光の面では、お土産品の充実の声が多い。
- 駐車場の充実、アクセスの改善を求める声が多い。
- 子ども連れや高齢者、障がい者が利用しやすい、若者が集えるような施設にしてほしいという回答が多い。
- イベント企画や施設運営等への参画意欲が高い。



- 新しい機能（カフェ、飲食可能、Wi-Fi環境等）をもつライブラリーセンター
- 施設の積極的なPR活動、情報発信の充実
- お土産品の充実の声が多く、地元企業等と連携した販売方策の検討
- 公共交通の充実の検討
- 開館時間の延長
- 対象別（世代別等）の方策、住み分けを意識した施設づくり（ゾーニング）の検討
- 市民参加の場面を組み込んだ施設の運営のあり方の検討

(2) 高校生アンケート調査結果

- ・調査期間 平成28年8月25日～同年9月1日
- ・回収サンプル数 694件

① 通学途中や休みの日等に、利用しやすい、利用したくなる駅前公共施設となるため、必要な機能、スペース、設備、サービス等（上位5つの回答）

必要な機能等	件	割合
インターネットやWi-Fi環境の充実	500	48.1%
自由に飲食できるスペースがほしい	405	43.7%
勉強できる場所の充実	264	21.9%
友人と雑談しながら、本を読む場所	182	15.8%
屋外でも休憩できるようなテラスやベンチの設置	176	15.5%

※マンガをたくさん置いてほしい（男性の回答で上位）



図書資料や読書スペースの充実 < 交流・滞在型の機能

② 主な自由意見

- ・カフェが欲しい（価格設定や雰囲気で中高生が入りやすいようなカフェ）
- ・買い物ができる場所や友人と遊べる場所が欲しい
- ・静かにするスペースと賑やかにできるスペースを分けて欲しい（目的によって使用するスペースを変えたい）

一人でゆっくり静かに過ごす < 友人等と交流できる場所

図書資料や読書スペースの充実に直接つながるものよりも、交流・滞在型の機能を求める傾向が強く見られました。

唯一、属性比較で傾向が違ったのが男性で、「マンガをたくさん置いてほしい」が上位5つの中に選択されています。

自由意見の傾向からは、一人でゆっくり静かに過ごすよりも、友人等と交流できる場所を求めていることがわかりました。

(3) 市民ワークショップ結果

回	テーマ	日時	場所	参加者数
1	新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう	・平成28年9月22日（木） ・9:30～12:30	交流ひろば 1階	30
2	酒田らしさを施設に活かそう	・平成28年10月2日（日） ・9:30～12:30	同上	24
3	新しい施設の使い方を考えよう	・平成28年10月22日（土） ・13:00～16:00	同上	19



① 第1回のまとめ

「新しい施設に必要なと思う機能、欲しいと思う機能」について、「ライブラリーセ

ンター」「観光情報センター」「カフェ」「広場・駐車場・バスベイ」の4つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、ディスカッションを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

○ライブラリーセンター

機能	アイデア
勉強・仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード付の自由に使われる会議室、打合せスペース ・ビジネス支援コーナー（就業や企業に役立つ情報と書籍）
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・本の宅配貸し出しサービス、郵便で返却できる ・他図書館の本も借りられるシステム ・お勧めの本を紹介してくれるサービス ・小中学生の宿題や自由研究のサポートをしてくれるボランティア ・コンシェルジュの設置
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・快適なトイレ ・ちょっとした買い物ができる機能を併設 ・固定イスでなく自由に変えられる小スペース

○観光情報センター

機能	アイデア
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 機能
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報誌にない観光情報の提供 ・観光ガイドの強化（ガイド養成） ・郷土芸能、文化、歴史がわかる展示施設
買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・地酒を試飲できてその場で購入できる ・地元食材、郷土料理の実演販売 ・お土産品（食品）を販売しているスペース

○カフェ

機能	アイデア
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のメニュー
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の飲食店とのコラボイベント開催
使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や飲み物の持ち込みオーケー ・機材（ホワイトボード等）を貸し出すサービス ・Wi-Fi の導入 ・平日の仕事後も利用できる営業時間 ・携帯やノートパソコンが充電できる
雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子供と気軽に入れる ・ゆったりくつろげる ・ペットを連れて行ける ・若者が集まる、かわいい、きれいと思えるような商品やデザイン ・昼と夜の営業で違った雰囲気を出してほしい

○広場・駐車場・バスベイ

機能	アイデア
広場	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi の導入 ・夜はミニライブができる ・小さい子供が遊べる ・季節の花が咲く ・バーベキューやスポーツができる ・芝があり、転がって遊べる
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のマークの表示をわかりやすくする ・マンション駐車場と外部から駐車する場所を分ける ・低料金（無料）で広く、止めやすい駐車場 ・雨風に当たらないで施設に行けて、融雪設備がある
バスベイ	<ul style="list-style-type: none"> ・電車、バスの出発前の全館アナウンス ・高齢者や体が不自由な人も便利に使えて見やすいバス停の時刻表 ・休憩スペース

② 第2回のまとめ

「酒田のアピールポイント」について、「食」「自然」「歴史・伝統」「観光スポット」「その他」の5つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、アピールポイントを施設に活かす方向性として、「情報発信」「イベント」「デザイン」という3つのテーマでまとめを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

テーマ	実施場所	アピールポイント
イベント	ライブラリーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・庄内の四季の映像を流し、山居倉庫、北前文化（主に酒田の歴史）について知るイベント ・本間家や光丘の歴史的発進、地域文化人の紹介、地域文化のデジタル化による紹介 ・光丘文庫のできた日を酒田市立図書館の記念日としてイベントを開催
	観光情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に出張してもらおう出張観光
	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの学びと結び付けられるような自然体験型イベント ・酒田の特産フェア（広場で屋台（ラーメンや芋煮など）を出したり、民族芸能のステージを作ったり、祭りのような雰囲気です）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けイベント
情報発信	施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ・映像で食を発信（五感で感じる） ・サイネージやプロジェクションマッピングで季節毎の情報発信をする ・屋上デッキを設ける（視覚利用しての情報発信） ・SNS を活用
	ライブラリーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田市に関する観光図書センターの設置

	観光情報センター	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田見所カレンダーの掲示 ・アウトドアレジャー窓口への誘導 ・タブレット端末の設置
	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りやイベント(ラーメンや酒など)の拠点となる場所にする
	駐車場・バスベイ	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車券にQRコード(市のHPやガイドなどにアクセスできる、有料広告で収入確保)、利用回数に応じての割引サービス ・サイネージでの乗換案内
デザイン	施設の外観	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野弘の詩を壁に書いたり、土門拳の写真を貼ったり、酒田の著名人の作品をどこかに取り入れる ・屋根を山並みや波に見立てたデザインにする ・酒田の名物・名産(北前船等)をモチーフにしたモニュメントの設置
	内装	<ul style="list-style-type: none"> ・一部に木の感触を味わえるような東屋を作る
	企画	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田を知るコーナーを設置する(最上川や山居倉庫、ラーメン等)

③ 第3回のまとめ

①必要と思う場所・機能②なぜ必要なのかの理由③必要と思う場所や機能の具体的な使い方、を個々に書き出し、それらアイデアを「学びの場」「子育ての場」「情報発信の場」「交流の場」「その他」というテーマで分類し、さらに具体的な場をイメージしながらまとめを行いました。出された主な意見は、次のとおりです。

テーマ	アイデアのまとめ
学びの場	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田の歴史や魅力について深く知れて、酒田を好きになれる ・光丘文庫の残っている本の閲覧とアーカイブ(本の説明、DVDの録画のアーカイブ)ができる ・学生が時間を有効利用できて使いやすい場にする ・さまざまな読みたい本のニーズに応えられる ・「ひとり」と「みんな」を自在に使える(一人で集中する、みんなで作業するスペースの棲み分け) ・生活の利便性の向上を学べる場
子育ての場	<ul style="list-style-type: none"> ・児童+ジュニアコーナー(おしゃべりしたり泣いたりしても気にしないで利用できる場) ・親子連れが気軽に立ち寄れて、どちらも楽しめる ・「公園デビュー」に代わる「〇〇デビュー」ができる ・小さい子が安心して遊べる場 ・子育て情報を共有し相談できる場
情報発信の場	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信できる掲示板(サイネージ) ・人を集めたい、発信したい人のための部類分けをして、明確な発信ができる ・酒田らしさを発信する(市民にも!観光客にも!) ・観光情報センターとの連動

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元と来訪者のロコミが行き交う
交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・有料の会議室、学習室（個室）の設置 ・軽食の持ち込みができる ・読書だけに限らず、多目的に使用できる ・おしゃべりができたり、くつろげたりできるスペースの設置（観光客も市民も） ・おいしくて、おしゃれで、落ち着けるカフェの設置 ・集客イベントのできる場+駅前の「交流」の拠点
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応える場（サイレントルーム、オープンな学習スペース） ・返却ポスト（ドライブスルー、駅返却ポスト etc.） ・観光みやげを買える所（簡単な情報の発信） ・「いつ」でも「誰」でも使いやすい（例えば、夜間返却、荷物預かりサービス） ・夜遅くまでの営業時間

(4) 高校生ワークショップ結果

県立酒田光陵高等学校生徒によるワークショップを、東北公益文科大学学生の協力ののもと、平成28年10月7日に行いました。

高校生が図書館に行かない理由として、「話せるスペースがない」「まじめな場所、堅苦しいというイメージ」「求めている本がない（漫画、新刊本など）」「飲食ができない」「携帯が使えない」「遠い」などの意見がありました。

図書館に何があったらよい（行く）かについては、「携帯が使える、充電ができる」「Wi-Fiの設置」「飲食ができる。そのための売店やカフェ」「世代に合わせた本の充実」「図書館自体をおしゃれに」「酒田の特産品を使った地産地消する図書館」「話せる場所と静かな場所を分ける」「休める場所、個室」「図書館で欲しい本を見つけたら本屋ですぐに買える」「運動ができる」「買い物ができる」「映画館」「文具店」「音楽が流れている」「イベントスペース」「動物と触れ合える」など、多彩なアイデアが出されました。



(5) 各団体等意見交換結果

○意見交換実施団体等

- ・子育てママさん
- ・松陵学区コミュニティ振興会
- ・読み聞かせボランティア（あさの葉会）
- ・障がい者福祉会
- ・酒田商工会議所情報 サービス部会
- ・東北公益文科大学 学生
- ・読み聞かせボランティア（絵本の部屋）
- ・点字読書会
- ・（社）子どもの読書サポートアシード
- ・市老人クラブ連合会
- ・コワーキングスペース__アンダーバー利用者、コンシェルジュ

施設	カテゴリ	意見（一部抜粋）
ライブラリーセンター	児童図書室について	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが騒いでも大丈夫なような雰囲気だといい。 ・ドライブスルーみたいに車から降りずに本を返却できると便利である。 ・子供が図書館に本を返しに行ったら、お話をしているのに気付いて途中で参加できる動線を確認したい。 ・本棚などを置いていないシンプルな読み聞かせ部屋だと、子供が目移りせずに集中できる。
	空間、動線関係	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに本を読みたい大人と、子供のお話会をするスペースの住み分けをうまくしてほしい（ソフトバリアードが理想）。 ・（視覚障がい者のための）凸凹が少ない室内用の誘導ブロックを、人がよく通る入口やトイレの近くに導入を検討してほしい。 ・多目的な部屋がほしい（音訳図書の読み聞かせや研修室などに利用）。
	蔵書・配置	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本と小説の境目がわかりづらいところがある。 ・録音図書の充実。視覚障がい者だけでなく、目が悪くなって活字を読むのがつらい高齢者など様々な立場の人に活用することができる。 ・作家ごとの本の配列だと探しやすい。
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の仕事は専門職であり、サービス業のため、人材の充実や教育が大事だと思う。魅力的な本を魅力的に紹介できる必要がある。 ・飲食スペースがほしい。 ・借りた本が気に入ったら購入できるといい。 ・司書や利用者のおすすめ本を紹介する。 ・貸出本のランキングコーナーを設置する。 ・利用者の調べ物のサポートを充実する。 ・本の作者のトークショーがあるといい。 ・ホワイトボード等に企画展示の紹介をしたり、積極的にポップを作成したりする。
	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・流行っている本を学校図書と市立図書館のどちらかが持つという連携があればいい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの取り組みをしているが、家で読み聞かせ（家読）や図書館、学校での取り組みも大事になってくる。 ・公共図書館と点字図書館が連携して、点字図書等の情報提供をしてもらいたい。 ・酒田市にゆかりのある人の本を観光情報センターにも置く。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いまの利用者の現状は、文化センターで活動する人がついでに図書館も利用するという人が多いので、駅前に移行することでの人の流れや利用の便が変わる不安や戸惑いがある。 ・（視覚障がい者のために）音声案内があればと思う。 ・（聴覚障がい者のために）字幕が写る電光掲示板が欲しい。図書館を利用している聴覚障がい者多いが、本に夢中になっていると周りの変化に気づきにくい。災害等が起こった時に電光掲示板で文字が光ってお知らせしてくれるといい。 ・図書館は高齢者の居場所という役割もあるし、現在の図書館を好きで利用している人も大事にしてほしい。 ・SNSの積極的な活用（司書紹介、イベントや利用サービスの周知等）をする。 ・HPで司書の自己紹介ページ（顔や専門分野、好きな本等）を作り、利用者が行きやすくなるよう顔が見える図書館になってほしい。
観光情報センター	観光・食	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田は海鮮という割に、海鮮市場に行くまでが大変（交通手段も含めて）。駅前で酒田の海産物を取り入れたお弁当の販売があるといい。
	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報センターで、他の県の観光情報誌を置くようにしてほしい。 ・宿泊施設の空き状況の共有化されるといい。
カフェ	雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れの人を利用するのであれば、庶民的な親しみやすいカフェが併設されるといい。
	メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のメニューを出してほしい。
駐車場・バスベイ・広場	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースは広く取ってほしい。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・車が無い人でも行きやすい交通手段が欲しい（バス等） ・電車やバスの時刻等を知らせる電光掲示板があるといい。
その他	空間	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がお金を使わずに過ごせる場所がほしい。 ・フリースペースや運動ができるスペースがほしい。

7 基本理念

酒田コミュニケーションポートは、これまで培われてきた中央図書館と駅前観光案内所のサービス機能やネットワークを引き継ぎつつ、本市の新しいにぎわいと交流の創出拠点、観光起点として、酒田の特長＝酒田らしさを活かし、また、それが感じられる場所として整備し、運営していく必要があります。

本市では、西廻り航路が整った江戸期には、海上交易と最上川舟運の要として、ヒト・モノ・コトが行き交い、独自の湊町文化を形成しました。また、世界に誇れる山（鳥海山）、川（最上川）、海（日本海）、島（飛島）と豊かな自然が彩っており、それに育まれた豊富な食材や風土があります。

その酒田が有する知（地）的資源をライブ発信し、人が集い、出会い、交流することで新たな「価値」を創出します。

訪れる人にとっての情報発信源の機能を果たすとともに、「進取の気性（精神）」「公益の心」を持つ人財の形成の場としても機能させていくことを目指します。

酒田コミュニケーションポートの基本理念を、次のとおりとします。

知（地）のアリーナ

～ヒト・モノ・コトが行き交い、多様なコミュニケーションが創出され、知（地）的好奇心がインスパイア¹されるみんなの居場所～

○市民の暮らしの質（QOL）の向上

○酒田の価値向上

アクションプラン（イメージ）

◆「知」のライブパフォーマンス

- 東北公益文科大学まちなか講座
- 日本海総合病院ヘルス・メディカル講座
- 著作者や酒田ゆかり人のミニトーク
- ライブラリアンによるお薦め本紹介
- 慶応義塾大学先端生命科学研究soまちなか講座 など

◆「地」のライブパフォーマンス

- 駅前マルシェ
- 食べマルシェ（酒田フレンチ・酒田のラーメン）
- 各地伝統芸能ストリートライブ
- ジオパーク、日本遺産関係まちなか講座 など

¹ インスパイアとは、奮い立たせる、駆り立てる等の英訳です。

8 基本方針

酒田コミュニケーションポートの基本方針を、次のとおりとします。

学び、成長する場

- 地域を知り、学び、好きになる。
- 市民の知的好奇心に応え、支援し、暮らしを豊かにする。

- ・市民が、地域の歴史や文化等を学び、自らのアイデンティティ²を再認識し、本市の魅力、可能性を見出し、誇りや郷土愛を高め、学びを通じての自立する人を育みます。
- ・市民の日々の暮らしを豊かにする文化的場所として、知的好奇心に対して支援していきます。

交流の場

- 日常のライフシーンに応える。
- 市民も、観光客も寛ぎ、交わる。

- ・読書、打合せ、遊び（交流）、食事、学習、電車待ち、バス待ち、人待ち、イベント、発表等、日常の多様なライフシーンが展開される場を目指します。
- ・本市が持つ文化等の地域資源を活かすとともに、駅前という立地特性を最大限に活かすサービスを行い、にぎわいと交流の創出につながる役割を果たします。

情報発信の場

- 庄内地方、酒田らしさを積極的に発信する。
- 明確な情報が拡散、口コミで広がる。

- ・交流人口の活性化を目指すためには、酒田の情報だけでなく、庄内、広域連携圏も含めた情報発信（観光オリジナル・ストーリー等）を積極的に行い、相乗効果を図ります。
- ・情報化社会において、相手に届く効果的な情報発信に取り組みます。

子育ての場

- 親子で気兼ねなく、安心し、利用できる。

- ・酒田の宝である子どもの健やかな成長は、市民の願いです。読書を通じて子どもの感性、表現力、想像力等を育て、また、子育てする親が安心して利用できる場としていきます。

² アイデンティティとは、ある人や組織が持っている他者から区別される独自の性質や特徴をいう。

9 機能別サービス、整備方針

(1) ライブラリーセンター

① サービス、整備方針

- 幅広い市民からの利用拡大（掘り起こし）を図るため、これまで十分でなかったサービスの充実や新しい取組みを進めていきます。
- 次代を担う若者の場所づくりの充実を図ります。

これまで培われてきた中央図書館のサービス機能やネットワークを引き継ぎつつ、幅広い市民からの利用拡大を図るため、魅力ある機能の充実を図ります。

市民アンケートでは、図書館を利用したことがない、利用機会が少ない市民が多くいることがわかりました。ライブラリーセンターは、酒田コミュニケーションポートの中核となす機能であり、「資料・情報、空間、スタッフ」という資源を活用しながら他の機能間との連携を広げていくことで、施設全体の活性化を図る重要な役割を担います。

図書館を使ったことがない、利用経験が少ない市民に対しては、ライブラリーセンターからの情報発信を充実させるとともに、職員が積極的に「外に出ていく」ことで、サービスを見せていく姿勢が求められます。

これまで十分に答えられてこなかったサービスへの対応も必要です。市民が持つ課題解決の支援、青少年の居場所づくりや交流の促進、郷土の貴重な資料の活用・PR、学校、大学、コミュニティセンター、市民団体、ボランティア、庁内各課等との連携によるサービス展開などが必要です。

ア 学びたい、知りたいに答え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点

- ・市民の学びたい、知りたいという知識の深堀や知的な好奇心、生活・ビジネス・学習などの課題解決に答えていく拠点として、資料の収集技術の向上はもちろんのこと、各種講座やレファレンスサービス³の充実を図ります。
- ・職員のレファレンス能力の向上を図り、レファレンス専用のデスクを配置します。サービスの仕組みなどを積極的に周知していきます。

³ レファレンスサービスは、知りたい資料や情報を、図書・雑誌・新聞・電子情報などから探すための案内をして、資料提供や情報提示により調べものの手助けをするサービスです。

- ・日常的な調べものや、調査・研究に資するオンライン・データベース⁴の導入・活用も費用対効果を見極めながら検討します。
- ・資料・情報だけでなく、専門機関や市内の人材等、ニーズに合った情報提供を行います。
- ・受け身の姿勢でなく、地域・市民の課題解決のためにライブラリーセンターが果たせることができないか常に考え、関係機関と協力しながら、まちづくり・ひとづくりの支援をしていきます。
- ・ライブラリーセンターの施設内に留まることなく、館外、地域に飛び出してもサービスを提供していきます。学校、大学、コミュニティセンター、市民団体、ボランティア、庁内各課等との連携による資料情報の提供、講座の開催や、来館が難しい方々や遠方への出張講座等が考えられます。

(参考事例)

長崎市立図書館のがん情報コーナー。市民からがん情報へのニーズが高いことを捉え、専用の資料コーナーを設置するとともに、地域の医療機関や行政等と連携して、講座や相談会などの場を提供しています。



イ 若者から高齢者までのあらゆる層の市民が集い、利用し、活動する場所づくり

- ・自習（学習室）やグループ討議・活動が行えるスペースを設けます。ラーニング・コモンズ⁵としても利用が出来る機能の導入も検討します。
- ・持ち込みパソコンやモバイル端末を利用できるスペース、Wi-Fi環境を整備します。
- ・休日はもとより、平日でも日中は高齢者や子育て世代が、夕方は地元小学生、中学生、高校生が、夜は大学生や仕事終わりのビジネスマン等とそれぞれの利用層・時間軸に応じた講座等の事業を展開していきます。

⁴ オンライン・データベースとは、インターネットを利用してデータの検索を行えるデータベースサービスのことをいう。商用データベースの形態のひとつ。専門情報を扱っているサービスと一般向けのサービスがある。

⁵ ラーニング・コモンズとは、学生の学習支援を意図して大学図書館に設けられた場所や施設をいう。具体的には、情報通信環境が整い、自習やグループ学習用の家具や設備が用意され、開放的な学習空間をいう。飲食コーナーが付設されていたり、図書館外に設置される例もある。

- ・本に囲まれた空間を活用し、英語学習、音楽会、映画会（パブリックビューイング⁶）、朗読会、展示会、活動成果発表、多世代間交流など、刺激を受け、出会いと交流する舞台として、積極的に市民に開放していきます。また、多くの団体に利用してもらうよう、積極的な広報を行っていきます。

（参考事例）

東京都千代田区立日比谷図書文化館の特別研究室。「都心のセカンドオフィス」をコンセプトに、静かに集中できる空間とし、コンセントと有線LAN付きの学習席を有料で利用できます。館内では無線LANも利用できます。



- ・施設規模が限られるため、例えば、グループ活動室が、学習室や図書館ボランティア活動室、対面朗読室等を兼用したり、閲覧スペースが埋まっている場合は、学習室を開放したりと、曜日、時間帯、来館者数等に応じて、臨機応変に可動するハイブリット型の施設運営を目指します。
- ・学習室は、夏休みや、テスト前になると、不足することが考えられます。そのため、周辺他公共施設の情報提供を行いながら、学習サポートを行います。
- ・施設内の広場・カフェや、民間施設等と連携しながら、作家のトークショーや本にまつわるイベント等を行います。

ウ 市民ニーズ等に的確に対応していくライブラリアン⁷の育成

- ・社会の変化や市民ニーズに的確に対応し、前例主義にとらわれず、常にチャレンジするライブラリアンの育成を図ります。
- ・ソーシャルネットワークワーキングサービス⁸の積極的な活用などにより、市民に顔が見え、信頼してもらえるライブラリアンを目指します。
- ・ライブラリーセンターの役割は、専門的で多岐に渡るため、能力開発のための研修機会の充実を図り、ライブラリアンの質の向上に努めます。

⁶ パブリックビューイングとは、広場などに大型スクリーンを設置し、大勢でスポーツの試合などを見ること、また、このような方法で行われるイベントをいう。

⁷ ライブラリアンとは、図書館員の英訳です。

⁸ ソーシャルネットワークワーキングサービスとは、サービスに登録している会員が互いに情報を交換できるインターネット上のサービスのことです。

エ 自分のスタイルにあった読書空間、居心地の良い空間の提供

- ・他の機能間の連携とあわせて、静かな場所、BGMのある空間、少しにぎやかでも良い場所等、それぞれの自分にあった場所を見つけ、利用できる空間を効果的に配置します。
- ・蓋付きの飲みものを持ち込み可能にします。
- ・バスや電車の待ち合わせとしても利用してもらえます。

オ 地域を知り、好きになる郷土愛を育むサービス

- ・本市の歴史・文化、良さ、人を知り、市民としての郷土愛を醸成するよう郷土・地域資料の収集や情報発信を積極的に行います。
- ・本市ゆかりの作家・偉人等に関する資料、時事や季節の話題、歴史・文化・自然・お祭りなどの年中行事、市内及び施設内で行われるイベント、観光情報、行政サービスの紹介等、展示を通して多様な情報提供を行います。専用展示スペースの配置も検討していきます。
- ・光丘文庫の所蔵資料は、地域を知る重要な資料があり、また、貴重な文化財でもあります。ライブラリーセンターで、一部資料の展示等による積極的な紹介を行い、所蔵資料に関する照会や取次ぎができるようにします。所蔵資料のデータベース化を進めます。
- ・地域資料のより幅広い活用を図るため、資料のデジタル化を図り、調査研究、観光情報発信や学校教育の教材、本市のブランディング⁹等に資する取組みを検討します。

カ 児童・子育て世代へのサービスの充実

- ・これまで子ども読書活動推進計画に基づいて実施してきたブックスタート¹⁰事業、読み聞かせ、読書手帳等の取組みを、引き続き推進します。
- ・読み物だけでなく、児童の調べ学習に対応できる資料・情報の充実を図り、学校とも連携して児童の調べものに対する指導・支援を積極的に行います。
- ・児童が本とふれあうプログラムやイベントを展開し、放課後の居場所づくりを目指します。
- ・市内学校、幼稚園、保育所、子育て支援施設等、関連機関と積極的に情報交換し、子育て支援情報、子どもの読書環境の充実を図ります。

⁹ ブランディングとは、経営・販売上の戦略として、ブランドの構築や管理を行うことをいう。会社・商品・サービスなどについて、他と明確に差別化できる個性（イメージ・信頼感・高級感など）をつくりあげる。

¹⁰ ブックスタートとは、絵本を介して赤ちゃん和家人のコミュニケーションを豊かにし、子どもの言語能力と豊かな心を育てようとする活動をいう。

- ・施設内の広場・カフェと連携し、親子で気兼ねなく本を読んだり、情報交換できる環境をつくります。
- ・授乳、おむつ交換の場所を設置し、親子で落ち着いて絵本の読み聞かせができる等子育て世代が気兼ねなく使え、交流できるようにします。

(参考事例)

大分県豊後高田市立図書館の「おはなしのへや」。適度に仕切られた空間で、定期的におはなし会を実施します。行事がない時は、子ども同士や親子連れで思い思いに過ごせる場となっています。



- ・読み聞かせできるスペースを専用で設けます。他スペースとの防音にも十分配慮します。
- ・読み聞かせや紙芝居の実演、お話しのお話等の語り等について、市民ボランティアの参加も積極的に促しながら、推進していきます。
- ・子ども用トイレを設置します。
- ・児童開架は児童の体格を考慮し、書架の高さや配架方法を工夫します。

キ 酒田の玄関口としての案内情報の強化

- ・観光情報センターとは、空間的にも隣接し、資料などを共有することで、図書館の地域資料やレファレンス機能を観光案内に活かします。
- ・観光情報センターと隣接するエリアには、観光に関する地域資料、雑誌、ガイドブック等を配架し、情報発信します。
- ・季節や時事、郷土の行事等に応じたテーマ展示を積極的に行い、効果的な情報を発信します。例えば、映画やドラマの撮影等で話題になった場合、原作や作家紹介、登場人物に関する資料・情報など、多角的な情報提供を行います。
- ・地域資料をデジタル化し、サイネージ¹¹やモバイル端末で見られるようにすることで、楽しめる観光に活用・演出します。
- ・ソーシャルネットワーキングサービスを積極的に活用し、施設からの情報発信を充実させます。

¹¹ サイネージ（デジタルサイネージ）とは、映像表示装置とデジタル技術を用いた広告媒体のことをいう。

(参考事例)

愛知県大府市のおおぶ文化交流の杜図書館における、「デジタル紙芝居 おおぶの民話」絵地図。地元で伝えられている民話を紙芝居にしたものをデジタル化し、絵地図から検索して誰にでも気軽に見られるようにしています。



ク 学校図書館との連携の強化

- ・市内の小学校、中学校、高等学校と連携を図るとともに、学校図書館に対する支援を行っていきます。
- ・子どもの読書活動推進、調べ学習等授業の支援のため、関連する資料を収集するとともに、学校図書館運営をサポートできる人材の養成に努めます。
- ・児童・生徒による図書委員活動を支援します。ライブラリーセンターの使い方講座・職場体験や、ビブリオバトル¹²の場の提供などを行っていきます。

ケ 分館、東北公益文科大学等との連携の強化

- ・分館との間の資料の流通を強化し、新しい図書を定期的に供給します。
- ・東北公益文科大学図書館と連携し、大学が専門とする分野の資料やレファレンスの相談を受けられるようにします。
- ・図書館ボランティアと連携したサービスを行います。また、図書館ボランティアが維持していけるよう活動スペースの提供のほか、人材育成の支援を行っていきます。
- ・県立図書館、県内市町村立図書館及び国立国会図書館等との連携を図り、相互貸借、レファレンス事例共有等を行うことで、市民サービスの一層の向上を図ります。
- ・他の社会教育施設、関係行政機関等との連携を図ります。
- ・再開発区域内の民間施設と連携し、本の持ち込みや相互に情報発信するなどの検討を行っていきます。

¹² ビブリオバトルとは、参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催しをいう。

コ 高齢者・障がい者サービス

- ・拡大読書器を設置します。
- ・音声や触知図、見やすい配色等によるわかりやすいサインや案内及び筆談用具、拡大鏡を備える等、利用のバリアをなくすよう努めます。
- ・高齢者、障がい者が資料を探しやすく、閲覧しやすいよう工夫します。特に障がい者に対しては、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」に基づき、合理的な配慮をする必要があることを踏まえ、サービスの充実を図っていきます。

サ 閲覧・貸出サービス

- ・予約資料やリクエスト資料、貸出上位ランキング等、貸出に関する情報発信を充実させます。
- ・オンライン・データベース等、紙媒体だけでは得られない情報提供の充実を図ります。
- ・ICシステムによる、貸出・返却のセルフ化を引き続き進めます。
- ・著作権法の範囲に基づく複写サービスを引き続き提供します。

シ ICT¹³サービス

- ・蔵書検索用のパソコン、インターネット接続可能な端末を充実させます。
- ・インターネットや、館内蔵書検索用のパソコンの利用説明等、だれでも簡単に情報が引き出せるよう、利用案内を積極的に行います。
- ・電子書籍の発行が増加することを踏まえ、収集・提供する電子書籍の導入については、費用対効果を見極めながら、検討していきます。
- ・デジタル化した資料・情報を、サイネージやタブレット等で発信することを検討します。

ス その他

- ・学習室との連携で、文房具関係物販の可能性も検討していきます。
- ・レビュー¹⁴を設置したり、本が探しやすい、手に取りたくなる配架、見せ方に努めます。
- ・ライブラリーセンターの延床面積は、3,000 m²を基本とします。

¹³ ICTとは、Information and Communications Technology の略で、インターネット等の情報通信技術のことをいう。

¹⁴ レビューとは、評論（批評、書評）をいう。

② 資料収集方針

○市民の生涯学習を支え、地域の情報拠点、知の拠点としての役割を果たし、また、何気なくふらりと立ち寄る市民にとっての居場所としての役割を果たすため、それに資する資料の収集に取り組みます。

資料の収集にあたっては、これまでも一定の基準のもと収集を行ってきていますが、ライブラリーセンターでは、規模の課題等から充実を図ることが出来なかった分野や酒田コミュニケーションポートの基本理念・基本方針の実現のために求められる分野について、強化していきます。

ア 計画蔵書数

他自治体や県内図書館の状況等を踏まえ、次のとおり計画します。

- ・ライブラリーセンターの計画蔵書数は、約 300,000 冊を目標とします。
- ・開架約 20 万冊、閉架約 10 万冊を基本に目指します。ただし、居心地の良い空間づくりや企画展示スペース等とのバランスを配慮していきます。
- ・開架は、日本十進分類法に基づき資料を分かりやすく配架します。
- ・閉架書庫は、10 万冊程度収蔵可能な集密書庫¹⁵とします。
- ・現中央図書館及び児童図書室から移設する資料の選定、配架計画、除籍等については、今後、方針を定めていきます。

イ 資料収集のポイント

ア) 市民の財産となる地域の資料・情報の収集

- ・地域の歴史・文化・産業・教育等に留意し、市民の財産となる資料・情報を収集します。
- ・本市に関する資料は、一般に流通する図書資料だけでなく、行政機関や民間団体、個人が発行するもの（広報誌や統計資料、パンフレット、コミュニティペーパー等）についても、幅広く収集します。
- ・郷土資料については、図書だけでなく画像、映像、古地図、絵葉書等にも留意し、市民が郷土の歴史と文化を知るうえで貴重な資料について、可能な限り収集します。その上で、デジタル化を検討していきます。
- ・本市との交流都市や観光案内に資する資料、ガイドブック等を積極的に収集します。

¹⁵ 集密書庫は、収納能力を優先させた移動式書架で構成する書庫をいう。

- ・「鳥海山・飛鳥ジオパーク」に関連する資料の収集を強化し、学校等との連携により、教育・学習活動に活用できるようにします。
- ・本市ゆかりの著名人に関する資料の収集に努めます。

イ) 多様な市民ニーズに応える、新鮮で豊富な資料・情報の偏りない収集

- ・市民の教養及び生涯学習のニーズに応えるため、人文科学・社会科学・自然科学の各分野にわたり偏りなく収集します。
- ・一般書のほか、専門書、実用書、参考図書等にわたり、常に最新の情報が提供できるように収集します。
- ・生活実用書、趣味、教養に関する資料のほか、子育て、医療、介護等の資料・情報を充実させます。
- ・ビジネスやまちづくり関係の資料・情報を充実させます。
- ・思想的、宗教的、政治的な立場にとらわれることなく、市民が多様な視点から情報が得られるよう、幅広く収集します。
- ・国際交流、インバウンド対応、英語教育の強化等に対応するため、英語資料の充実を検討します。

ウ) 青少年、20代若者向け資料の充実

- ・これまで、必ずしも十分と言えなかった青少年、20代若者向けの資料について、そのニーズ等を考慮した魅力的な資料を収集します。
- ・これまでの図書館利用から遠ざかりがちな若者世代向けに、スポーツ、ファッション、音楽、芸術等の資料を充実させます。
- ・調べ学習に必要な資料や、学校図書館の蔵書を補完するような資料を、学校図書館と連携しつつ幅広く収集します。
- ・将来の進路を考えるうえで参考になる資料を収集します。
- ・漫画についてのニーズが高いため、書架スペースとのバランスに考慮しつつ、定評のあるもの、保存に耐えるもの等の方針を定め収集します。

エ) 新聞・雑誌の充実

- ・寛ぎながら時間を過ごせる場所として市民から利用してもらえるために、新聞・雑誌の充実を図ります。
- ・新聞については、主要全国紙から東北地方・県内の地方紙等、幅広く収集します。なお、観光圏などが一緒の隣接県の地方紙の収集を検討します。
- ・国際交流が進んでいる時代において、外国語新聞の収集も行います。

- ・小中高生の活字に親しんでもらうため、小学生新聞や中高生新聞の収集を検討します。
- ・その他の専門新聞の充実も図っていきます。
- ・雑誌については、各世代各分野にわたり、一般的なものから専門的なもの、地域性のあるものまで、幅広く収集します。
- ・県を中心とする地域限定の情報誌やミニコミ誌なども、積極的に収集します。

オ) 一般図書

- ・入門的・基礎的な資料から生活に役立つ実用的・専門的な資料まで、幅広く収集します。
- ・日常的な調べものや、調査・研究に資する参考図書（辞書、事典、統計、白書、地図等）を収集します。

カ) 乳幼児・児童図書

- ・子どもが読書に親しみ、発達段階に応じて読書習慣が継続されるよう、年齢層ごとの資料を偏りなく収集します。
- ・絵本、紙芝居、読み物については、定評のあるものから新しい作品まで幅広く収集します。
- ・子ども向けの調べ学習に資する資料、参考図書を積極的に収集します。

キ) 高齢者・障がい者向け資料

- ・大活字本等の読みやすい資料を収集します。
- ・録音図書については、基本的には県立点字図書館が担い、本市は、当該図書館との連携を図り情報発信に努めます。
- ・医療、健康、福祉、年金、余暇など、シニアニーズに応じた資料を偏りなく収集します。
- ・視覚的な図鑑・写真集などを収集します。
- ・障がい者向けには、電子資料の有用性に十分、配慮します。
- ・障がいを理解する助けとなる資料・情報を収集します。

ク) 視聴覚資料

- ・市民の教養を高め、生涯学習に資する視聴覚資料については、技術革新に留意しながら、その状況を踏まえつつ収集します。

ウ 資料の保存

- ・保存期間を設けるもの（新聞・雑誌等）、利用頻度や劣化状態等考慮して適宜除籍するもの（図書・視聴覚資料等）、永年保存するもの（貴重資料等）に分け、適切な保存を行います。
- ・新聞・雑誌について、限られた保存スペースを踏まえ、庄内地区の図書館と調整・役割分担しながら保存していきます。

(2) カフェ

- 居心地の良い空間を創出します。
- あらゆる世代が気兼ねなく訪れる場とします。

- ・中高生の若年層も含め、市民が気軽に立ち寄れる雰囲気と価格・メニューの設定を図っていきます。
- ・市民だけでなく、観光客・来街者も利用するカフェとして、地域食材や特色あるメニューの提供を検討します。
- ・単なる飲食、時間・場所の提供だけでなく、人々の交流、コミュニケーションの創出を積極的に仕掛けるため、ワークショップ講座やイベント等を、他の施設機能と連携しながら展開します。
- ・夜にアルコール提供を可能とするなど、時間帯、利用者層の違いに応じたサービスの提供を図ります。

（参考事例）

東京都武蔵野市「武蔵野プレイス」内のカフェは、午後5時からアルコールを提供しています。



- ・ライブラリーセンター等の施設内への蓋付きの飲料持込みを可能とすることから、テイクアウトサービスの導入を図ります。
- ・開架図書（貴重資料等の一部は除く。）の持込みや、飲食しながら読書できる場所とします。
- ・カフェの延床面積は、200㎡を基本とします。

(3) 観光情報センター

- 酒田の玄関口、観光の窓口（ゲートウェイ）として、案内機能を強化し、まちなかへの誘導等を図ります。
- 観光客が満足していただける環境整備に取り組んでいきます。

① 観光コンシェルジュ¹⁶の配置、養成

- ・観光のおもてなしとして、酒田の魅力、観光に精通した観光コンシェルジュの配置、養成を目指します。
- ・観光客と対面で話しができる環境を整備します。
- ・市内の観光情報の一元化、ネットワーク構築に努め、宿泊先の空き情報や各観光施設の開館状況、公共交通案内、イベント情報等の照会に対応できる体制づくりを進めます。まち歩きルートのオーダーメイドサービスを提供していきます。
- ・ライブラリーセンターとの連携による観光関連資料や郷土資料の提供によるサービス（情報発信）の充実が図られる等、他の機能や民間施設との連携による効果的なサービスの提供を検討していきます。

② 市民団体等との連携

- ・本市には、（一社）酒田観光物産協会、観光ガイド協会、酒田おもてなし隊（東北公益文科大学）、湊町さかた探検隊等、観光やまち巡り等で活動する市民団体等が存在しています。今後、DMO¹⁷を含めた観光関連組織の強化を目指した検討と行うこととしていますが、既存団体等との連携した運営を推進し、必要に応じて活動団体が観光情報センター内で活動できる環境づくりや、活動内容のPR等を行います。

③ 情報発信機能の強化

- ・本市の観光モデルルート、まちなか観光（まち歩き）、イベント等の情報にオリジナル・ストーリーを付加する等して魅力ある発信を行い、回遊を促していきます。
- ・酒田のことはもちろんのこと、広域観光圏の観光情報提供も充実します。羽越観光圏、庄内、北庄内、鳥海山・飛鳥ジオパーク、秋田市連携、陸羽西線沿い

¹⁶ コンシェルジュとは、ホテルの接客係で、客の要望に応じて観光の手配、観劇券の購入、交通の案内などを行う者で、転じて、特定の分野や地域情報などを紹介・案内する人をいう。

¹⁷ DMOとは、地域全体の観光マネジメントを一本化する、着地型観光のプラットフォーム組織をいう。

と観光圏が拡大、広域化しており、本市だけでなく広域交流圏内の情報を積極的に発信していきます。

- ・ライブラリーセンターとの連携により、本市の観光関連資料や郷土資料の提供によるサービス（情報発信）に取り組みます。ライブラリーセンターと接するエリアには観光案内に資する地域資料、ガイドブック等を配架します。
- ・酒田の玄関口として、酒田コミュニケーションポールの顔として、山鉾、傘福、黒森歌舞伎等、旬に応じた伝統芸能や工芸品を展示し、酒田の文化等を感じてもらいます。
- ・ソーシャルネットワークサービスによる情報発信を強化します。多言語による発信ができるよう検討します。
- ・広場と連携した観光イベントを行います。

（参考事例）

左下図は、秋田駅内に展示されている竿灯。右下図は西松建設(株)からの提案書に記載されている傘福展示イメージ図。



④ 土産品販売の検討

- ・現在、酒田駅周辺地区で不足している土産品について、販売の検討を行います。面積が限られることを想定すると、一部厳選、セレクト化した土産品の販売も考えられます。

⑤ インバウンドへの対応

- ・外国人旅行客の増加に伴い、英語が話せるスタッフを配置し、外国人観光案内所（カテゴリー1～2）¹⁸を併設します。

¹⁸ 外国人観光案内所は、日本政府観光局が運用する認定制度であり、サービス内容により、3つのカテゴリー及びパートナー施設に区分されます。カテゴリー1は、常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能で地域の案内を提供。カテゴリー2は、少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐で広域の案内を提供。

- ・外国人観光客に需要の高い Wi-Fi 環境を整備します。
- ・外国人向けの観光ガイドの充実を検討します（音声ガイドシステム、通訳ボランティア等の斡旋）。

⑥ その他

- ・観光客用のコインロッカーの設置を検討します。
- ・観光用自転車の設置を検討します。施設利用者の駐輪場とのバランスに留意します。
- ・観光情報センターの延床面積は、100 m²を基本とします。

(4) 広場

○潤いと、にぎわい・交流を創りだす場とします。

- ・駅舎と正対する場所に位置する酒田の玄関口（まちのエントランス空間）として、街路樹等の歩道空間とあわせて、ふさわしいランドスケープ（景観）を形成していきます。
- ・市民のハレの場、多彩なイベントの場として積極的に活用してもらえよう、利用基準や設備（給排水等）等の環境整備を図ります。なお、利用基準や環境整備を図るだけでなく、ここを多くの団体に利用してもらおうよう、積極的な広報を行っていきます。
- ・例えば、晴れの日には、広場でライブラリーセンターの読み聞かせ会をするなど、他の施設機能とも積極的に連携していきます。
- ・市民の日常の生活空間として、親子連れが弁当開きを出来たり、高齢者が休憩したりあらゆる世代が、憩える、潤いある屋外空間とします。一部の芝生化も検討していきます。

（参考事例）

駅前という立地環境において芝生広場を整備する事例が増えています。
右図は、姫路駅北駅前広場。



- ・防風対策、融雪装置等、気候性に配慮した整備を行います。
- ・広場の延床面積は、1,000 m²を基本とします。

(5) 駐車場

○多くの市民がアクセスしやすく、酒田コミュニケーションポートのサービスを等しく享受できるよう適正な管理をしていきます。

- ・駐車台数は、200台を基本とします。
- ・より多くの市民から、来館してもらうため、回転効率を考慮しながら、また適正な施設管理が取れる利用基準にしていきます。
- ・酒田コミュニケーションポートだけでなく、酒田駅周辺地区への来街機会を創出し、当該地区の活性化に資することを目指します。
- ・そのため、他地区の商店街のように、駅前商店街との連携で、共通サービス券の発行等を図っていきます。
- ・利用基準については、周辺や他事例を参考とし、最初の2時間までは一律無料をイメージして今後具体化していきます。

(参考：駅前駐車場の運用状況 (H28 本市独自調べ))

宮城県多賀城市	駅南立体駐車場	最初の1時間まで無料
長野県伊那市	駅前再開発ビル駐車場 (立体)	最初の1時間まで無料
鶴岡市	駅前マリカ駐車場 (立体)	最初の3時間まで無料
長野県茅野市	駅西地下駐車場	最初の3時間まで無料

(参考：図書館利用者の駐車場割引状況 (H28 本市独自調べ))

1時間無料	一宮市図書館 (愛知県)
2時間無料	山形県立図書館 福岡市総合図書館 多賀城市図書館 高崎市中央図書館 (群馬県) ぎふメディアコスモス
3時間無料	豊田市中央図書館 (愛知県) 鳥取市中央図書館
4時間無料	新発田市図書館 (新潟県) 沼田市図書館 (群馬県)

- ・市主催イベントのため、2時間を超える酒田コミュニケーションポート利用者へ配慮した運用も図っていきます。
- ・鉄道利用者の促進を図るため、JR利用者用の割引制度を検討していきます。
- ・大規模なイベント開催時などには、当該駐車場だけでは不足するケースも想定されるので、対策として、周辺の民間運営の駐車場の活用を検討します。
- ・EV¹⁹充電器の整備を検討します。

¹⁹ EVとは、電気自動車 (Electric Vehicle) の略をいう。

(参考)

- ・現中央図書館が入っている総合文化センターの駐車場台数は、260台となっています。

(6) バスベイ

- 視認性を高め、他の施設との連携により快適な環境整備を図ります。
- まちなかへの回遊起点として、公共交通再編の動きとあわせて、利便性が高い場所としていきます。

- ・現在の酒田駅周辺のバス停は、路線によって乗り場が散らばっており、観光客や来街者にとって分かりにくい状態にあるため、バス停の集約を図り、視認性を高めるとともに、バス事業者と協議を進めながら、全ての駅前経由路線が当該地に乗り入れできないか検討していきます。
- ・平成28年7月策定の地域公共交通網形成計画の重点事業でもある、安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを進めます。
- ・バス待ちにライブラリーセンター、カフェ、広場などで心地よく過ごしていただきます。
- ・観光情報センターなど、施設内に誰でも見やすい時刻表、案内表を整備します。
- ・今後の「市街地における交通拠点整備」「主要拠点間の交通ネットワーク充実」という再編の中で、自動車を持たない方の酒田コミュニケーションポートへのアクセス改善を図っていきます。また、本市の課題である観光客向けの二次交通対策も検討していきます。

(参考事例)

右図は、西松建設㈱からの提案であるバス停イメージ



(7) その他

- ・施設利用者用の駐輪場を整備していきます。
- ・3階屋上については、屋外テラス、イベント用、子どもの遊び場等の用途として活用が考えられますが、費用対効果を見極めつつ、今後、市民意見等を聴きながら検討を進めていきます。
- ・年に一度、酒田コミュニケーションポートまつり（仮称）を開催し、本市の新たなビッグイベントとして、にぎわい創りを行っていきます。

10 施設計画

- 機能間の連携やすみ分けに配慮した、わかりやすいゾーニングとします。
- 誰もが使いやすく、気軽に立ち寄れ、酒田らしさに配慮したデザインとします。
- トータルコストに配慮した施設計画とします。

(1) 施設整備の基本的な考え方

① 市民・来街者の利用を第一に考えた施設整備

- ・駅前のにぎわいを創出し、まちの活性化を図るために、市民や来街者が寄り付きやすい、「親しみやすい施設」を目指します。
- ・利用のしやすさを第一に考えた、子どもから高齢者まで誰にでも「使いやすい施設」を目指します。
- ・市民が思い思いの時間を充実して過ごすことができるように、多彩な場所が用意された「機能的で快適な施設」を目指します。
- ・生活の豊かさや楽しさを実感することができる、「市民が誇りと喜びを感じる」ことができる施設」を目指します。

② 充実したサービスを提供するインフラとしての施設整備

- ・デジタル資料の提供やサービス効率向上のための ICT 化などの「先進的な技術」を導入した施設」を目指します。
- ・職員が働きやすく、「サービス提供がしやすい施設」を目指します。

③ 地球環境にやさしい施設整備

- ・内外装ともに劣化や経年変化が少なく、日常的に清掃やメンテナンスがしやすく、経年後の更新の負担のすくない、「維持管理がしやすい施設」を目指します。
- ・自然光で明るく、エネルギー消費量の抑制が図られ、地球環境や地域環境に対する負荷に十分に配慮し、地域の先導的な役割を果たす施設を目指します。

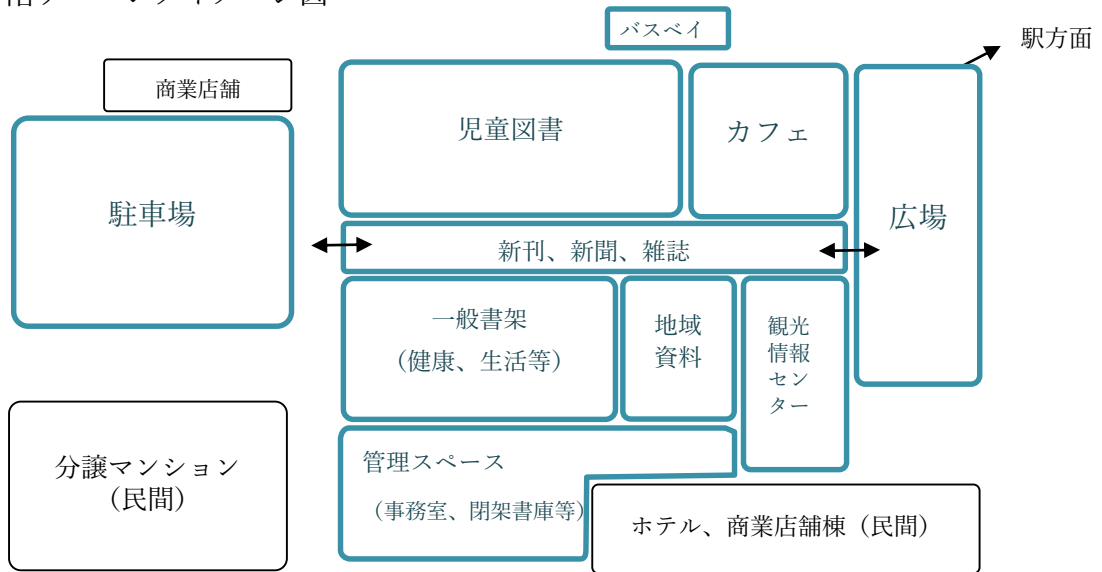
(2) 施設全体の構成・計画に対する留意事項

- ・良好なサービスの提供を図るために、管理運営のスペースを利用者スペースと明確に区分して、効率の良い配置を構成します。
- ・ライブラリーセンターの資料保全のため、持出し防止ゲートによって明確な管理区分を設定します。
- ・ゲート設置個所付近にカウンターを設けるなど、利用者目線での利便性に配慮します。

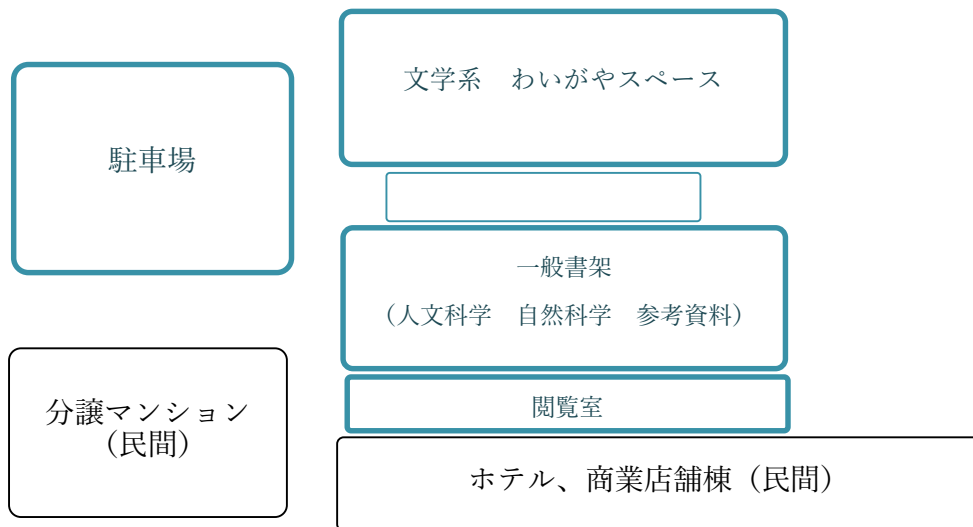
- ・施設配置にあたっては、利用者目線を第一に、駅との動線、施設間の動線、移動しやすさに配慮した整備を行います。
- ・機能間の連携やすみ分けに配慮した、わかりやすいゾーニングとします。機能ごとに運営時間・運営日が異なることに配慮し、運営に支障が出ない計画とします。
- ・民間施設を含めた再開発エリア全体での連携を意識した計画とします。民間施設と役割分担しながら、災害時における一時避難施設（帰宅困難者用）としても機能するようにします。
- ・自然エネルギーの有効活用や、低環境負荷材料の使用に配慮します。
- ・施設のライフサイクルを考慮し、建設コストと維持コストの最適化を図り、総合的に経済的な施設の実現に配慮します。
- ・再開発エリア全体のデザインとの調和を図るとともに、酒田の玄関口としての魅力及び存在感がある外観・内観のデザインとします。
- ・各機能間の動線上の雨対策（シェルター）に配慮します。
- ・気候性（冬季の風雪等）に配慮します。
- ・廊下、階段、トイレ、エレベーター等共用部分は、高齢者、障がい者、子育て世代など誰もが支障なく、利用しやすいユニバーサルデザインとし、車椅子やベビーカーの利用に十分配慮します。

【図5】酒田コミュニケーションポート ゾーニングイメージ図

1階ゾーニングイメージ図



2階ゾーニングイメージ図



(注) 本イメージ図は、今後、詳細設計を進めていく中で、変更していきます。

(3) 地域産業支援基本方針及び木材利用促進基本方針に基づく整備の推進

- ・地域産業支援基本方針（平成 28 年 4 月策定）及び木材利用促進基本方針（平成 28 年 12 月策定）に基づき、地域産業の振興を図る視点から、地元産材の活用などに努めていきます。

(4) 施設各機能の計画の留意事項

① ライブラリーセンター

- ・利用者の行動に対応しやすいように、観光情報、子ども向けサービス、新聞・雑誌、生活実用系のポピュラーの資料等は、入口に近い 1 階に設けます。人文科学・自然科学・社会科学系各資料や、参考資料等、学習や調査研究のための資料及び学習のためのスペースは、2 階に設けます。
- ・書架間隔は 1,800 mm を基準とし、柱間隔は整数倍を基本とします。
- ・書架の高さは、子ども用は 1.5m 程度、大人用は 2.1m 程度を基本とします。
- ・カウンターは、利用者の出入りが確認しやすく、持出し防止ゲートに近く、バックヤードとの連携が図りやすい位置への配置を配慮します。
- ・資料を探しやすいように書架をレイアウトします。
- ・資料に対応した適切な形態の閲覧席を用意します。
- ・高窓や吹抜けによって、自然光で明るい館内をつくります。
- ・特に、日常的に行われる「返却本の返却処理、仕分け、搬送・配架」の作業や、新刊本の受け入れ作業、館外への貸出作業などがスムーズに行える動線を設定します。
- ・ブックポストは、利用者が休館日や開館時間外に資料が返却でき、自動車でアクセスしやすい位置に設け、バックヤード内の作業スペースと比較的短い動線で結べる位置を配慮します。
- ・閉架書庫は、出納時間を短縮するために、カウンターから比較的近い位置に設けます。
- ・各種帳票類、利用案内パンフ、紙類等を整理して収納できるスペースを用意します。

② カフェ

- ・道路や広場に面し、持出し防止ゲート内からも、外からも利用できる計画を検討します。

③ 観光情報センター

- ・駅舎からの来街者を出迎える窓口として、駅側に向けて配置します。

- ・カウンターは施設入口に近く、利用者にとってわかりやすい位置に配慮します。

④ 広場

- ・一部の緑化を検討します。
- ・イベント開催時の電源の及び給排水設備を確保します。

⑤ 駐車場

- ・安全で使いやすく、気候性にも配慮した計画とします。
- ・身障者用の駐車場を確保します。

⑥ バスベイ

- ・バスの待ち時間を快適に過ごせるよう、周辺環境に配慮します。
- ・視認性が高く、わかりやすい配置とします。

⑦ 管理系諸室

- ・職員の休憩スペースは、職員が交代で昼食をとることを考慮して、くつろげる空間とします。
- ・職員用の更衣室を男女別に設けます。
- ・荷物の搬入口、荷捌き場、廃棄物置き場、清掃用具置き場、倉庫等を適切に配置します。

11 管理運営計画

- 多くの市民、観光客から利用していただくための運営時間を設定します。
- 機能間連携を重視した柔軟な運営体制を構築し、効果的・効率的なサービスの提供を推進します
- 市民の力、民間の力を積極的に活用します。

(1) 開館時間及び休館日

各施設の開館時間及び休館日の考え方は、次のとおりです。なお、オープン後においても、利用状況や市民ニーズに応じて、柔軟な見直しや運用を行っていきます。

① ライブラリーセンター

- ・多様な世代、層が集えるよう、仕事終わりの利用等の市民ニーズ（アンケート調査結果）や、電車通学者が待ち時間に過ごす場所として総合的に考慮し、現在の中央図書館の開館時間を延長します。
- ・休館日については、現中央図書館は、実質休館日を設けてなく、図書館職員間の打合せ、職員研修、企画事業等の取組みの面で必ずしも十分な運営体制が取れていません。これまでの貸出中心の施設から脱却して、様々な事業を展開し、サービスの質の向上を図るため、週一回程度の休館日を設けます。
- ・図書整理期間については、ICシステムの効果的な運用を図り、現在より短縮します。

② カフェ

- ・開館時間はライブラリーセンターとの相乗効果、相性を最優先として設定し、休業日は観光客の玄関口・駅前に不足している飲食機能を補うという性格等から、観光情報センターの休業日に合わせます。

③ 観光情報センター

- ・開館時間は、他市（特に広域観光圏となる秋田市、新潟市）を参考に設定することとします。
- ・休業日についても、市の主要観光施設の休館日が元日のみの所もありますが、年末年始は観光需要が最も減少する時期であることから、本市の状況、他市を参考に、設定することとします。

- ・なお、観光情報センターが開館時間以外の来館者への対応については、ライブラリーセンターのカウンターや隣接する民間施設でも案内ができるよう連携方法を協議していきます。

④ 広場

- ・積極的な広場の活用促進（イベントへの貸出し等）を基本とし、施設間の連携、相乗効果が図られ、かつ管理上の面等から、ライブラリーセンターの開館時間等に合わせていくことを基本とします。
- ・休業日については、管理上、管理者が常時現地で立ち会う必要性が無いことや、にぎわい創出に繋げていくため、年中無休とします。

⑤ 駐車場

- ・駅及び駅周辺利用者の利便性の確保のため、他の市営駐車場、中町サントウンパーキング、酒田駅駐車場と同様、自動化により、24時間営業、年中無休を基本とします。

以上により、現在想定される開館時間及び休館日等のイメージは、次のとおりです。また、官民複合施設のメリットを活かし、例えば、公共施設の開館時間外は、民間施設一部を公共交通の待合スペースとして利用するなどの連携策を検討し、利便性の向上に努めます。

(酒田コミュニケーションポート開館時間等 検討イメージ)

施設区分	開館時間		休館・休業日
	月～土	日、祝	
ライブラリーセンター	9:00～21:00	9:00～19:00	毎週1日、図書整理期間6日以内、12/29～1/3
カフェ	9:00～21:00	9:00～19:00	12/31～1/2
観光情報センター	9:00～19:00	9:00～19:00	12/31～1/2
駐車場	24時間	24時間	年中無休
広場（イベント利用時）	9:00～21:00	9:00～19:00	年中無休

(注) 例えば、広場で朝市を開催する等もありえるので、近隣住民に配慮しつつ、開館時間の具体的な運用を今後検討していきます。

(参考：現在の施設の開館時間等)

施設区分	開館時間		休館・休業日
	月～土	日、祝	
中央図書館	9:00～19:00	9:00～17:00	図書整理期間14日以内、12/29～1/3
観光案内所	9:00～17:00	9:00～17:00	12/30～1/3

(2) 運営組織

運営組織の検討にあたっては、限られた人員や財政状況において、全体最適化を図り、利用者への最大のサービス提供を実現していくという視点が重要です。

特に、酒田駅周辺地区においては、長い間、まちの空洞化が進んでいる状況で、一刻も早期のまちの再生が求められています。酒田コミュニケーションポートだけが良ければ良いということではなく、周辺エリアを含めてのまちの活性化のための施設運営（エリアマネジメント）という視点も求められます。

今回、酒田コミュニケーションポートでは、これまでの施設機能ごとに、市組織の各所管課に振り分けるのではなく、所管課を一元化した運営組織による効果的・効率的な運営の検討を行います。

利用者、来街者にとって、窓口一本化は効果的と考えます。また、スピード感ある事業展開、意思決定や現場対応を進める上でも効果的と考えます。

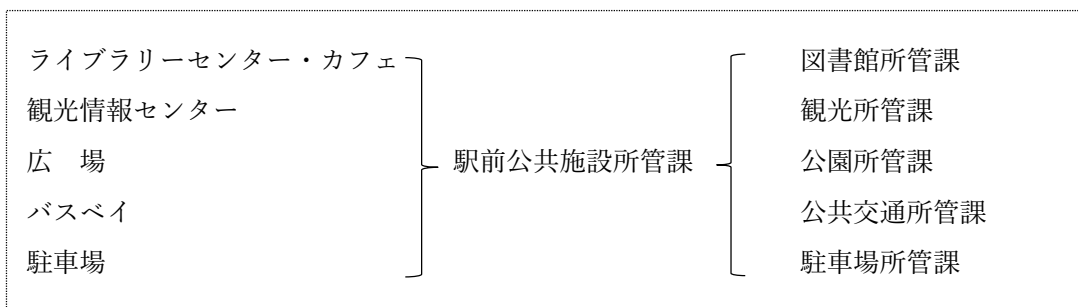
複合機能施設という特性から、一体感の醸成が大事であり、セクション主義に陥らない体制を持続的に確保していきます。

(従来型イメージ)

ライブラリーセンター・カフェ	→	図書館所管課
観光情報センター	→	観光所管課
広場	→	公園所管課
バスベイ	→	公共交通所管課
駐車場	→	駐車場所管課



(酒田コミュニケーションポート運営体制 検討イメージ)



(3) 運営形態

酒田コミュニケーションポートでは、新しい利用者の掘り起こしや新たなサービスの提供にチャレンジしていきます。多様なサービスを提供するためには、専門性の高い職員を確保し、効率性の高い運営を行う必要があります。

サービスの質を向上・維持させていくためには運営コストも増大することが予想されます。厳しい財政状況下においても、人財を支え、市民の生活・福祉の向上に資する大切な場所として50年、100年先へと受け継ぐためにも、行政だけで運営を切り盛りするのではなく、民間の運営ノウハウの導入や図書館ボランティア、観光ガイド協会などの市民団体等との協働を図り、コストパフォーマンスを向上させていきます。

(4) 事業計画及び評価

酒田コミュニケーションポートにおいては、年度ごとの事業計画を策定し、公表するものとします。

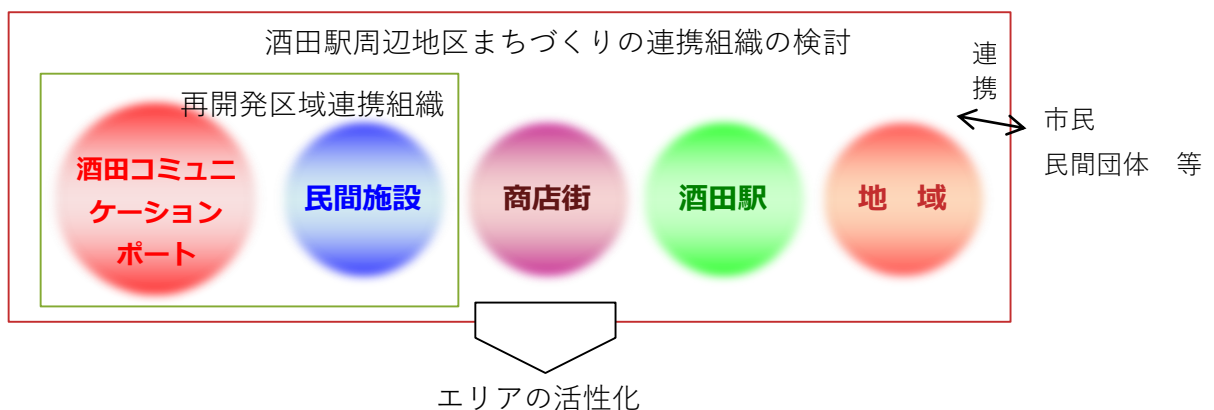
事業計画においては、運営に関する適切な指標を選定し、目標を設定します。

事業計画及び目標の達成状況に関しては、自己評価を行い、その評価については、市民公募も想定した運営評価委員会（仮称）で評価してもらい、その結果を公表するとともに次年度への計画に反映していきます。

(5) 民間施設、周辺関係機関等との連携（エリアマネジメント組織の検討）

前述(2)で述べたように、酒田コミュニケーションポートの運営だけを考えれば良いのではなく、酒田駅前地区のまちづくり、活性化も合わせて考えていかなければなりません。その中で、酒田コミュニケーションポートが牽引していく役割は大きいものがあります。

点ではなく面（エリア）でのまちづくりを進めていくため、再開発区域内の民間施設との連携組織や駅前商店街、酒田駅、地域コミュニティ等との連携組織の検討を行います。



12 人材の確保及び育成

本基本計画の策定にあたり、市民の皆様から酒田コミュニケーションポートの運営に従事する「人材」の重要性についてご意見をいただいています。

まさしく、この施設を生かすのは、「人」次第となるでしょう。レンファレンス、観光コンシェルジュなどにおいて、満足度の高いサービスを提供しつづけるのは、簡単なことではありません。そのためにも、本基本計画の基本理念、目標、価値観に共有、共感できる人材の確保が、まず重要となります。

あわせて、弛まない人材育成が必要であります。専門的な研修ももちろん必要ですが、地域とつながって、様々な分野と交流していくことも大事になってきます。後述する市民との協働も人材育成の大切な場になってきます。

なお、次の視点により人材の確保、育成を図って行きます。

・専門性とホスピタリティのある人材

酒田の玄関口としてふさわしいおもてなしの心で対応します。

・新しいことに常にチャレンジする人材

どこにでもあるような施設ではなく、新しいサービスを追求し続けます。そして、ここへ何度でも来たくなるような体験、出会い、交流を生み出します。

・人を大切にする人材

酒田で学び、働き、住み続ける人と呼び寄せ、育て、つなぎます。

13 市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して

酒田コミュニケーションポートは、建てて終わりではありません。開館後の運営、サービスの中身こそが重要であり、多くの市民に愛され続け、使われ続けるには、組織の持続的な成長が欠かせません。

市民のものとして、市民と協働し、ともに成長していくことで、目標を達成することができます。市民アンケートでは、運営に参画してみたいという回答が 56.3%と半数以上もの多さで、多くの市民の参画意欲が確認できました。

具体的な市民協働の仕組みとして、次のことが考えられます。

- ・アンケート（満足度調査等）、ワークショップ、グループインタビュー等の定期的実施

市民の声を事業計画に反映させていくため、様々な手法を用いて、中長期的に市民が参画しやすい環境を作ります。

- ・市民サポーター制度の導入

ボランティア団体とも連携し、施設全体の市民サポーターを形成します。

- ・運営評価委員会への参画（再掲）

公募により運営評価などを行う委員会への市民参画を図ります。

施設が出来てからが、本当のスタートだとも言えます。時代の流れとともに市民ニーズの変化に的確に反応し、対応できるよう、市民参画型の施設づくりを進めていきます。

14 事業スケジュール

施設整備に係る事業スケジュールは、次のとおりです。なお、本基本計画を踏まえて、具体的な管理運営計画や施設計画の策定を、平成 29 年度に行います。

現時点での見込みのため、今後、状況に応じて、変更していく可能性があります。

- | | |
|-------|-------------------|
| ○基本設計 | 平成 28 年度～平成 29 年度 |
| ○実施設計 | 平成 29 年度 |
| ○建設工事 | 平成 30 年度～平成 31 年度 |
| ○開館準備 | 平成 31 年度～平成 32 年度 |
| ○開館 | 平成 33 年 4 月頃 |

資料編

1 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会

(1) 設置要綱

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会設置要綱
（設置）

第1条 酒田駅周辺整備事業に伴い整備する公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称））（以下「新公共施設」という。）に係る基本計画及び実施計画を策定するにあたり、各分野の市民等からの意見を聴き、検討を行うため、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 新公共施設の基本計画に関する事項
- (2) 新公共施設の実施計画に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要と認められる事項

（組織）

第3条 委員会は、委員11人以内で組織し、副市長、学識経験者、学校教育・社会教育関係者、まちづくり活動関係者等の中から、市長が任命又は委嘱する。

2 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。

3 委員長は副市長をもって充てるものとし、副委員長は委員長が指名する。

4 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（任期）

第4条 委員の任期は、第2条に定める所掌事項について、その目的が達成した日までとする。

（会議）

第5条 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

（意見の聴取）

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は、企画振興部都市デザイン課において処理する。

（その他）

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、平成28年5月17日から施行する。

(2) 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	役 職 等
小田島 健男	県・市社会教育委員 【副委員長】
片桐 晃子	NPO にこっと理事長、県教育委員
久木原 満	酒田青年会議所専務理事
齋藤 一男	酒田西高等学校教頭
佐藤 晶子	元月刊「SPOON」編集長、県図書館協議会委員
佐藤 真美	山新観光(株)営業一部長、県観光審議会委員
高橋 利春	市図書館協議会長、市自治会連合会副会長
田代 典子	第二中学校PTA副会長
中原 浩子	東北公益文科大学特任講師、県観光審議会委員
平尾 清	東北公益文科大学教授、市政策参与
矢口 明子	副市長 【委員長】

(3) 開催経過・議事等

回 数	開催年月日	主な議事
第1回	平成28年5月17日	・酒田駅周辺整備事業の経過等について ・整備基本計画策定の検討体制 ・整備基本計画での検討事項(案)について ・現状と課題について ・今後のスケジュール(案)について 等
第2回	平成28年6月22日	・図書館の事業等説明について ・現中央図書館施設見学 ・意見交換 ・市民アンケート調査の実施(案)について 等
第3回	平成28年7月7日	・先進地視察(宮城県多賀城市、岩手県紫波町)
第4回	平成28年8月29日	・駅前再開発提案事業プランの概要について ・事例報告(酒田おもてなし隊活動、コワーキングスペース) ・先進地視察報告 ・意見交換 ・市民ワークショップの実施について 等
第5回	平成28年12月26日	・整備基本計画(案)について 等

2 アンケート集計結果

(1) 市民アンケート結果

酒田駅周辺整備事業

駅前公共施設に関する市民アンケート調査報告書

平成 28 年 11 月

酒 田 市

目次

1	駅前公共施設に関する市民アンケート調査の実施概要	1
(1)	アンケート調査の目的	1
(2)	アンケート調査の実施状況	1
2	結果と分析	1
(1)	回答者の属性について	1
①	性別	1
②	年齢	1
③	職業	2
④	勤務地・就学地	5
⑤	酒田駅の利用	5
⑥	家族構成	5
⑦	お住まいの小学校区	6
(2)	読書に関する状況について	7
①	読書の重要度	7
②	読書量	7
③	本を読む場所	8
④	本を読む環境	8
(3)	現在の中央図書館（児童図書室を含む）について	9
①	図書館の利用頻度	9
②	図書館の利用目的	10
③	図書館を利用しない理由	11
④	図書館で充実してほしいもの	12
(4)	酒田コミュニケーションポート（仮称）について	13
①	ライブラリーセンターで何ができれば良いか	13
②	開館時間	14
③	広場で何ができれば良いか	15
④	交通手段	15
⑤	観光情報センターのサービス	16
⑥	運営等への参画	17
⑦	自由意見	18
(5)	クロス集計結果について	18
①	図書館を利用したことが無い市民の分析	18
②	中学生、高校生、専門学校生・大学生及び20歳代の分析	20
③	午後9時頃の閉館希望者の分析	26
④	図書館の定期的利用者の分析	28
(6)	アンケート結果からの考察	29
(7)	アンケート調査票	53

【凡例】

- ・各表右下の「n」は割合算出の母数である。
- ・原則、小数点以下第2位を四捨五入した。
- ・項目で回答がなかった場合や端数処理の関係で、掲載の表中において合計の数が一致しない場合、100とならない場合がある。

1 駅前公共施設に関する市民アンケート調査の実施概要

(1) アンケート調査の目的

酒田駅前の旧ジャスコ跡地を中心とした区域で、交流・にぎわいの創出を図るために計画されている複合施設に入る公共施設「酒田コミュニケーションポート」(仮称)について、多くの市民から利用していただける魅力ある施設整備を図るための基礎資料とするため実施した。

(2) アンケート調査の実施状況

項目	内容
実施期間	平成28年8月1日(月)～8月22日(月)
実施手法	① 市内にお住まいの中学生以上の方の中から無作為に2,000人を抽出し、アンケート用紙を郵送 ② 市内公共施設11箇所にアンケート用紙を備付 ③ 市のホームページにアンケート用紙を掲載
回収サンプル数	869件

2 結果と分析

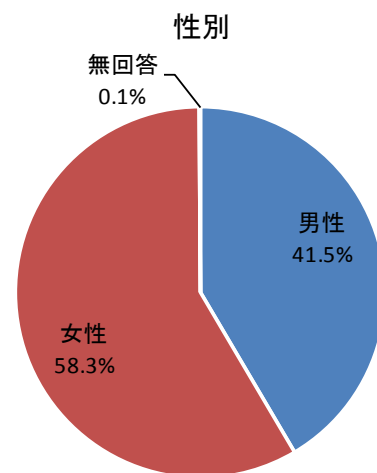
(1) 回答者の属性について

① 性別(質問1 あなたの性別を教えてください)

性別について、「女性」の方が回答者の比率が高かった。

性別(人)		割合
男性	361	41.5%
女性	507	58.3%
無回答	1	0.1%
合計	869	100.0%

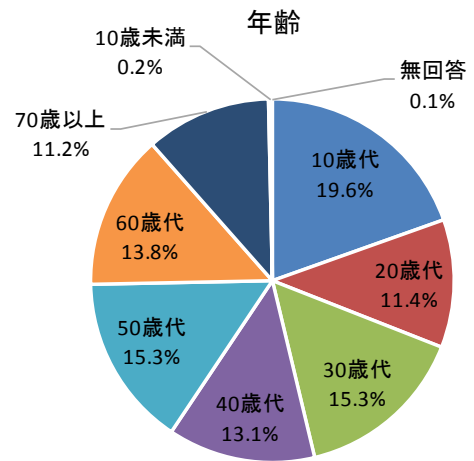
n=869



② 年齢(質問2 あなたの年齢を教えてください)

各年代とも、万遍なく回答があり、特に「10歳代」から20%近く回答があった。10歳未満からも回答があり、集計に加えている。

年 齢 (人)		割 合
10 歳代	170	19.6%
20 歳代	99	11.4%
30 歳代	133	15.3%
40 歳代	114	13.1%
50 歳代	133	15.3%
60 歳代	120	13.8%
70 歳以上	97	11.2%
10 歳未満	2	0.2%
無回答	1	0.1%
合計	869	100.0%



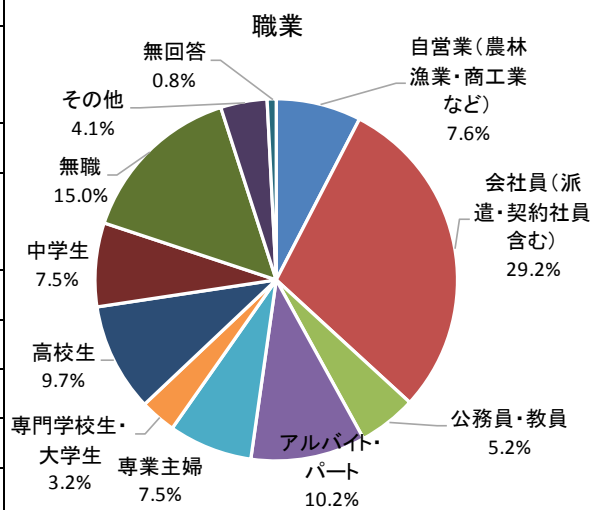
n=869

③ 職業（質問3 あなたの職業などを教えてください）

「会社員」が最も多く、次いで「無職」「アルバイト・パート」の順であった。

10歳代が多かったことから、「中学生」「高校生」の回答も一定程度あった。その他は、医師、看護師等の専門職、団体職員、会社役員等で、10歳未満の小学生もここに含まれている。

職 業 (人)		割 合
自営業（農林漁業・商工業など）	66	7.6%
会社員（派遣・契約社員含む）	254	29.2%
公務員・教員	45	5.2%
アルバイト・パート	89	10.2%
専業主婦	65	7.5%
専門学校生・大学生	28	3.2%
高校生	84	9.7%
中学生	65	7.5%
無職	130	15.0%
その他	36	4.1%
無回答	7	0.8%
合計	869	100.0%



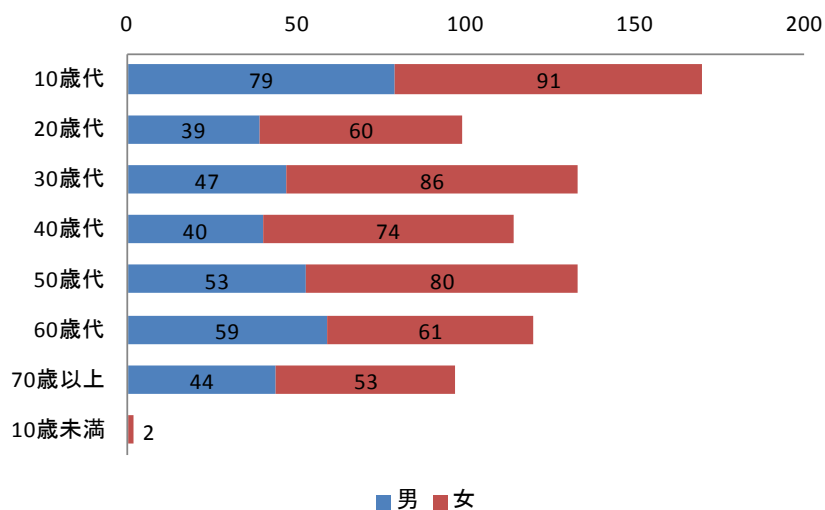
n=869

2

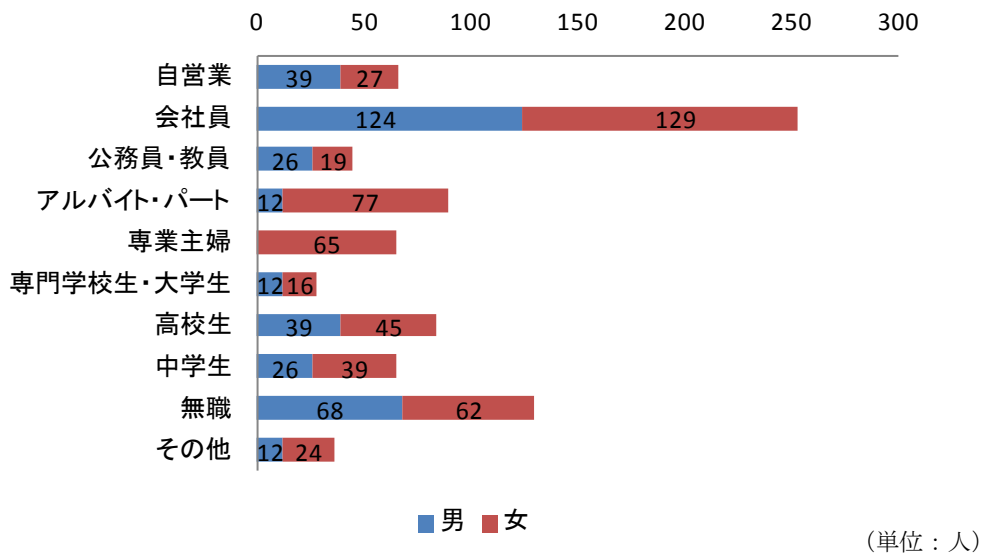
※参考 性別、年齢、職業のクロス集計

性別、年齢、職業のクロス集計は、次のとおりである。

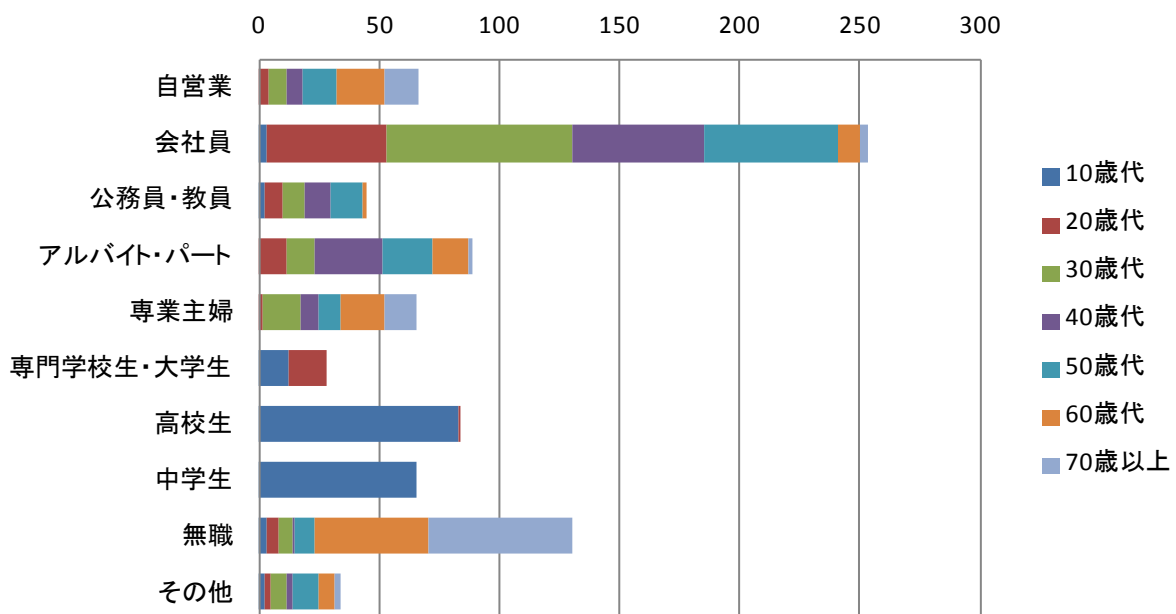
性別×年齢	男（人）	女（人）
10歳代	79	91
20歳代	39	60
30歳代	47	86
40歳代	40	74
50歳代	53	80
60歳代	59	61
70歳以上	44	53
10歳未満	0	2



性別×職業	男（人）	女（人）
自営業	39	27
会社員	124	129
公務員・教員	26	19
アルバイト・パート	12	77
専業主婦	0	65
専門学校生・大学生	12	16
高校生	39	45
中学生	26	39
無職	68	62
その他	12	24



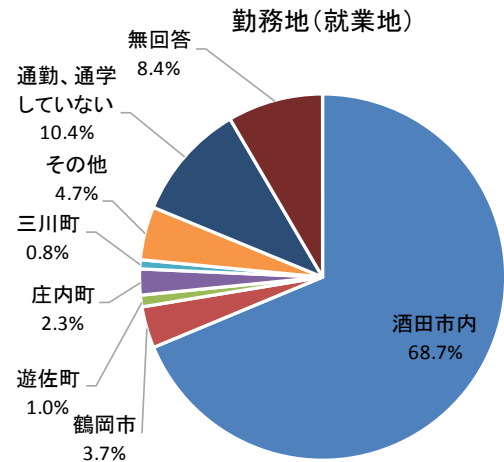
年齢×職業	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	10歳未満
自営業	0	4	7	7	14	20	14	0
会社員	3	50	77	55	56	9	3	0
公務員・教員	2	8	9	11	13	2	0	0
アルバイト・パート	0	11	12	28	21	15	2	0
専業主婦	0	1	16	8	9	18	13	0
専門学校生・大学生	12	16	0	0	0	0	0	0
高校生	83	1	0	0	0	0	0	0
中学生	65	0	0	0	0	0	0	0
無職	3	5	6	1	8	47	60	0
その他	2	3	6	3	11	6	3	2



④ 勤務地・就学地（質問4 あなたの勤務地（就学地）を教えてください）

「酒田市内」が68.7%と7割近くであった。「その他」は、山形市、秋田市、仙台市、新潟市、東京などであった。

勤務地（就学地）（人）	割合
酒田市内	597 68.7%
鶴岡市	32 3.7%
遊佐町	9 1.0%
庄内町	20 2.3%
三川町	7 0.8%
その他	41 4.7%
通勤、通学していない	90 10.4%
無回答	73 8.4%
合計	869 100.0%

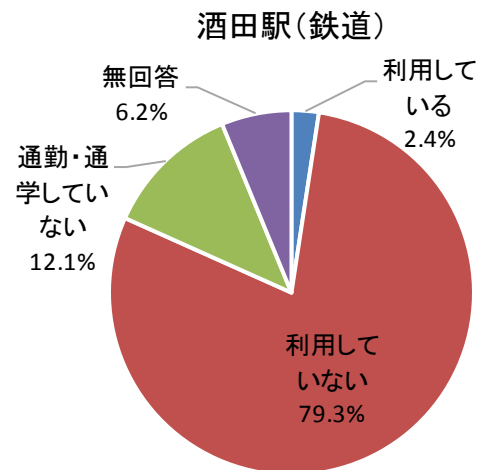


n=869

⑤ 酒田駅の利用（質問5 あなたは通勤、通学のために、酒田駅（鉄道）を利用していますか）

「利用していない」「通勤・通学していない」を合わせると、91.4%が酒田駅を利用していなかった。

酒田駅の利用（人）	割合
利用している	21 2.4%
利用していない	689 79.3%
通勤・通学していない	105 12.1%
無回答	54 6.2%
合計	869 100.0%

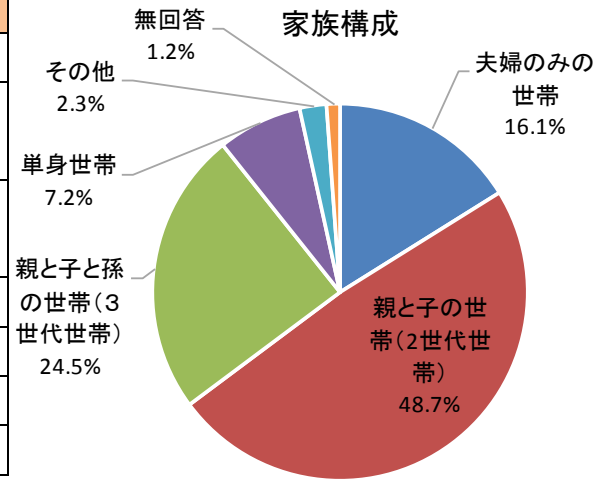


n=869

⑥ 家族構成（質問6 あなたの家族構成を教えてください）

「親と子の世帯」が48.7%と最も多く、「親と子と孫の世帯」「夫婦のみの世帯」と続いている。「その他」は、4世代世帯、兄弟姉妹などであった。

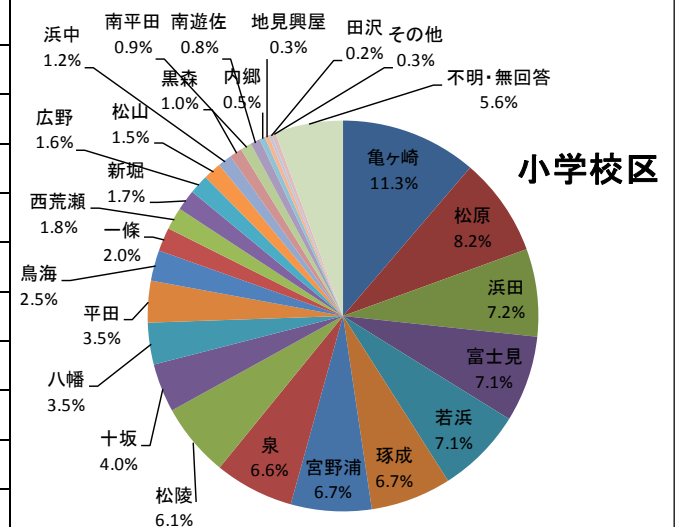
家族構成 (人)		割合
夫婦のみの世帯	140	16.1%
親と子の世帯 (2世代世帯)	423	48.7%
親と子と孫の世帯 (3世代世帯)	213	24.5%
単身世帯	63	7.2%
その他	20	2.3%
無回答	10	1.2%
合計	869	100.0%



n=869

⑦ お住まいの小学校区 (質問7 あなたのお住まいの小学校区を教えてください)
次のとおりである。「その他」は、全て遊佐町である。

小学校区 (人)		割合
亀ヶ崎	98	11.3%
松原	71	8.2%
浜田	63	7.2%
富士見	62	7.1%
若浜	62	7.1%
琢成	58	6.7%
宮野浦	58	6.7%
泉	57	6.6%
松陵	53	6.1%
十坂	35	4.0%
八幡	30	3.5%
平田	30	3.5%
鳥海	22	2.5%
一條	17	2.0%
西荒瀬	16	1.8%
新堀	15	1.7%
広野	14	1.6%
松山	13	1.5%
浜中	10	1.2%
黒森	9	1.0%
南平田	8	0.9%



南遊佐	7	0.8%
内郷	4	0.5%
地見興屋	3	0.3%
田沢	2	0.2%
その他	3	0.3%
不明・無回答	49	5.6%
合計	869	100.0%

n=869

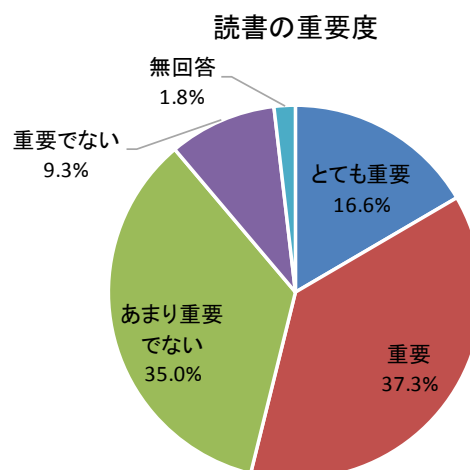
(2) 読書に関する状況について

① 読書の重要度（質問8 読書は、あなたのライフスタイルの中でどの程度の位置づけですか）

「とても重要」「重要」合わせて53.9%と5割を超えた。

読書の重要度（人）	割合
とても重要	144 16.6%
重要	324 37.3%
あまり重要でない	304 35.0%
重要でない	81 9.3%
無回答	16 1.8%
合計	869 100.0%

n=869

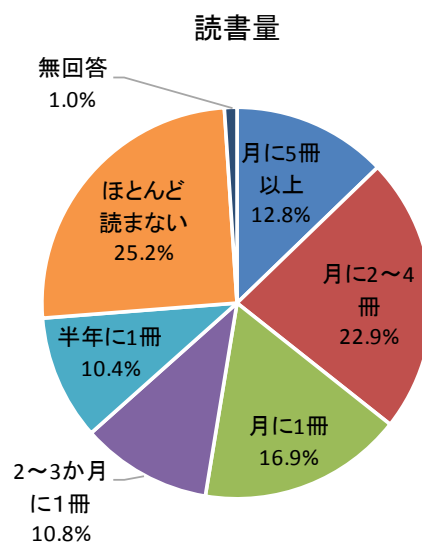


② 読書量（質問9 日頃、本をどのくらい読みますか）

「ほとんど読まない」が25.2%と4分の1を超える一方、月に2冊以上読む人も35.7%おり、読書量には、ばらつきが見られる。

読書量（人）	割合
月に5冊以上	111 12.8%
月に2～4冊	199 22.9%
月に1冊	147 16.9%
2～3か月に1冊	94 10.8%
半年に1冊	90 10.4%
ほとんど読まない	219 25.2%
無回答	9 1.0%
合計	869 100.0%

n=869



7

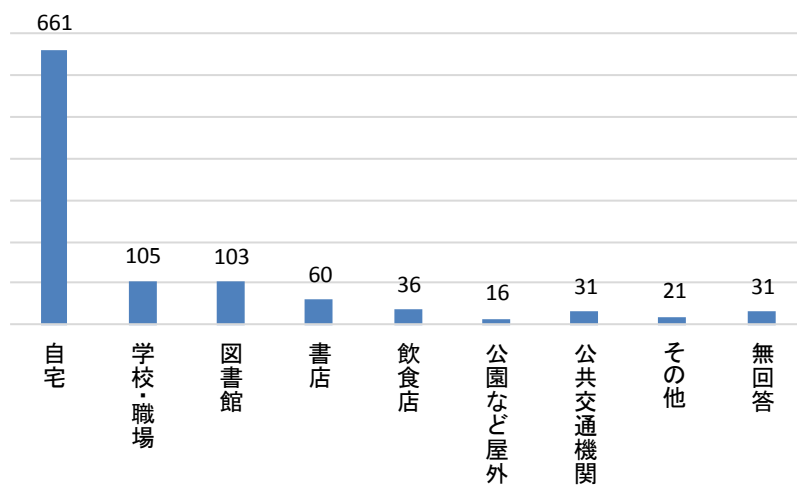
③ 本を読む場所（質問 10 本は主にどこで読んでいますか。または、どこで読みたいですか）
※複数回答として集計

「自宅」が 76.1%と圧倒的に多く、次いで「学校・職場」「図書館」の順であった。「その他」では、病院（診察の待ち時間）という回答が複数あった。

本を読む場所（件）	割合
自宅	661 76.1%
学校・職場	105 12.1%
図書館	103 11.9%
書店	60 6.9%
飲食店	36 4.1%
公園など屋外	16 1.8%
公共交通機関	31 3.6%
その他	21 2.4%
無回答	31 3.6%

n=869

本を読む場所

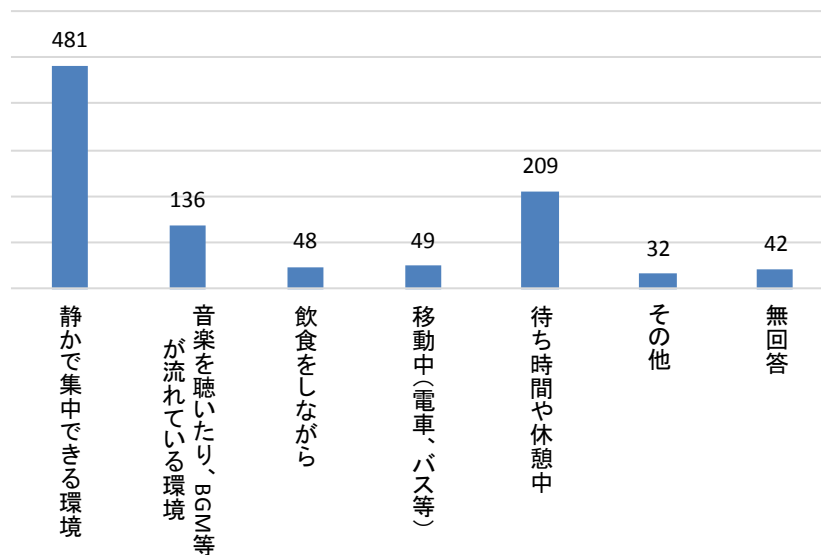


④ 本を読む環境（質問 11 主にどんな環境で本を読んでいますか）※複数回答として集計
「静かで集中できる環境」が 55.4%と 5割を超えており、「待ち時間や休憩中」「音楽を聴いたり、BGMが流れている環境」が続いた。「その他」では、寝る前、自宅居間、美容院等であった。

本を読む環境（件）		割合
静かで集中できる環境	481	55.4%
音楽を聴いたり、BGM 等が流れている環境	136	15.7%
飲食をしながら	48	5.5%
移動中（電車、バス 等）	49	5.6%
待ち時間や休憩中	209	24.1%
その他	32	3.7%
無回答	42	4.8%

n=869

本を読む環境



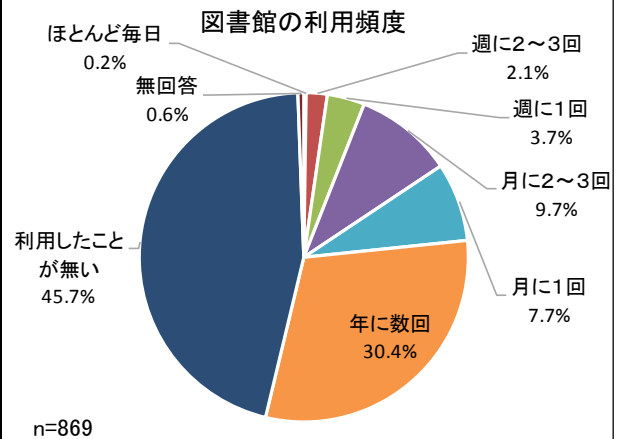
(3) 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

① 図書館の利用頻度（質問 12 過去 1 年間、中央図書館（児童図書室を含む。以下同じ）をどの程度利用していますか）

「利用したことが無い」が 45.7%に上った。次いで「年に数回」が 30.4%となり、図書館利用経験が全体的に少ないことが分かった。

「月に 2～3 回」以上利用する図書館の定期的利用層は、15.7%であった。

図書館の利用頻度（人）		割合
ほとんど毎日	2	0.2%
週に2～3回	18	2.1%
週に1回	32	3.7%
月に2～3回	84	9.7%
月に1回	67	7.7%
年に数回	264	30.4%
利用したことが無い	397	45.7%
無回答	5	0.6%
合計	869	100.0%



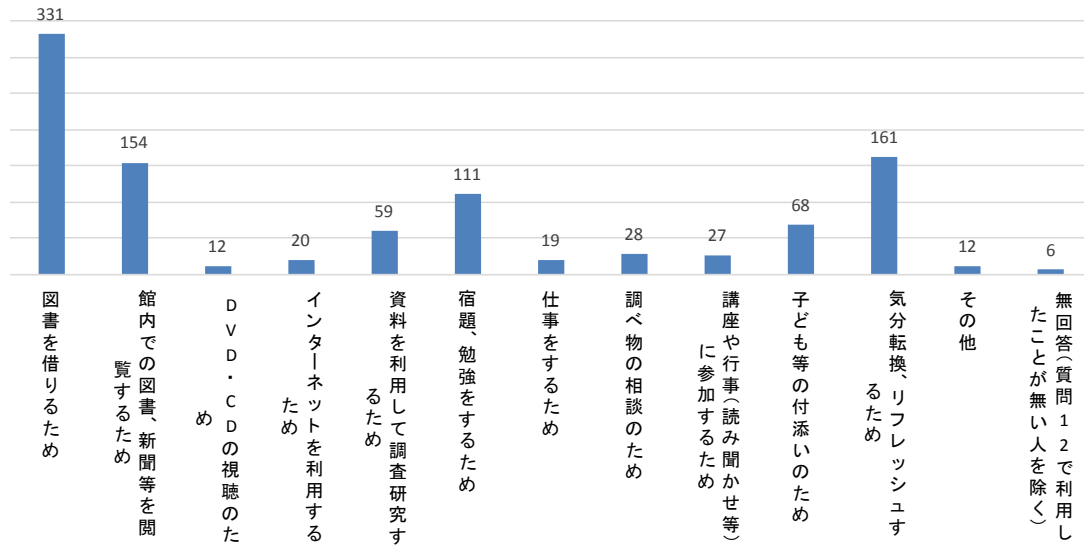
② 図書館の利用目的(質問13 中央図書館を利用する際の目的は何ですか(3つまで選択))

最も多かったものは「図書を借りるため」で7割を超えた。さらに「館内での図書、新聞等を閲覧するため」という資料の利用を目的とするものが32.6%ある一方、「気分転換、リフレッシュするため」が34.1%あり、特に目的が無くても気軽に行ける場所という捉えられ方もしていることが伺われる。「宿題、勉強をするため」も23.5%あった。

図書館の利用目的（件）	割合
図書を借りるため	331 70.1%
館内での図書、新聞等を閲覧するため	154 32.6%
DVD・CDの視聴のため	12 2.5%
インターネットを利用するため	20 4.2%
資料を利用して調査研究するため	59 12.5%
宿題、勉強をするため	111 23.5%
仕事をするため	19 4.0%
調べ物の相談のため	28 5.9%
講座や行事（読み聞かせ等）に参加するため	27 5.7%
子ども等の付添いのため	68 14.4%
気分転換、リフレッシュするため	161 34.1%
その他	12 2.5%
無回答（質問12で利用したことが無い人を除く）	6 1.3%

n=472

図書館の利用目的

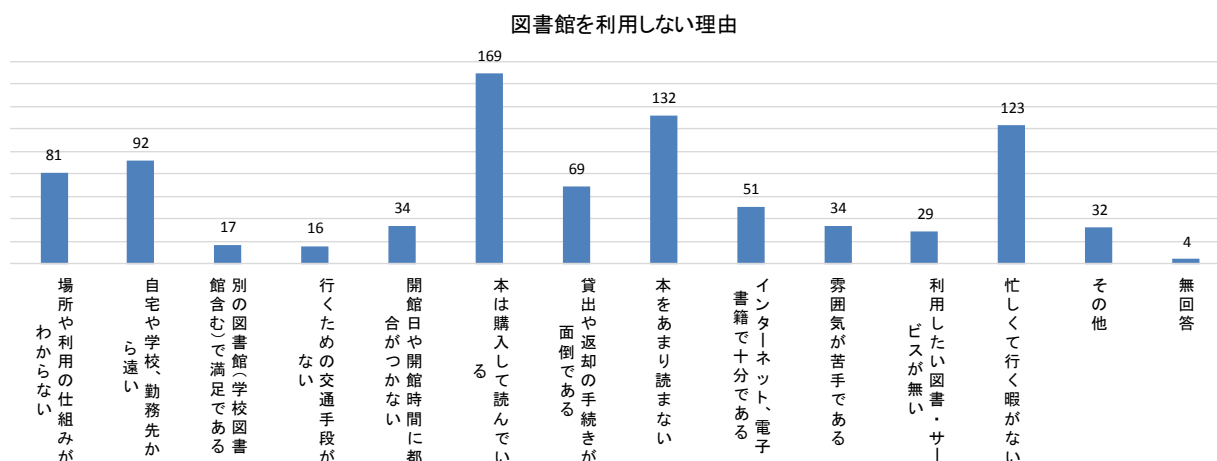


③ 図書館を利用しない理由（質問 14 質問 12 で「利用したことが無い」と回答した方にお尋ねします。その主な理由、は何ですか（3つまで選択）

「本は購入して読んでいる」が 42.6%で最も多く、次いで「本をあまり読まない」「忙しくて行く暇がない」が3割、「自宅や学校、勤務先から遠い」「場所や利用の仕組みが分からない」が2割を超えた。「その他」では、目が悪い、ライフスタイルにマッチしない、などがあつた。

図書館を利用しない理由（件）	件数	割合
場所や利用の仕組みが分からない	81	20.4%
自宅や学校、勤務先から遠い	92	23.2%
別の図書館（学校図書館含む）で満足である	17	4.3%
行くための交通手段がない	16	4.0%
開館日や開館時間に都合がつかない	34	8.6%
本は購入して読んでいる	169	42.6%
貸出や返却の手続きが面倒である	69	17.4%
本をあまり読まない	132	33.2%
インターネット、電子書籍で十分である	51	12.8%
券囲気が苦手である	34	8.6%
利用したい図書・サービスが無い	29	7.3%
忙しくて行く暇がない	123	31.0%
その他	32	8.1%
無回答	4	1.0%

n=397



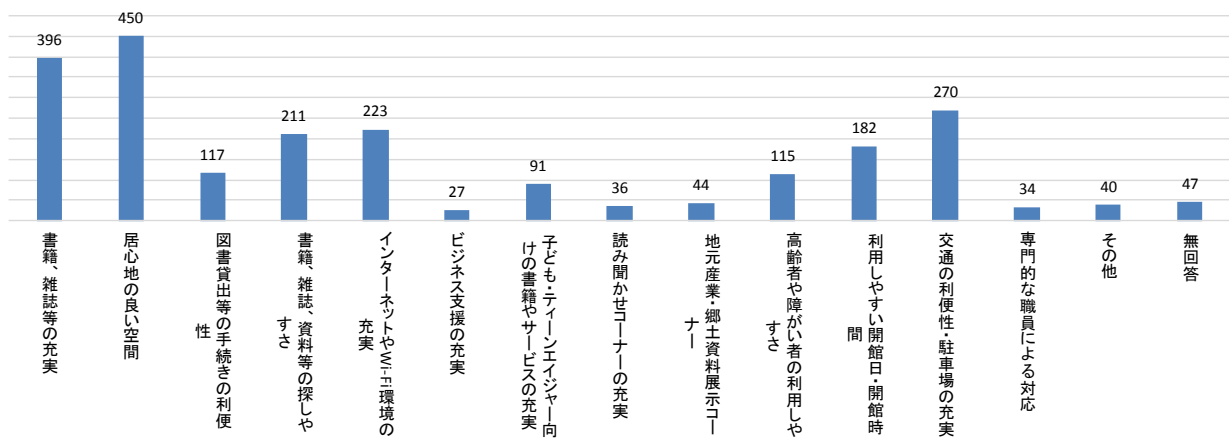
④ 図書館で充実してほしいもの(質問 15 中央図書館で充実してほしいものは何ですか(3つまで選択))

「居心地の良い空間」が 51.8%で最も多く、次いで「書籍、雑誌の充実」が 45.6%であった。次いで「交通の利便性・駐車場の充実」「インターネットや Wi-Fi 環境の充実」「書籍、雑誌、資料等の探しやすさ」「利用しやすい開館日・開館時間」が続いている。「その他」では、DVD や視聴覚コーナーの充実、電子書籍、自習室や学習スペース等の充実、などがあつた。

図書館で充実してほしいもの(件)	割合
書籍、雑誌等の充実	396 45.6%
居心地の良い空間	450 51.8%
図書貸出等の手続きの利便性	117 13.5%
書籍、雑誌、資料等の探しやすさ	211 24.3%
インターネットや Wi-Fi 環境の充実	223 25.7%
ビジネス支援の充実	27 3.1%
子ども・ティーンエイジャー向けの書籍やサービスの充実	91 10.5%
読み聞かせコーナーの充実	36 4.1%
地元産業・郷土資料展示コーナー	44 5.1%
高齢者や障がい者の利用しやすさ	115 13.2%
利用しやすい開館日・開館時間	182 20.9%
交通の利便性・駐車場の充実	270 31.1%
専門的な職員による対応	34 3.9%
その他	40 4.6%
無回答	47 5.4%

n=869

図書館で充実してほしいもの



(4) 酒田コミュニケーションポート（仮称）について

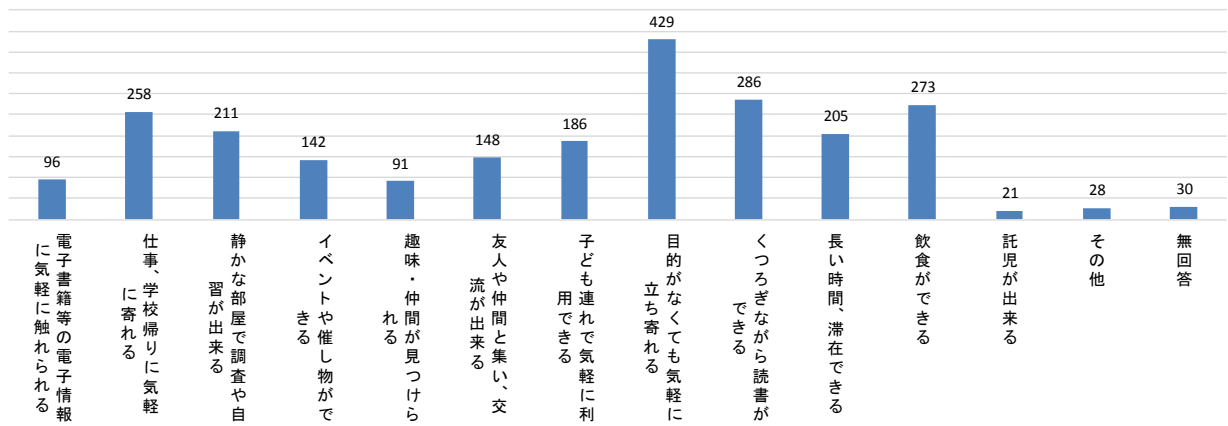
- ① ライブラリーセンターで何ができれば良いか（質問 16 滞在型の図書館として、居心地の良い図書館、交流できる図書館、飲食が可能な図書館、夜間も開館している図書館など新たな魅力を持った図書館が注目されています。駅前のライブラリーセンターでは、どのようなことができれば良いと思いますか（3つまで選択））

「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が49.4%と5割近くに達した。次いで「くつろぎながら読書ができる」「飲食ができる」「仕事、学校帰りに気軽に立ち寄れる」と続いており、「静かな部屋で調査や自習ができる」「長い時間、滞在できる」「子ども連れでも気軽に立ち寄れる」にも2割以上の回答があり、多様な使われ方が求められていると想定できる。「その他」では、夜間も利用できる、という意見が複数あった。

ライブラリーセンターで何ができれば良いか（件）	件数	割合
電子書籍等の電子情報に気軽に触れられる	96	11.0%
仕事、学校帰りに気軽に寄れる	258	29.7%
静かな部屋で調査や自習ができる	211	24.3%
イベントや催し物ができる	142	16.3%
趣味・仲間が見つけれれる	91	10.5%
友人や仲間と集い、交流ができる	148	17.0%
子ども連れで気軽に利用できる	186	21.4%
目的がなくても気軽に立ち寄れる	429	49.4%
くつろぎながら読書ができる	286	32.9%
長い時間、滞在できる	205	23.6%
飲食ができる	273	31.4%
託児が出来る	21	2.4%
その他	28	3.2%
無回答	30	3.5%

n=869

ライブラリーセンターで何ができれば良いか

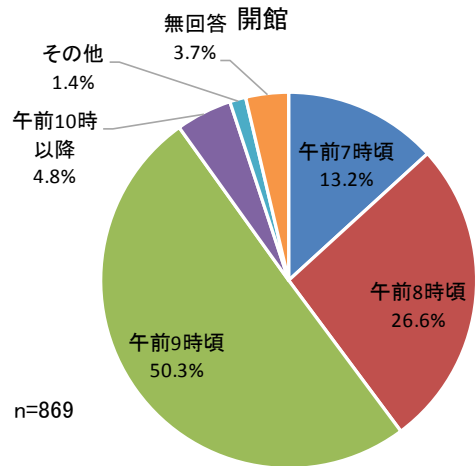


② 開館時間（質問 17 現在の中央図書館の開館時間は、平日が午前9時から午後7時まで、日・祝日が午前9時から午後5時までです。駅前に整備するライブラリーセンターとしてのふさわしい開館時間を何時から何時までと考えますか）

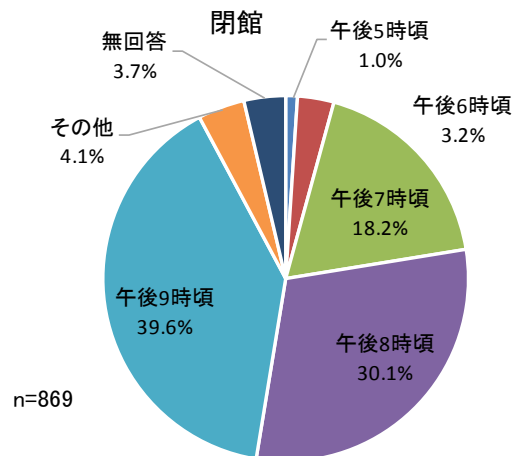
開館は、「午前9時頃」が最も多く5割を超えたが、「午前8時頃」「午前7時頃」にも一定の回答があった。

閉館については、「午後9時頃」が最も多く、「午後8時頃」が続いた。「その他」では、午後10時、午後11時、24時間開館、という回答も複数あった。

開館（人）		割合
午前7時頃	115	13.2%
午前8時頃	231	26.6%
午前9時頃	437	50.3%
午前10時以降	42	4.8%
その他	12	1.4%
無回答	32	3.7%
合計	869	100.0%



閉館（人）		割合
午後5時頃	9	1.0%
午後6時頃	28	3.2%
午後7時頃	158	18.2%
午後8時頃	262	30.1%
午後9時頃	344	39.6%
その他	36	4.1%
無回答	32	3.7%
合計	869	100.0%



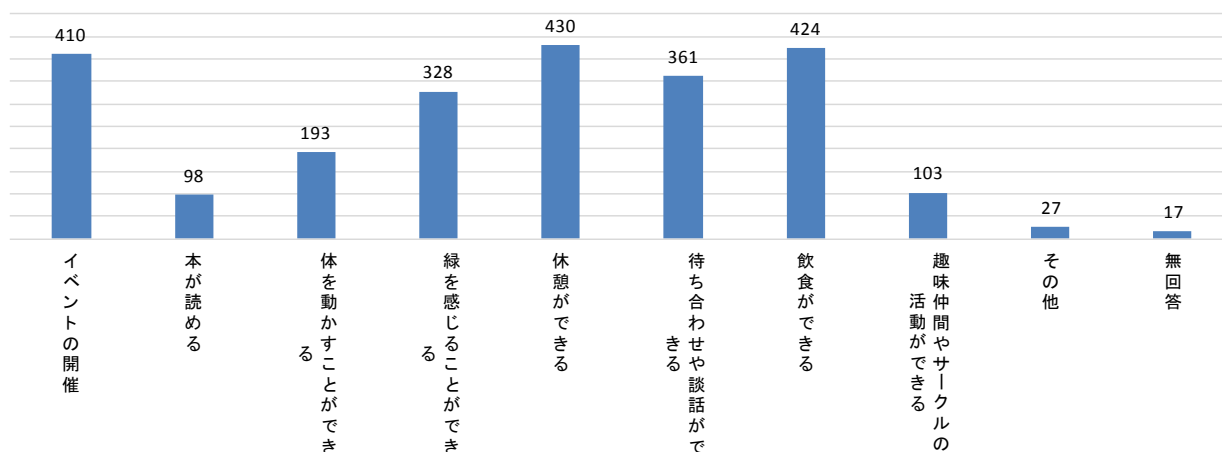
③ 広場で何ができれば良いか（質問 18 今回の駅前整備では、多目的に使い、緑地等も備えた広場も整備していくこととしています。広場では、どのようなことができれば良いと思いますか（3つまで選択））

「休憩ができる」「飲食ができる」「イベントの開催」がほぼ拮抗しており、5割近い回答があった。次いで「待ち合わせや談話ができる」「緑を感じる事ができる」に4割前後の回答があり、「体を動かすことができる」にも2割以上の回答があった。「その他」では、子どもを遊ばせることができる、という意見が複数あった。

広場で何ができれば良いか（件）	割合
イベントの開催	410 47.2%
本が読める	98 11.3%
体を動かすことができる	193 22.2%
緑を感じる事ができる	328 37.7%
休憩ができる	430 49.5%
待ち合わせや談話ができる	361 41.5%
飲食ができる	424 48.8%
趣味仲間やサークルの活動ができる	103 11.9%
その他	27 3.1%
無回答	17 2.0%

n=869

広場で何ができればよいか



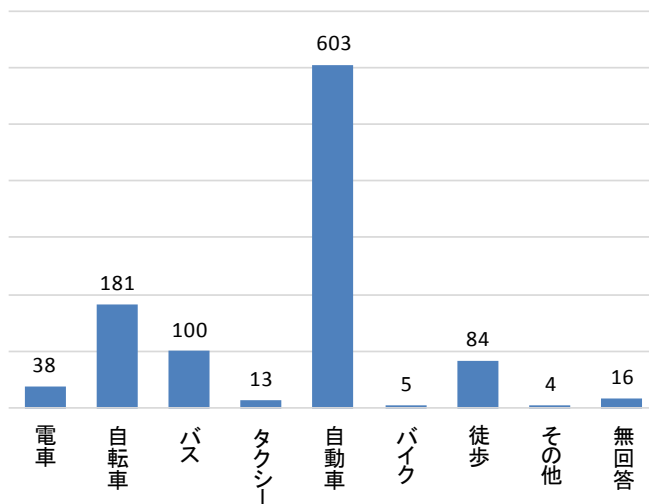
④ 交通手段（質問 19 今回の駅前整備では、駐車場やバスペイを整備する計画としています。整備後、酒田コミュニケーションポート（仮称）を利用するとした場合の交通手段は何ですか）※複数回答として集計

「自動車」が圧倒的に多く、7割近い回答であった。次いで「自転車」「バス」「徒歩」の順であった。

交通手段（件）	割合
電車	38 4.4%
自転車	181 20.8%
バス	100 11.5%
タクシー	13 1.5%
自動車	603 69.4%
バイク	5 0.6%
徒歩	84 9.7%
その他	4 0.5%
無回答	16 1.8%

n=869

交通手段



- ⑤ 観光情報センターのサービス（質問 20 現在の駅舎内の観光案内所の環境改善や機能向上を図るため、観光情報センターの整備を計画しています。ライブラリーセンターなどと連携を図りながら、観光客、来街者にどのようなサービスが提供できれば良いと思いますか）※複数回答として集計

「休憩ができる（カフェ等を含む）」が 48.1%で最も多く、「お土産品の充実」が 43.7%で続いている。「インターネットやWi-Fi環境の充実」にも2割以上の回答があった。「その他」では、人材の配置、ガイド機能の充実、レンタカー・レンタル自転車の充実、等の意見があった。

観光情報センターのサービス（件）	割合
お土産品の充実	380 43.7%
休憩ができる（カフェ等を含む）	418 48.1%
ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信	137 15.8%
インバウンド対応機能の充実	33 3.8%

インターネットやWi-Fi環境の充実	190	21.9%
バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介	135	15.5%
その他	33	3.8%
無回答	29	3.3%

n=869

観光情報センターのサービス

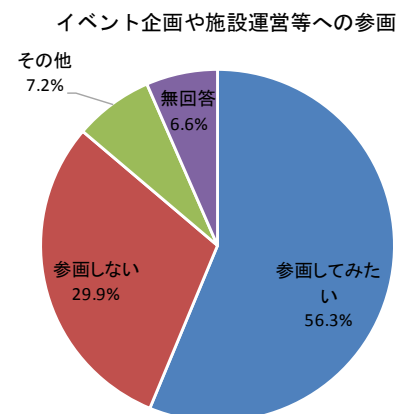


⑥ 運営等への参画（質問 21 持続的に交流やにぎわい創出を図っていくため、市民の皆さんからも、新公共施設のイベント企画や施設運営等へ積極的に参画していただくことがとても大切と考えています。あなたは、参画したいと思いますか）

「参画してみたい」が56.3%と5割を超え、「その他」でも、内容による、時間が合えば、という回答が多くあり、関心は高いことが伺われた。

運営等への参画（人）		割合
参画してみたい	489	56.3%
参画しない	260	29.9%
その他	63	7.2%
無回答	57	6.6%
合計	869	100.0%

n=869



⑦ 自由意見（質問 22 その他必要なものや使いやすい新しい施設とするため、ご意見があれば記入をお願いします）

自由意見については、30 ページ以降に記載のとおりである。ここでは、主だった意見について集約的に述べる。

意見を大別すると、「駐車場の充実、交通手段、施設へのアクセス等」「あらゆる世代・利用層が気軽に行ける・楽しめる場所としての整備」「酒田の観光拠点としての役割の充実」「にぎわいを創るため、魅力的な施設とするための提案」「具体的な施設や設備・機能への要望・提案」に分けられた。

駐車場に対する意見が、全体を通して最も多かった。移動手段として、自動車利用率が高い地域であるため、関心の高さが伺われる。その中において駐車料金については、無料化（又は施設利用者は無料）を望む意見が多かったが、適正な管理運営を望む意見も数件寄せられている。

また、規模の充実（台数確保）や駐車しやすさを求める意見もあった。自動車を持たない方の公共交通の充実（既存の路線バスの本数の充実や観光バス等）を望む意見もあった。

子ども連れでも気軽に行ける、高齢者や障がい者にも優しく、若者が集まれる場が必要、などの意見はどれも各世代で幅広く望まれるものであった。

観光の視点では、駅前という立地上の特性から、誰にも分かりやすい酒田の案内図の整備、土産品の充実、酒田の情報発信など、酒田の顔（玄関口、観光起点）として求められる機能の充実に関する意見が寄せられた。また、施設自体が観光名所になるように、という意見もあった。

冬場に子どもを連れていく場所、冬を明るくする居心地の良いところを望む、という冬場の居場所づくりに対するニーズもあった。

駅前整備への否定的な意見も散見された。

(5) クロス集計結果について

① 図書館を利用したことが無い市民の分析

図書館を「利用したことが無い」という市民のニーズを分析することで、新しい利用者の掘り起こしができると考えられる。

読書が「重要でない」「あまり重要でない」という回答、及び本を「ほとんど読まない」という回答割合が全体より高い。また、図書館を利用しない理由も「本は購入して読んでいる」「本をあまり読まない」が上位であり、この層は「本の充実」という手段では来館動機に結び付かないと考えられる。

読書の重要度	質問 12 で「現在の中央図書館を利用したことが無い」と回答した人 (n=397)		回答者全体 (n=869)	
あまり重要でない	178	44.8%	304	35.0%
重要でない	58	14.6%	81	9.3%
読書量	質問 12 で「現在の中央図書館を利用したことが無い」と回答した人 (n=397)		回答者全体 (n=869)	
ほとんど読まない	143	36.0%	219	25.2%

図書館で充実してほしいものとして「居心地の良い空間」に次いで「交通利便性・駐車場の充実」が多く、質問 19 の交通手段でも「自動車」が7割を超えることから、アクセス環境は大事なポイントになると考えられる。

ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては「目的がなくても気軽に利用できる」「飲食ができる」が全体より高く、広場についても「休憩ができる」「飲食ができる」「イベントの開催」が高い。本を借りる・読むなどの動機がなくても、くつろげたり、飲食ができたり、イベントに参加できるなどのきっかけがあれば、利用者になる可能性があると考えられる。施設のイベント企画や運営等への参画も「してみたい」が「しない」を8ポイント近く上回っており、きっかけさえあれば参画する意欲はあると考えられる。

図書館を利用したことが無いと回答した人の、質問 15 への回答分布 (件) (n=397)		
書籍、雑誌等の充実	128	32.2%
居心地の良い空間	186	46.9%
図書貸出等の手続きの利便性	64	16.1%
書籍、雑誌、資料等の探しやすさ	92	23.2%
インターネットやWi-Fi環境の充実	93	23.4%
ビジネス支援の充実	15	3.8%
子ども・ティーンエイジャー向けの書籍やサービスの充実	33	8.3%
読み聞かせコーナーの充実	19	4.8%
地元産業・郷土資料展示コーナー	16	4.0%
高齢者や障がい者の利用しやすさ	64	16.1%
利用しやすい開館日・開館時間	80	20.2%
交通の利便性・駐車場の充実	134	33.8%
専門的な職員による対応	12	3.0%
その他	14	3.5%

図書館を利用したことが無いと回答した人の、質問 16 への回答分布 (件) (n=397)		
電子書籍等の電子情報に気軽に触れられる	43	10.8%
仕事、学校帰りに気軽に寄れる	100	25.2%
静かな部屋で調査や自習ができる	76	19.1%
イベントや催し物ができる	67	16.9%
趣味・仲間が見つけれられる	42	10.6%
友人や仲間と集い、交流ができる	71	17.9%
子ども連れで気軽に利用できる	82	20.7%
目的がなくても気軽に立ち寄れる	220	55.4%
くつろぎながら読書ができる	125	31.5%
長い時間、滞在できる	90	22.7%
飲食ができる	128	32.2%
託児が出来る	14	3.5%
その他	12	3.0%

図書館を利用したことが無いと回答した人の、質問 18 への回答分布（件）（n=397）		
イベントの開催	190	47.9%
本が読める	33	8.3%
体を動かすことができる	84	21.2%
緑を感じることができる	152	38.3%
休憩ができる	205	51.6%
待ち合わせや談話ができる	162	40.8%
飲食ができる	193	48.6%
趣味仲間やサークルの活動ができる	46	11.6%
その他	15	3.8%

図書館を利用したことが無いと回答した人の、質問 19 への回答分布（件）（n=397）		
電車	7	1.8%
自転車	66	16.6%
バス	34	8.6%
タクシー	9	2.3%
自動車	295	74.3%
バイク	3	0.8%
徒歩	30	7.6%
その他	1	0.3%

図書館を利用したことが無いと回答した人の、質問 21 への回答分布（人）（n=397）		
参画してみたい	183	46.1%
参画しない	152	38.3%
その他	33	8.3%

② 中学生、高校生、専門学校生・大学生及び 20 歳代の分析

これからの本市を担っていく若い世代、駅利用が最も多い高校生、現図書館の利用が最も低い 20 歳代のニーズを分析することで、新しい利用者の掘り起こし、若い世代に有用な施設とすることができると考えられる。

読書の重要度について、中学生は「とても重要」「重要」が合わせて 73.9%になるが、高校生、専門学校生・大学生（以下「専門・大学生」という。）になると、「重要」と「あまり重要でない」が拮抗するようになり、20 歳代というくくりでは「あまり重要でない」が 4 割を超える。読書量では、特に高校生で、「本をほとんど読まない」という回答割合が中学生より 18 ポイントも多くなっている。中学生から高校生への過程で読書への動機づけを持続させるような取組みが求められるとともに、本離れが進んでしまう世代に対し、本だけではない魅力を施設に持たせる必要があると考えられる。

図書館の利用目的としては、「宿題、勉強をするため」が高校生で 5 割を超え、中学生及び専門・大学生でも 4 割前後となった。一定の学習室の確保が重要であるとする。

図書館を利用しない理由として、中学生及び専門・大学生では「自宅や学校から遠い」が多く、高校生では「本は購入して読んでいる」「忙しくて行く暇がない」が多くなった。アクセスの改善を図るとともに、部活動等学校での活動が忙しいと考えられる高校は、行ってみたいくなる仕掛け、高校生世代が読む本の分析と収集が必要であると考えられる。

(単位：人)

読書の重要度	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
とても重要	20	30.8%	13	15.5%	5	17.9%	13	13.1%
重要	28	43.1%	30	35.7%	11	39.3%	34	34.3%
あまり重要でない	14	21.5%	33	39.3%	11	39.3%	43	43.4%
重要でない	3	4.6%	8	9.5%	1	3.6%	8	8.1%
読書量	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
月に5冊以上	14	21.5%	11	13.1%	2	7.1%	9	9.1%
月に2～4冊	28	43.1%	14	16.7%	8	28.6%	21	21.2%
月に1冊	14	21.5%	12	14.3%	3	10.7%	19	19.2%
2～3か月に1冊	1	1.5%	11	13.1%	5	17.9%	13	13.1%
半年に1冊	2	3.1%	13	15.5%	5	17.9%	12	12.1%
ほとんど読まない	6	9.2%	23	27.4%	5	17.9%	25	25.3%

(単位：人、件)

図書館の利用頻度	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
ほとんど毎日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週に2～3回	1	1.5%	2	2.4%	1	3.6%	3	3.0%
週に1回	6	9.2%	1	1.2%	2	7.1%	3	3.0%
月に2～3回	5	7.7%	13	15.5%	1	3.6%	6	6.1%
月に1回	7	10.8%	5	6.0%	1	3.6%	4	4.0%
年に数回	25	38.5%	33	39.3%	12	42.9%	33	33.3%
利用したことが無い	21	32.3%	30	35.7%	11	39.3%	50	50.5%
図書館の利用目的	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
図書を借りるため	38	58.5%	29	34.5%	10	35.7%	31	31.3%
館内での図書、新聞等を閲覧するため	10	15.4%	13	15.5%	6	21.4%	15	15.2%
DVD・CDの視聴のため	3	4.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
インターネットを利用するため	5	7.7%	4	4.8%	0	0.0%	1	1.0%
資料を利用して調査研究するため	3	4.6%	6	7.1%	1	3.6%	3	3.0%

宿題、勉強をするため	26	40.0%	43	51.2%	11	39.3%	14	14.1%
仕事をするため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.0%
調べ物の相談のため	0	0.0%	2	2.4%	2	7.1%	5	5.1%
講座や行事（読み聞かせ等）に参加するため	0	0.0%	2	2.4%	1	3.6%	3	3.0%
子ども等の付添いのため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
気分転換、リフレッシュするため	15	23.1%	11	13.1%	6	21.4%	19	19.2%
その他	1	1.5%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
図書館を利用しない理由	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
場所や利用の仕組みが分からない	6	9.2%	4	4.8%	3	10.7%	13	13.1%
自宅や学校、勤務先から遠い	12	18.5%	9	10.7%	7	25.0%	12	12.1%
別の図書館（学校図書館含む）で満足である	5	7.7%	4	4.8%	2	7.1%	1	1.0%
行くための交通手段がない	2	3.1%	1	1.2%	1	3.6%	1	1.0%
開館日や開館時間に都合がつかない	2	3.1%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.0%
本は購入して読んでいる	7	10.8%	13	15.5%	1	3.6%	23	23.2%
貸出や返却の手続きが面倒である	2	3.1%	2	2.4%	2	7.1%	10	10.1%
本をあまり読まない	7	10.8%	10	11.9%	3	10.7%	11	11.1%
インターネット、電子書籍で十分である	1	1.5%	3	3.6%	2	7.1%	8	8.1%
雰囲気が苦手である	1	1.5%	3	3.6%	1	3.6%	2	2.0%
利用したい図書・サービスが無い	2	3.1%	2	2.4%	2	7.1%	6	6.1%
忙しくて行く暇がない	4	6.2%	12	14.3%	1	3.6%	15	15.2%
その他	4	6.2%	0	0.0%	1	3.6%	3	3.0%

図書館で充実してほしいものは、中学生及び高校生では「書籍、雑誌等の充実」「居心地の良い空間」「インターネットやWi-Fi環境の充実」が上位3つを占め、専門・大学生では「書籍、雑誌等の充実」に代わり「交通の利便性・駐車場の充実」が上位に入った。20歳代というくくりでも同様の傾向が見られた。

ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」「飲食ができる」が共通して支持があったが、高校生では「学校帰りに気軽に寄れる」が5割以上、専門・大学生では「長い時間滞在できる」が6割以上、「静かな部屋で調査や自習ができる」が4割以上の回答があった。20歳代では、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」に次いで「仕事、学校帰りに気軽に寄れる」が多くなっている。目的がなくても立ち寄れる気軽さ、居場所があることがこの世代には重要なポイントとなることが伺われる。

(単位：件)

図書館で充実してほしいもの	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
書籍、雑誌等の充実	38	58.5%	46	54.8%	9	32.1%	50	50.5%
居心地の良い空間	30	46.2%	56	66.7%	16	57.1%	55	55.6%
図書貸出等の手続きの利便性	9	13.8%	9	10.7%	3	10.7%	16	16.2%
書籍、雑誌、資料等の探しやすさ	24	36.9%	16	19.0%	7	25.0%	23	23.2%
インターネットやWi-Fi環境の充実	31	47.7%	45	53.6%	14	50.0%	35	35.4%
ビジネス支援の充実	1	1.5%	0	0.0%	2	7.1%	6	6.1%
子ども・ティーンエイジャー向けの書籍やサービスの充実	10	15.4%	9	10.7%	3	10.7%	11	11.1%
読み聞かせコーナーの充実	0	0.0%	1	1.2%	1	3.6%	2	2.0%
地元産業・郷土資料展示コーナー	1	1.5%	3	3.6%	2	7.1%	4	4.0%
高齢者や障がい者の利用しやすさ	8	12.3%	7	8.3%	1	3.6%	5	5.1%
利用しやすい開館日・開館時間	11	16.9%	18	21.4%	8	28.6%	28	28.3%
交通の利便性・駐車場の充実	6	9.2%	10	11.9%	11	39.3%	31	31.3%
専門的な職員による対応	4	6.2%	1	1.2%	0	0.0%	2	2.0%

その他	3	4.6%	4	4.8%	1	3.6%	4	4.0%
ライブラリーセンターで何ができれば良いか	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
電子書籍等の電子情報に気軽に触れられる	14	21.5%	7	8.3%	1	3.6%	7	7.1%
仕事、学校帰りに気軽に寄れる	15	23.1%	46	54.8%	8	28.6%	36	36.4%
静かな部屋で調査や自習ができる	20	30.8%	28	33.3%	12	42.9%	22	22.2%
イベントや催し物ができる	10	15.4%	11	13.1%	3	10.7%	18	18.2%
趣味・仲間が見つけれられる	9	13.8%	13	15.5%	4	14.3%	15	15.2%
友人や仲間と集い、交流ができる	20	30.8%	17	20.2%	5	17.9%	21	21.2%
子ども連れで気軽に利用できる	2	3.1%	1	1.2%	2	7.1%	18	18.2%
目的がなくても気軽に立ち寄れる	25	38.5%	32	38.1%	11	39.3%	43	43.4%
くつろぎながら読書ができる	24	36.9%	27	32.1%	6	21.4%	36	36.4%
長い時間、滞在できる	19	29.2%	26	31.0%	17	60.7%	32	32.3%
飲食ができる	24	36.9%	33	39.3%	11	39.3%	32	32.3%
託児が出来る	1	1.5%	0	0.0%	1	3.6%	6	6.1%
その他	3	4.6%	2	2.4%	0	0.0%	2	2.0%

開館については、どの属性も午前9時頃が多く支持があったが、午前8時頃も3割以上の回答があった。

閉館については、中学生は午後8時頃、高校生及び専門・大学生では午後9時頃の支持が多くなった。

20歳代では、午前9時頃開館、午後9時頃閉館が5割以上となった。

(単位：人)

開館	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
午前7時頃	7	10.8%	19	22.6%	4	14.3%	15	15.2%
午前8時頃	21	32.3%	32	38.1%	9	32.1%	23	23.2%
午前9時頃	34	52.3%	27	32.1%	15	53.6%	51	51.5%

(単位：人)

閉館	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
午後7時頃	12	18.5%	10	11.9%	2	7.1%	16	16.2%
午後8時頃	27	41.5%	28	33.3%	8	28.6%	23	23.2%
午後9時頃	21	32.3%	39	46.4%	16	57.1%	50	50.5%

広場で何ができれば良いかについては、「飲食ができる」「イベントの開催」が共通して支持があった。専門・大学生では「休憩ができる」に6割の回答があり、中学生及び高校生には「待ち合わせや談話ができる」に一定の支持があった。20歳代でもほぼその4つに支持が集まったが、20歳代では「緑を感じることができる」にも4割の支持があった。

(単位：件)

広場で何ができれば良いか	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
イベントの開催	31	47.7%	38	45.2%	11	39.3%	46	46.5%
本が読める	11	16.9%	8	9.5%	3	10.7%	14	14.1%
体を動かすことができる	19	29.2%	25	29.8%	7	25.0%	20	20.2%
緑を感じることができる	19	29.2%	24	28.6%	11	39.3%	40	40.4%
休憩ができる	26	40.0%	36	42.9%	17	60.7%	43	43.4%
待ち合わせや談話ができる	31	47.7%	40	47.6%	9	32.1%	44	44.4%
飲食ができる	32	49.2%	50	59.5%	14	50.0%	44	44.4%
趣味仲間やサークルの活動ができる	13	20.0%	14	16.7%	4	14.3%	16	16.2%
その他	2	3.1%	1	1.2%	3	10.7%	5	5.1%

交通手段は、中学生及び高校生では自転車、専門・大学生及び20歳代では自動車突出する。

(単位：件)

交通手段	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
電車	2	3.1%	8	9.5%	3	10.7%	7	7.1%
自転車	42	64.6%	53	63.1%	6	21.4%	9	9.1%
バス	11	16.9%	7	8.3%	10	35.7%	12	12.1%
自動車	24	36.9%	19	22.6%	15	53.6%	78	78.8%
徒歩	5	7.7%	6	7.1%	3	10.7%	9	9.1%

観光情報センターのサービスについては、「お土産の充実」が共通して最も多いが、20歳代というくくりからは「休憩ができる」が多くなり、30歳代以上でも同様である。若い世代は、お土産の充実に観光の価値を置いていることが分かる。

(単位：件)

観光情報センターのサービス	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
お土産品の充実	31	47.7%	33	39.3%	10	35.7%	39	39.4%
休憩ができる (カフェ等を含む)	30	46.2%	26	31.0%	10	35.7%	50	50.5%
ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信	6	9.2%	7	8.3%	2	7.1%	11	11.1%
インバウンド対応機能の充実	1	1.5%	1	1.2%	2	7.1%	2	2.0%
インターネットやWi-Fi環境の充実	24	36.9%	19	22.6%	9	32.1%	23	23.2%
バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介	5	7.7%	3	3.6%	2	7.1%	11	11.1%
その他	1	1.5%	0	0.0%	2	7.1%	8	8.1%

イベント企画や施設運営等への参画については、中学生で69.2%、高校生で61.9%、大学生で67.2%という高率であった。年代別に見ても、10歳代は64.7%で、世代間で最も高くなっている。これらの年代をターゲットにした仕掛けづくりを、積極的に取り組む必要があると考える。

(単位：人)

運営等への参画	中学生 (n=65)		高校生 (n=84)		専門・大学生 (n=28)		20歳代 (n=99)	
参画してみたい	45	69.2%	52	61.9%	22	78.6%	58	58.6%
参画しない	17	26.2%	27	32.1%	4	14.3%	23	23.2%

③ 午後9時頃の閉館希望者の分析

閉館の回答として最も多かった回答者のニーズを分析することで、適切な運営時間の設定を検討できると考えられる。

年齢では、10歳代～50歳代で各年代内での支持が最も多くなっている。60歳代では午後8時頃に次いで2番目、70歳以上では午後7時頃、午後8時頃に次いで3番目に下がる。

(単位：人)

午後9時頃の閉館を希望する人の年齢別割合		40歳代 (n=114)		50歳代 (n=133)	
10歳代 (n=170)	68	40.0%	50歳代 (n=133)	59	44.4%
20歳代 (n=99)	50	50.5%	60歳代 (n=120)	31	25.8%
30歳代 (n=133)	62	46.6%	70歳以上 (n=97)	20	20.6%

職業別では、会社員が突出して多く、午後9時頃と回答した人の37.5%を占め、会社員の中でも50.8%が午後9時頃を支持している。

午後9時頃の閉館を希望する人の職業別割合（人）（n=344）		
自営業	25	7.3%
会社員	129	37.5%
公務員・教員	18	5.2%
アルバイト・パート	31	9.0%
専業主婦	12	3.5%
専門学校生・大学生	16	4.7%
高校生	39	11.3%
中学生	21	6.1%
無職	34	9.9%
その他	16	4.7%

図書館を「年に数回利用する」「利用したことがない」という人が、回答者の78.8%を占めており、あまり利用していない層が来館するきっかけの一つとなり得ると考えられる。

午後9時頃の閉館を希望する人の図書館利用頻度別割合（人）（n=344）		
ほとんど毎日	0	0.0%
週に2～3回	3	0.9%
週に1回	13	3.8%
月に2～3回	33	9.6%
月に1回	23	6.7%
年に数回	114	33.1%
利用したことが無い	157	45.6%

図書館で充実してほしい機能について、「利用しやすい開館日・開館時間」と回答した人の51.1%、「インターネットやWi-Fi環境の充実」と回答した人の50.2%が午後9時頃を選択しており、ライブラリーセンターで何ができれば良いかについては、「飲食ができる」と回答した人の46.5%が午後9時頃を選択している。午後9時頃まで開館していれば、利用しやすいと感じる人が多く、そこでインターネットやWi-Fiが使える、飲食ができれば、さらに利用動機が高まると考えられる。

（単位：件）

「図書館で充実してほしい機能」の中で、午後9時頃の閉館を希望する人の回答が多かったもの（件）		
利用しやすい開館日・開館時間（n=182）	93	51.1%
インターネットやWi-Fi環境の充実（n=223）	112	50.2%
居心地の良い空間（n=450）	197	43.8%
交通の利便性・駐車場の充実（n=270）	115	42.6%

「ライブラリーセンターで何ができれば良いか」の中で、午後9時頃の閉館を希望する人の回答が多かったもの（件）		
飲食ができる（n=273）	127	46.5%
くつろぎながら読書ができる（n=286）	130	45.5%
仕事、学校帰りに気軽に寄れる（n=258）	113	43.8%
長い時間、滞在できる（n=205）	86	42.0%
子ども連れでも気軽に利用できる（n=186）	78	41.9%
目的がなくても気軽に立ち寄れる（n=429）	173	40.3%

広場で何ができれば良いかについても「飲食ができる」と回答した人の44.3%が、観光情報センターのサービスについても「インターネットやWi-Fi環境の充実」と回答した人の48.4%が、午後9時頃までの開館を選択しており、飲食とインターネット・Wi-Fi環境整備は、ライブラリーとの相乗効果をもたらすことができると考えられる。

「広場で何ができれば良いか」の中で、午後9時頃の閉館を希望する人の回答が多かったもの（件）		
飲食ができる（n=424）	188	44.3%
イベントの開催（n=410）	174	42.4%

「観光情報センターのサービス」の中で、午後9時頃の閉館を希望する人の回答が多かったもの（件）		
インターネットやWi-Fi環境の充実（n=190）	92	48.4%
休憩ができる（n=418）	170	40.7%

④ 図書館の定期的利用者の分析

図書館の定期的利用者（「月に2～3回」以上利用すると回答した方をいう。）の傾向を分析することで、図書館の長所等が分析できると考えられる。

女性が70.6%を占めている。年代は40歳代（23.5%）、10歳代（22.8%）、60歳代（13.2%）の順に多い。

読書が「とても重要」「重要」と考えている人が87.5%、本を月に2冊以上読む人が72.1%を占めている。図書館の利用目的も「図書を借りるため」が84.6%、図書館で充実してほしい機能も「書籍、雑誌等の充実」が62.5%に上るなど、本や読書に関するニーズが高い層である。ライブラリーセンターで何ができれば良いか、についても「静かな部屋で調査や自習ができる」「くつろぎながら読書ができる」の回答割合が全体より5ポイント強上回るなど、図書館へのニーズは資料の充実、静かな読書環境に集中していると言える。

一方で、図書館で充実してほしい機能で「居心地の良い読書空間」という回答も6割近くあり、ライブラリーセンターで何ができれば良いか、についても「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が「くつろぎながら読書ができる」よりも10ポイント以上の回答数が多くあり、「仕事、学校帰りに気軽に寄れる」も一定の支持があった。

以上のことから、図書館は、読書に対するニーズの高い層が定期的に利用しており、この層のニーズには一定程度応えていると考えられるが、居心地の良い空間、目的がなくても気軽に立ち寄れる雰囲気などは、図書館の定期的利用者からも求められている課題と言える。

「図書館で充実してほしい機能」の中で、図書館の定期的利用者から回答が多かったもの（件）（n=136）		
書籍、雑誌等の充実	85	62.5%
居心地の良い空間	80	58.8%

（単位：件）

「図書館で充実してほしい機能」について、図書館の定期的利用者と全体の回答数の比較	現図書館の定期的利用者（n=136）		回答者全体（n=869）	
仕事、学校帰りに気軽に寄れる	43	31.6%	258	29.7%
静かな部屋で調査や自習ができる	40	29.4%	211	24.3%
目的がなくても気軽に立ち寄れる	66	48.5%	429	49.4%
くつろぎながら読書ができる	52	38.2%	286	32.9%

（6）アンケート結果からの考察

以上の結果を踏まえ、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画を策定するあたり、検討するポイント（視点）は、次のとおりと考える。

- 図書館利用経験が全体的に少ない現状において、現中央図書館をそのまま移転するというだけでは訴求力が低いため、従来型とは異なる新しいライブラリーセンターの機能（居心地の良い空間づくり、飲食ができる等）を打ち出していく必要がある。
- 「場所や利用の仕組みが分からない」という市民も2割を超えていることから、PR活動を充実させる必要がある。
- 若者世代を引き付けるには、気軽に立ち寄れる雰囲気、飲食ができる、インターネットやWi-Fi環境の充実など、滞在型機能を備えていくことが必要である。
- 観光の面では、お土産品の充実の声が多く、地元企業等と連携した販売方策を検討する必要がある。
- 駐車場の充実、アクセスの改善など、あらゆる層の人が来館しやすくなるための公共交通の検討も求められる。
- 現中央図書館よりも開館時間を延長することのニーズが高いが、開館時間の延長だけではなく、Wi-Fiが使える、飲食ができる、イベントがある、目的がなくても気軽に寄れる、などの要素も同時に実現していくことが求められる。
- 子ども連れでも気兼ねなく使える、高齢者や障がい者が安心して使える、若者が集えるサービスなど、対象別の方策、住み分けを意識した施設づくり、運営方法の検討が必要である。
- イベント企画や施設運営等への参画意欲が高いことは、大変心強いものであり、市民参加の場面を組み込んだ施設の運営のあり方を検討する必要がある。

< 質問 22 への回答 >

駐車場の充実、交通手段、施設へのアクセス等に関する意見

これからは高齢化社会なので、高齢者でも利用しやすい駐車場にしてください。
せっかく事業プランを同封して下さったのですが、老眼には虫眼鏡を使わないと見えません。高齢者、障がい者に利用しやすい施設にして下さるよう希望します。

災害から逃れる人工地盤（津波、火災、噴火等）
無料のパーキング・低地の為、津波の防災拠点としての整備（1Fは浸水区域）ここは図書館には不向きです。

動力、電気、設備が災害時も使える様（スカイツリーのソラマチのように）
東西道路が無いので、東口のパーキングも広く整備すべきだと思います。最終的には酒田駅の橋上化に合わせた、立地と接続にすべきでしょう。

駅に必要なこと①遠方や、より広くの地域から通学できる（通勤）地の利を活かす。②交通弱者が集まれる駅と、施設づくり（整備）（小人～高校生）（障がい者、老人、女性）したがって施設としては、支援学校をここに持ってくる。（普通）高校大学のキャンパスでもOK各地域から相互に通える（東校の移転も可）

学童施設（無料、有料）予備校（ネット回線）。児童、学童、中学生と親が待ち合わせられる設備。
北海道の岩見沢駅周辺のような（酒田市からは調査済み）

酒田市を、東京や大阪と内線で結べる機能。

りん港線の活用・レールバス、ソーラートラムを運用（市内、周回線）を作る・観光、高齢化、地域活性化を図る。

駅と町と市役所、港を結ぶ～酒田市民鉄道

酒田駅まで地下道を整備して、駐車場から雨や雪を気にしないで行けるようにしてほしい。

大規模駐車場で気軽に利用出来るようにしてほしい。

庄内バスターミナルも統合してほしい。

総合文化センター内の図書館を利用する時は、2歳の子供がいること、帰りに借りた図書を持ち帰る事、上の子（中2、小5）たちに頼まれた予約本を合わせると重いため、自家用車でいきます。「交流ひろば」の駐車場のよう、利用者の駐車料金負担がないと、引き続き利用しやすいと思います。

駐車場の充実。幅広い年代で利用しやすい施設にしてもらいたい。

駐車場の止めやすさ。量は絶対必要だと思います。

レストランも郷土料理を扱うお店や洋食を食べられるお店やイタリアン等、いくつかあると観光客も、酒田市民も選べるし、行きたいと思うと思います。

子供がいる世代としては、レストランやカフェ等に子供連れのグループが入りやすいよう個室等が充実していると、使いたいし、使いやすいです。

駐車場は車を止めやすくしてほしい。

幼児が、冬期間でも無料で遊べるスペースを作ってほしい。

駐輪場が少ないと思うので、もっと増やした方がいいと思う。

もう少し色が入っているといい。白黒だと少し暗いと思う。

酒田らしいショップもいいと思うけど、駅の近くにはお酒のお店もあるし、そこは少し考えた方がいいと思う。緑が多いのはとても良いと思います。酒田を明るくして下さい！！

バス乗り場をまとめてほしい。ただの箱ものにはならないでほしい。

施設に掛かる電気代や冷暖房費が少なく済むことは大事だと思います。車の駐車が止めやすい設計にしてほしい（中町地下Pは停めにくいので）

イベント等を行った時、駐車場がなかったり車の渋滞とかなると行きたくなくなるので、庄内の車社会の特徴を理解した施設として頂きたい。

①用事を終わった後、買い物、食料品売り場があればよろしいかと思う。②酒田バイパス～駅東→駅前に地下道を通してもらいたい。ごく少数の反対者がいる様ですが、新幹線がくる前に今から準備したほうが良いのでは。向かいの通りも綺麗な街並みにしてほしい。

全国で成功している事例を参考にしてください。

駐車場は立体は気軽に立ち寄れない。平面にしてください。

中高生のたまり場にして下さい。活気が出ます。

公益大生が来れる様に、交通手段（バス等）車持っていない人多い。

飲食しながら本が読める。デパ地下欲しい。

天気の悪い日でも利用しやすい様に、地下道でそれぞれの施設を行き来できると嬉しい。

車が無いと、利用できないので、駐車場が有料になるとあまり利用できないので、無料になる様にしてほしい（JRの有料駐車場も、有料になってから余目や、鶴岡から電車を利用するようになった。他の町、市の方が生活しやすいのでは・・・と思う時がある。清水屋も、イオンカードで駐車場無料になってから頻繁に買い物するようになった）。

今日あるイベント（酒田に限らず庄内全般）を紹介する掲示板があるといい。市内、外からくる人も、とりあえず光の湊で待ち合わせをして、今日どうするか、何かイベントやっているのか確認して予定を決められる。時にはそのまま電車を利用して遠出することもあるかも・・・。酒田市の活性化に直接結びつかないかもしれないが、とりあえず”集まれる場所”があると嬉しい。

いつ行っても駐車できる安心感があると、利用しやすくなると思います。「駐車できないかも。」と思うと、足が遠のいてしまいます。同時に新幹線、山形新幹線の庄内延伸と羽越新幹線の新潟～酒田～秋田間が実現できると、観光客も大幅に増え、利用者が大勢で賑やかになると思います。両新幹線の実現を願っています。

今駐車場になっていますが、本当に助かっています。駅前でも飲みに行くとしても、電車を利用するにしても、今の駐車場は、台数も多く置けるし、これから新しく建てるとしても駐車場のスペースは確保して欲しい。時間制限もなく、駐車料金も取られない様にしてほしい。酒田は何ととっても駐車場です。今更なのですが、駅前に図書館は必要なのでしょうか。文化センターではダメなのでしょうか。もっと酒田をアピールできるものはないのでしょうか。

駅からの陸橋による連絡道があればよいと思う。

駅前が暗いです。照明等、ハード面での暗さもあると思うのですが。飲食店が増えてほしい。（立ち飲みできるような店も欲しいです。）酒田へ観光に来られた方が、駅の周辺を見て残念に思うところもある様です。（暗い、店が無い、活気が無い）明るい酒田を作ってください。（パルコ、フォーラス、エスパル等入れてほしい）

今の駐車場をなくした場合、図書館の駐車場はどうするのか気になる。

いくら素晴らしい建物が出来ても交通（バス）の時刻が少なくでは利用できないのでは？

駅前整備では、駐車場はどうなのでしょう？利用しやすい駐車場が欲しい。その施設ばかり良くても、周りとの差が出るのは変。

駅前なので今までのような駐車場としての利用もできるようにしてもらいたい。

駅を利用する他県の人から、「酒田駅って何もないね」とよく言われるので、駅前施設の充実はとても良いことだと思います。酒田のシンボルの獅子舞やあののんをたくさん使って飾ってほしいです。現在の駅前の駐車場、駅を利用する時に大変助かっていました。市民の移動手段はほぼ車なので、気軽に利用できる様、駐車料金は無料にしてもらいたいです。

大きな駐車場。

多くの方々に利用して頂ける様な施設が何よりですが、駐車場はきちんと料金をとるべきだと思います。無料となると、現在の駅前と同じように、本当に利用したい方が出来ない状況となるのは明らかです。駐車料金は駐車場の維持管理に適切に利用して行く旨など明示し、高額ではなく適当な額をとっていただきたいです。

気軽に立ち寄りたいたいと思っても、駐車場が不便だどついつい遠のいてしまいます。年配の方も分かりやすい駐車場にしてください。楽しみにしております。

現在、駅前に駐車場がある為、以前より駅前の店、居酒屋など利用しやすくなった。開放前は、駐車場がなく、駅周辺の店を利用したくても車が止められず利用しにくかった。できれば、駐車場は無料にしてほしい。

現在、駅前の空地は、無料の駐車場の様ですが、いつも満車で近所の人が停めている様な話です。光の湊の駐車場の管理、運営は大丈夫ですか。

現在、駐車場は無料だと思いますが広く使いやすい場所が必要と思います。駅前開発を待ち望んでいました。更に良い明るい駅前となるよう要望します。今まであまりにも粗末な感じで通行する度に気分が沈んでました。昔の様な活気が取り戻せたらと願っています。

現状で不便を感じている、駐車、駐輪スペースの確保はぜひお願いしたいところです。

郊外型に劣らない駐車スペースの確保がないと、市街地外からの訪問が難しいのかなと思います。
(立体的でない駐車場など・・・)。

交通面で不具合の無いようにして頂きたい。路上駐車や歩行者との動線による渋滞がないように。安全面の充実をお願いします。

酒田駅直結との明るい地下歩道の整備（単なる通路でなく）が大事と思えます。

酒田駅を利用して来酒したお客様への利便性を考え、雨や雪にもぬれずに施設を利用できるように考えても良いのではないのでしょうか。

酒田市駅前の活性化の為に、新庄延線（新幹線）を目標にしているようですが、この方針には賛同出来ません。むしろ、新潟からの新幹線の延線が効果があると思います。何故ならば、新庄からの延線はスケールが小さく多くの観光客を望めないからです！延線→延伸の間違いのようです。

酒田に住むには、今は自動車が無ければ生活できない。もう少し交通機関の充実、又は、駐車場の充実等が重要と考える。

酒田の交通手段は車が主だと思うので、駐車場の確保が大切だと思います。中町に人が集まらないのは、駐車場が不便だからだと思います。酒田に訪れた人が素晴らしいと思えるような場所作り、期待しています。

施設の充実は、良いにこしたことがありません。交通アクセスを、他にない便利さを、酒田市でやってみませんか？駐車場の広さには限りがあります。高老の年代が元気に過ごせたり、家族で出かける為に、今のるんるんバスの循環型時間の延長、コミセンへのアクセスも含め、実現して欲しいです。

市内ではバスの利用が出来ますが、市街地の住民は公立の乗物がない（特に乗合バスが無い）高齢者は、自家用車の運転が困難です。

市外から訪れた取引先からよく言われる話だが、酒田駅前には電車の待ち時間にちょっと暇をつぶせたり、軽く仕事出来る場所が無いので、不便だとの事。また、現在の駐車場だが、あれはあれで重宝しているし、旅行や駅前での飲食にとっても使いやすい。あれと同等の駐車場を望む。（利便性、料金、台数）。

十分な駐車場の確保。

スパ施設、ミニシアター、ミニバー、カラオケなど娯楽施設。大規模な観光物産店（その施設限定の商品など）。ATM。地元の人にはほぼ移動手段が車だと思うので、駐車場は充実していた方がいいと思う。送迎バスの様な専用バスもあると良いと思う。

ずっと酒田で暮らしている人なら何も感じないかもしれないが、自家用車社会だと。バスがもっと運行していればバスに乗る人も多い（お年寄りも含め）のに、運行していないから結局自家用車でしかどこもいけない。そして歩いている人が殆どいない。だからなんとなく街全体がさみしい感じがする。駅前にこんなにすごいものを作るのであれば、バス、電車（人を集めるためにも同じ庄内として、余目、鶴岡ともぜひ組んでほしい。）も含め集客をぜひしてほしい。また、この施設自体が観光目的の一つになるような”何か”（ただの図書館ただの案内所にとどまってしまう）があり、それをJRや旅行会社とPRしてほしい。そうしたらもっと内からも外からも活気ある酒田になるのでは?!（なってほしい）

仙台駅のように、駅からの連絡通路があれば便利だったかと思いました。

第一に駐車スペースだと思います。今は用がある時に駐車する所が無いくらい常にいっぱい。¥100程度でも料金を取るべきでは。。

沢山の人が来るには、交通環境がとても大事だと思います。

建物に対して、駐車場が少ないと感じました。車社会なので駐車できる台数をもっと増やした方がいいと思います。酒田市の公共施設や催し物の時、いつも駐車場を探すのが大変なので。

誰でも気軽に行きやすい施設にすれば自然と皆様が足を運んでくれて活気のある駅前になると思います。パーキングを無料制にして広く使用できたら助かります。

駐車場。満車の状態では待つのも苦手なので代替りの所に行く感じになります。

駐車場の台数を充実させてほしい。気軽にステージイベント（音楽・劇等）が出来る場が欲しい。

駐車場のままが良い。無料駐車スペースがあることで買い物に行ったり街が賑わうのでは？高齢者福祉施設お年寄り～子供まで、世代を超えた交流施設。スーパーマーケットも一緒に必要。お年寄りが買い物に行けるように。

駐車場は何台くらい大丈夫でしょうか？

駐車場を広くしてもらいたい。

駐車場を無料にするべきだ。

駐車スペースが少ない事と、ショッピング出来たらとても良いです。

駐輪場も忘れずに作ってほしい。

図書館を利用するにあたり駐車場の無料か割引をして頂けると嬉しいです。

どのような施設が出来ても、その建物や広場的な主な空間を2階以上の高さにして、下の道路を通らずに駅に行けるような回廊型の通路を作ってほしい。

何よりも駐車場をきちんと確保してもらいたい。酒田での移動は、車がないと他に移動手段が無いに等しい。

何を造るにしても広い駐車場が必要。

バス定期便の停留所設置。酒田駅と直結通路。

バスの定期便（観光バス）のようなものは必要だと思う。学生や高齢者の集客には交通は大事。

普段、移動はほぼ車です。運転技術には自信がないので、立体駐車場にはまず入りません。その為、気軽に入りやすい、止めやすい所で無ければ、敬遠してしまうと思います。

みんなが（市民が）利用しやすい建物を作ってもらいたい。今ある駐車場が便利なので駐車場はほしいです。

無料駐車場、もしくは無料駐車場からのバス送迎。

無料駐車場。重い荷物を預かってくれるとこ。

無料駐車場を絶対に必要。後は、酒田には子連れで行けるところが少ないので、絶対に子連れで行ける施設を作って欲しい。

無料駐車スペースの充実。

無料の駐車場が沢山あると行きやすい。

もう少し大きめの駐車場を作ってもらいたい。地下をもっと利用してもらいたい。農産物直売所の施設をお願いします。

もう少しバスの利便性があるといいです。今のるんるんや庄内交通では使いにくいです。

問題は交通の手段。汽車を利用する他市、県の人には良いのですが、やはり駐車場は無料にした方が利用しやすいと思います。年齢問わず、楽しめる施設、そんなものがあれば良いと思います。

八幡の方に住んでいるが、交通手段のバスは日本海病院までで、中心部や駅には乗り換えないと行けない。中心部も経由してもらいたい！

ライブラリーセンターと、駅利用者の為の駐車場は現在の駅前駐車場よりもっと沢山の台数が停められるようにして欲しいです。また税金を使うのですから適正な価格で、のちのち市民に負担が無い様に、無駄な出費を抑えて欲しいと思います。いつも鶴岡市のホームページ等を見て思いますが、酒田市は宣伝が下手で、負けていると思います。工夫して欲しいです。

駅前で時間を潰せる場所、待ち合わせできる場所として使用でき、酒田は車がないと不便なため、駐車場の充実に力を入れてもらいたいです。もちろん無料駐車できるように大きい箱ものじゃなく、こじんまりとした建物を造り、広い土地を自由に使わせてもらいたい。今のままでもいい。駅前駐車場として。

駅前には、駐車場ビル特に必要だと思います。

庄交バスターミナルを駅前へ移転してほしい。現在、バスターミナル用の駐車場はなく、駅前の本施設用地の駐車スペースを利用しているが、少し離れている為、アクセスが悪く感じる。本施設への集客も十分期待できると思う。

駐車場！！駐車場をぜひ！！鶴岡公園周辺は駐車場がたくさんあって便利なので！気になる場所があっても駐車することが出来なくて見ることが出来ない場所、酒田に結構あります。。中町のお店とか。。無料だと嬉しいです！

地元の素材を使った、お食事処の充実や、老若男女楽しめるアウトレットモール、銭湯、交流広場なども併設して欲しい。駐車場はすべての人に、無料で提供して欲しい。

年配者達や子供たちに使いやすい本棚の配置を。

ゆっくり本を選びたいけれど、駐車料金も気になります・・・。A案という事は、B案もあるのでしょうか？

あらゆる世代・利用層が気軽に行ける・楽しめる場所としての整備に関する意見

「ついでに行く」や「そこだけの品（飲み食べ物）」「おもしろ」「おかしい」「あそび」「あきない」ないといかないかも。

1時間程度で良いので、保育室で赤ちゃんを預かるサービスをすると、子育て母親の息抜きになり、利用者も増えると思います。読書会、朗読会、DVD鑑賞会など企画してほしい。

インターネットが充実すると、本当に必要とする人以外もダラダラと使用してしまうとか。電子書籍も利便性はあるが、本好きからすると、紙を感じる方が好きです。皆が集まりやすいが、一人一人プライベート空間がとれるようにしてほしいです。

子育てにかかわるイベントをよく開催できれば、賑わうと思います。（母子、父子で訪れることの出来るイベント）

お年寄り向けのコーナー（サークル活動が出来たり、イベントがあったり）

ビジネスマン向けのコーナーも。様々な人が集まれるような場になればいいですね。

子供が騒いでも大丈夫な場所が欲しい。（キッズスペースのような場所）欲を言えば、山形市や天童市、東根市にあるような屋内の児童遊具施設を作って欲しい。特に冬場は子供を連れていく場所がありませんので。

少ないスペースにあまり詰め込み状態でもいかがなものか？車社会に駐車場がどれだけ取れるのか？！集合住宅 10 階まで必要かどうか？

子供広場は別にして、中・高生向きの静かなスペースがあった方が良くと思う。

読書離れが進んでいます。子供の時から本に親しめる環境が大切。地元の子供達が気軽に利用できるような工夫が必要。

人が集まる手段として、飲食店の充実で若い方が集まりやすくなる。銀行等は市民や企業の方で人が集まると思われる。

列車待ちの学生の為に、開館時間をより長くしてほしい。観光客の為に、お土産売場とカフェスペースを充実して欲しい。

若者が遊ぶ所が少ないので、ラウンド 1 の様な遊ぶ所が欲しい。色々なスポーツ等も遊びながら出来るので。集合住宅はほらない。

飽きない待合室を作って欲しい。気軽に立ち寄れるようにして欲しい。

憩いの場としての充実する所としての場所は、利用する者には便利ではありますが。。表現のしかたは失礼ですが、一日中（冷暖している場所の為）ソファーに寝ている人が訪れる度にいたので、、、そういう対処をどのように対応するのが考えて頂きたい点であります。

いつまでも利用できる施設運営をお願いします。また、使いやすい施設にしてください。

今迄酒田市は、観光に力を入れてきたように感じております。今後は、市民が利用しやすい施設、安らぎを持てる街を作ることにも力を入れてほしいです。若者が家の外で気軽に利用できる施設が酒田にはありません！！

今迄の図書館は狭くて、読書や調べ物も出来なかつたので年配者が、ゆっくりできるスペースを確保して欲しい。広場やロビー等、広い場所を歩くのは年配者にとって苦痛な時もあり、ベンチやテラスを数か所設置して欲しい。（少しずつでも場所は多く）。

飲食店は子連れでも入れるお店にしていきたいです。

お年寄り＋子供が安心安全に利用できる施設となってほしいです。

主に学生が利用しやすい様に、ファーストフード店や、プリ機なども取り入れた方が良く思う。また、雑貨や文具のお店もあつたら良く思う。大人向けのコーヒー店もあれば、気軽に立ち寄れると思う。（落ち着いた感じの店）

学生が気軽に集える施設が欲しいです。

家族で楽しめる施設があると良いと思う。（友人とでも来れるような。）

気軽に立ち寄れる、人と人が交流できるような施設があると活気づくと思います。

高齢者に優しい施設をお願い致します。

高齢者の多い街ですから、高齢者が気軽に立ち寄れる施設になるといいなと思います。交流や賑わいも大切ですが、ここで暮らす人たちが住みやすい環境を保ちながら発展して行けるといいのではないのでしょうか、、、。「光の湊」すごく素敵だと思います。ただ 100 億以上かけて建設する程のニーズやメリットがあるのか理解し兼ねるのも正直です。

高齢者ばかり集まる様な場ではなく、遠方から子供連れが訪れても楽しめる施設があれば活性化につながると思います。

子供連れでも安心な、オムツ交換、授乳スペース、キッズ用トイレがあれば嬉しい。

子供、若い人、高齢者等と一緒に参加できる施設を作ってほしい。図書館、運動施設、ティールーム、コンビニ、自分たちが作った作品を展示、即売出来るギャラリー等。予約制にして交代で色々な作品を！！

子供が遊べるホール。

子供が体を沢山動かして遊べる遊具のある施設。

子供が楽しめる施設がもっとあると良い。買い物など気軽にできて、ゆっくり休めるようなカフェスペースも充実させてほしい。（ファッションモールの的な）

子供が鶴岡に通学している為、安全、安心に駅での待ち時間が過ごせる場所が欲しいです。今は暗いし周りに何もないため・・・中・高生も気軽に本を読んだり勉強をしたりするスペースがあればいいなあと思います。個人的には、図書館の利用をするため駐車場は確保してもらいたいです。

子供がのびのびと遊べる所（食べ物、トイレなどの環境も大切）休みの日（土・日・祝）はアンパンマン等のイベントがあれば人が集まると思う。

子供が水遊びできる所もほしい。

子供から大人、老人まで元気が出る様な酒田に出会いたいものです。

子供達が遊べる場所が欲しい。

子供達にたくさん本を読んでもらう為に、図書カードではなく、銀行の通帳カードみたいにしてほしい。→何冊読んだか自慢ができると思う。そういう企画をTVでみた。

子供と外で遊べる場所が欲しい。子供連れでゆっくり食事出来る飲食店が欲しい。図書館の書籍を選びやすいようにお勧め図書のピックアップなどして欲しい。

子供も大人もくつろげる場所になるよう期待しています。駅前が益々賑やかになると良いです。ゆとりある駐車場は必須だと思います。

子供も使うなら、保管か危機管理もすべきかと。＊整備員や、ガードレールの設置。バリアフリーなんかも。

子どもや若い人が集まることができるような施設の充実やイベントの開催を多数してほしい。

このようなアンケートに、我々のような者だけではなく、高校・大学生に直接聞く機会を増やせないでしょうか？「市役所1階ロビー、各総合支所窓口、中央図書館等になどにある」とありましたが、若い人はあまりそこに意見を出さないような気がします。それで例えば、一つの高校に絞ってもいいし、これからの若い世代の人の意見を聞けないでしょうか？（経費が掛かるでしょうか？）今回の計画が上手くいくように願っています。

最近アニメやマンガなどのブームが来ているので、そういった物も、少し取り入れて頂けると嬉しいです。高齢者用の休憩できる場所もあれば良いと思います。

酒田だけではないが、全国的に年々子供の数も減りつつある現在、子供や若い人、元気な老人まで、気軽に楽しめて、そして、足を運べる空間を造ってほしい。また、他の県からいらしたお客様や若い夫婦など将来酒田に住みたい（移住）したいと思える環境をお願いしたいと思います。

酒田にはいきたいと思う様な店が無いから若い人の観光が無いのだと思う。もっと若い人向けの店を増やした方が良く思う。図書館よりもそちらの方を作って頂きたい。

市民が集まりやすくするためにはまず、駐車場の使いやすさが必要、そこが不便だと2度3度と行きたくならない。イベントなどは、地元の企業、公益大や高校などから積極的に活用してもらえる環境となれば良い。地元の美味しいものを色々食べれる企画、イベントが年に数回あっても良い。

市民としては、天気の悪い日も快適に一定の時間を過ごせる環境を希望します。高価な調度は不要です。清潔で維持しやすいテーブルとイス、床、照明、ガラスがあって、それと困った時に話を聞いてくれるコンシェルジュが常駐していればなおよし。観光客としては荷物を預ける場所（コインロッカーでもいいでしょう）と一休み出来るスペースがあれば良いと思います。*市役所内にあるようなATMコーナーも。

少子高齢化、人口減少の時代、市民が集まりやすい環境を整えてほしい、外来者にも市の情報を発信し、市内の観光、体験等広く知らせ、交流を図ってほしい。

庄内交通の持っている力をもっと活用。人が集まれば、お金が落ちるみたいな考えをやめる。湊、酒田の枠でかっこいいところをちょっと、のぞかせる。（軽薄にならないこと）飽きないこと。

庄内地方は、冬の空がグレーで、心が暗くなってしまい辛い季節です。冬の間は明るく心が晴れるようなそんな居心地のよい所、雰囲気の良い所となればうつつぼくならずすむと思います。結構そのような人は多いので、考慮してもらいたいです。そこに行けば、そこに行きたくなるような緑の多い明るい、心が晴れる施設にしてもらいたいです。

資料を見て、子どもからお年寄りまでの人が楽しく利用できそうだと思います。完成したら、私も行ってみたいという気持ちになりました。

人口10万以上の都市でJRの駅前に大きなビルがなく、空地になっているのは、全国で酒田だけです。

人口に見合う施設であって欲しい。

壮大な計画にびっくりしていますがとても楽しみです。皆が気軽に立ち寄れる施設にして頂きたいです。

そんなにたくさんでなくともよいので、ショッピングも楽しめる場所であると嬉しいですね。観光情報センターのさらなる充実を願います。明るい駅前になることを期待します。

滞在型の図書館にするためには、手軽な値段で購入のできる店やカフェなどを充実させるべきだと思います。そして、休憩スペースを設ければ、午前からいた人が昼食の為に施設を出て買い物に行ったり、することがなくなり、一日中滞在できる図書館が実現できると思います。

沢山の緑を感じる環境づくりをして頂きたいと思っています。ほっとする居場所が欲しいです。

多目的エントランスのような集える場所を設ける。

誰でも気軽に利用できる雰囲気でお客から来た人にも、庄内の良さを伝えられる様な施設をお願いします。

誰でも利用しやすい。

単一目的の施設ではなく、多目的な機能を備えた複合施設が必要。市民の憩いの場でありながら観光の目的の一つとして立ち寄れる魅力ある施設の建設を期待しています。

小さな子供連れでも利用できるカフェ（おざしきタイプの席）、雑貨屋さんなどあれば、若い世代の利用者が増えると思う。今の案ではわざわざ駅前に行って利用してみようとは思わない。若い世代（特に女性）をターゲットに考えた方が、人が集まりやすいと思う。

中高生、大学生の集える、勉強の出来るスペースがあれば良いと思う。カフェでコーヒーを飲みながら勉強？長居している学生をよく見かけるので。

中高生、小さい子供たちにも使いやすいものにしてほしい。勉強できる場所が欲しい。

ティーンエイジャーの人気のあるショップを充実させてほしい。

都会にあってもおかしくわない空間を作る。空間づくりがこれからは大切。

図書館に漫画などの子供から大人まで楽しめるような施設にしてほしい。

年をとっても、気軽に学べる場を設けてほしい。金銭的な負担はなるべく少なく、様々な講座があったらいいと思います。民間事業との関係で難しいかもしれませんが、楽器に触れたり、語学を学びなおしてみたり、歴史について（特に世界史的なもの、あるいは美術史）学びたいと思っている人は、多いのではないのでしょうか。

ネット環境を整えて、友達と話をしたりする場所が出来るといい。気軽に立ち寄れるようにしてほしい。

年齢、性別、障がいのある人関係なく平等に利用できるといいです。

幅広い年代が利用できるような、工夫のある施設にしてもらいたいです。

バリアフリー、子育て世代に優しい設備。

半年間はグレーな季節となり、北西風も強くなります。消雪や融雪も考えて頂き、滑りにくい路面や床にして頂きたいです。また、高齢者にも優しい、使いやすい、施設にして頂きたいです。電車の時間まで過ごせる所が欲しいです。私も旅に出ますが、知らない土地に行くと駅前はとても大切な場所だと思います。よろしくお願ひします。産直もあると良いと思います。（余目駅前みたいな感じの）

フードコートが充実したら、高校生も集まると思う！駅は市の顔なので、賑やかな場所にしてもらいたい。県外の人だけではなく市民の為に！！子供をもつ親としては今あちこちに建てられてきている子供たちが遊べる室内遊具場を作ったら親も行くし、フードコートを作って遊んでいる子供達をみながら話ができる場所が良いと思う。図書館だけでは、人は集まらないと思う。大人だけではなく子供達の意見を聞いて下さい。

本と人のつながりができる、また来たいと思えるような素敵な図書館施設ができれば嬉しいです。

未就業の方の働ける場となればいいのではないですか。

緑の憩いの場を中心に防災を考えた一画区に。

もっと、女性が楽しめる空間、ファストファッションの店とか、コスメを扱う店があれば嬉しい。図書館メインの施設では、人は集まらないと思う。

もっと娯楽施設があったり、カフェ等があると人が利用してみたくなると思います。

夕方でも明るく、安全な場所であることを希望します。今の地下通路は少し怖いです。上を通れるようになるといいです。

夜遅くまで使える施設としてもらいたい。

ライブラリーセンターに設備する勉強スペースでは、今まで通りの静かな環境は持続してもらいたいです。また、長時間椅子に座っていると疲れるので長時間でもリラックスして勉強の出来る椅子にしてもらいたいです。

ライブラリーセンターのアンケートでしたが、ぜひとも駅前の活性化につなげていきたいもの！他にはない視点のライブラリーセンターに。旭川動物園みたいな創造性を！人々が沢山集まるためには、ライブラリーは少しおとなしいかな？防音を考え市民が集まり、楽しめるスペースをもう少し考えては。EX 酒田から全国へ出るスポーツ選手育成のスペースとか？皆が見て、子どもが注目の中でスポーツできるとか。室内テニス、ウォークライミング etc. 勉強などで鶴岡市にもよく行っており、酒田市の活性化、節に願っています。

ライブラリーセンターや本の蔵のパサージュ、完成をととても楽しみにしていますが、利用者がマナーを守れるような注意書き等があればいいのではと思います。

ライブラリーでは人は集められないと思う。特に若者。アミューズメント等、娯楽施設を充実したほうが良いのでは。宿泊者も利用できるし。

若い家族や子供連れも利用しやすいように、子供の遊ぶスペース等や少人数でも借りることの出来るワークショップ等が出来るスペース（貸会議室やレンタルキッチンなど）があれば良いと思います。

若い人が集まる様に施設を利用する方向小生です。食事の出来るマーケット街等作り先ずは人集に集中する事が必要ではないでしょうか！！

若者向けの服屋を入れて下さい。

分かり易い情報提示をして頂きたい。わくわくするような施設にしてほしい。

私の友達が（40歳後半以上男）が”ラウンド1”のような遊戯施設でなければダメだ！と熱弁しています。同意見の男性（40歳後半以上～）も多いです。遊戯施設の効果なども調査してみたいかたがでしよう。

夜でも立ち寄りやすい場所であってほしい。

酒田の観光拠点としての役割の充実に関する意見

「酒田」ならではのもの、酒田の子供たちに将来伝えたいもの、地域外の方達を酒田に何度も訪れたいと思わせるものが必要だと思えます。他市の真似をしていくだけでは弱いと思えます。期待しています。

外国人観光客向けのローマ字の看板。1コインで食べれる飲食店。

酒田駅も変わっていく必要があると思う。変わって行くとき時に、いかに連携が取れるかが重要。駅前の活性化は、市外、県外の集客に、とても大事な要素となるので、連携になるような施設づくりをしてほしい。

市外の方が、立ち寄った時に、他の所に観光してみたいくなるような、酒田市の紹介やアクセス方法があると良いと思う。

今回のアンケートについて。パンフレットの字が小さく、どんな施設になるのか見たくても読めない所がありました。アピールがそういう意味で下手。本当にアンケートを取りたいければ、もっと見やすく分かり易くして欲しい。駅前なので住民が集まりやすい事も重要だし、対市外の観光にも力を入れて欲しい。すごく楽しみにしてます。住民も観光客も集まる場所になって欲しいです。

食事処、喫茶店をできれば複数あって欲しい。（特に観光客の為にも！）図書館は「民営」ではなく公営（公立）にしてもらいたい。

新しい酒田の顔になるよう、夢と希望を与えて欲しい。そして県内外から観光スポットの一つとしての役割を果たすよう、成功を祈ります。

余り居心地の良い場所にすると一日中いる人（特に高齢者）が出てくる可能性もあるのではないのでしょうか。場所も酒田市の表玄関にあるので、観光に来た人にも、第一印象が大切かとも思います。

今の酒田駅前には魅力が全くない。駅前行けば楽しい時間が過ごせる、という期待を持てる施設にしてほしい。こういう過ごし方が出来る、という情報発信や提案を積極的にしてほしい。今のままだと電車を利用する以外に駅前にいる理由・目的がない。

駅に酒田市内の大きな見取り図（マップ）を設置して、誰でも分かりやすく酒田を観光できるようにしてほしい。

駅には酒田のことを知らない人が多くくるから酒田の良い所、行くと損しないスポットをわかりやすく地図にまとめ、配布する（地図はカラーで明るく、写真やシルエットを使い、そこに行ってみたいと思わせる工夫をする）。

駅はどのようなのでしょうか？先日桐生市（酒田と同規模）に行ったおり、せっかく良い素材があっても発進力の弱さを感じました。駅（駅前）は町の顔です。駅に来たら市民も観光客も魅力を感じるようなところにしてほしい。その為に考えて欲しいことがあります。①図書館も（酒田らしい）飲食店も8時まで開いて欲しい。（コンビニでは全国共通で魅力がない）②市としても酒田ラーメン（点在していてわかりにくい）をもっと売り出してはどうか？！（喜多方にも行った事があるが、酒田よりおいしいとは思わない）ラーメン横町のようなものがあると良いと思う。③駅に来たら、酒田の全てがわかる様な情報発信の場にしてほしい、（歴史、文化、自然、人物など楽しく分かり易いプレゼンの場に）駅前はダイジェスト版になると思うが、もっと詳しく知りたくするようなプレゼンを。*歴史なども酒田市民でも知らない人もいる。（EX 平泉と36人衆の関係など。）人物も吉野弘なども、もっと、クローズアップし、壁に吉野弘の詩を大きく書いたり、横断歩道に岸洋子の歌を流したり。。多分この案では、情報発信コーナーが貧弱の様に思う。（観光客も）駅前行けば、酒田市民も酒田を再認識できるような場所にしてほしい。図書館以外に、是非もっと酒田らしさを演出して欲しい。（食でいえば、岩がきコーナーを設置すれば必ず人が集まると思う）。

駅前開発無くしては、酒田市の発展は難しいと思います。山形新幹線延伸を含め、今後駅前は活気あふれる事を期待しています。

駅前という場所を考え、ここで、酒田市のお土産品を全て買える他には無いショッピングセンターの充実を希望します。

駅前の充実と関連して、今ある中町通りも一緒に賑わって欲しい。うまく中町まで客を誘導できる仕組み。個人的に、モアレやベリーベリースープのお店が好きなので、子連れ可のカフェなど増えてくると、車の便利が良ければ集まりそう。

駅前を整備しても、駅が良くなければ、集客が見込めない。早期に新幹線を呼ぶことも同時に行わなければ、駅前の発展は薄い。

空港を見ても東京等に旅行に行っても鶴岡のポスターや”庄内”という宣伝は見かけても酒田をアピールするものは見たことがありません。酒田市内においてはイベント等寄りやすい施設、観光においても酒田らしい魅力（”食”が豊かとか）をより発信していくことを考える事も必要ではないでしょうか？（変に開けすぎていないのも魅力かもしれませんが）

観光で来酒した方々に、名所間の交通手段別、要所時間を分かり易く案内できていれば近くの名所を、より多く楽しんでもらえるのでは？

掲示板を作って、自由にメッセージを記入できるようにする。酒田の特産品や伝統工芸品を提示する。（他県からの観光客に酒田市の魅力をPRする。）

県外からも来てみたいと思われるような駅と直結した複合施設を望む。酒田のどこに何があるかわからないような施設をこまごまつくるな。

県外の友人から酒田駅前で食事をしようとしても店もない所と言われる。酒田の美味しい店を何店か揃えられないか。

酒田市の歴史や郷土芸能（獅子舞等）の展示。

酒田人は熱しやすく、覚めるのも早いので利用や立ち寄りも一過性ではないか。観光客をどれだけ集客出来る魅力を持続。市民に対しても同様と思われる。

酒田の「食」は全国的に見ても、優良な場所です。「食」を発信する様な場所にしてもらいたい。（酒田ラーメンや、タケノコ、カキ、山菜、・・・イベント等）

酒田の顔である、駅前の整備は賛成です。ただし、人口が減少し、観光客を見込んでの内容では、お荷物になるのではないか。

酒田の玄関口として、鉄道よりも庄内空港の方が利便性が高いと感じます。空港とも連携できる方策が必要と考えます。

酒田の玄関口に都会的な建物が出来ることは、若者にとっても魅力ある街になると思います。建物に対するソフト面の運用は時代背景と共に変わっていくと思います。他県の観光施設でも祭りの山車がありVTRが流れているのが一般的ですが4Kや3D、プロジェクションマッピングやバーチャル映像等を取り入れなどどうでしょうか。

酒田の個性、情報発信を十分にやってほしい！

酒田の名産物を使ったカフェを作ってほしいです。そうすれば、酒田の食（お土産屋さんなど）の魅力が伝わると思います。また、酒田駅の周りにはレストランとか、県外から来た観光客が気軽に入れるようなお店があった方が良くと思います。酒田は食が充実していて美味しいので、その魅力を沢山伝えて下さい。

酒田へ引っ越ししてきて1年。とっても好きになりましたが、どこへ行くにもどこから来るにも交通の便が良くない。だから一生は住めないと、会社の人とも話すことがあります。駅前にいかにリピートして来てもらうか、お金を落としてもらえるか。「子供<老人」なのと、40代50代の生活習慣が増えてるので、ウォーキングしたり犬の散歩したり、血管年齢チェックができたりするといいかも。あと、自分もですが観光するにあたり、酒田駅で効率よく調べて動けると、また来たいって思います。いずれ、酒田を去ると思うので、是非新幹線を通して下さい。遊びに来ます。図書館・・・夜遅くまであけてても、酒田は夜引くのが早いので、やめた方が良くかも。頑張ってください。私も酒田の良さはこれからも地元友人へ伝えていきます。

酒田舞娘さんがそこで歓迎してくれると嬉しいと思うのですが、「ようこそ」等の一言でも会話出来たら、印象に残る酒田になると思います。箱物に頼り過ぎずに、（酒田）地元の人と触れ合える場所）になれたらいいなと思います。<静かに勉強したり、じっくり読書する場所もこの機能も入っている訳ですね>

酒田メイン（どこにもないと言う場所、食物、風習）*酒田に住んで30年以上になるけど、パットしない町。やる意欲に欠けていると思う。これからは一人ひとりじゃなく、酒田の町の事を考えて言いたいと思う。

酒田ラーメンとめん業界では、イベント等で頑張っていますが、駅前に酒田ラーメンの店が無いのが淋しいですね。有名なお店は土日、いつも混雑しています。駅前にも酒田ラーメンのお店があれば、いろいろな人の目に触れるのではと思いますが。

酒田を活性化させるためには、酒田市民が集まりやすい場所が必要であり、それが現段階でメインが図書館だけとは。人は集まらないと思います。観光客に向けては、ライブラリーセンターの中に、観光情報センターがあるのは入りづらいと思う。

仕事や観光で駅を利用する人から、駅周辺で時間をつぶせる場所が少ないと聞いた事がある。気軽に利用できて比較的、長時間利用できる空間があると良いと思う。カフェや酒田を紹介するような展示などもあるフリースペースなど。

自動販売機を各所に設置すれば、より便利になると思う。また、他県からの観光を目的としたイベントを定期的開催するのも良いと思う（酒田のラーメンを集結させるなど）。自分が旅先で思うことは、「もっと、それ早く聞いてたら行ったのに」とか、お土産、重かったのに、ここでも売ってるのか、とか、少し教えてくれる人がいたら、もっと充実した旅ができたなあ、と思います。常に人を集めたいのなら、地元向けに地元民を巻き込んだイベントをする事。常にふらっと学生達が寄れるような軽食のお店を入れる事。併せて、旅行の人にはきちんと簡潔に案内ができる人が適所を旅人に紹介

できる事。それが一番大切だと思います。ライブラリーはまず、静かに読めれば良いと思います。物で人は呼ばませんよ！！

新複合施設内に必要な物は、酒田を代表する、ラーメン博物館の設置。

他市町村、他県からも来たくくなるような目玉があるとよいですね。最新トレンドを取り入れたショップなど。「ここにしかない」もの。A案、素敵な案だと思いました。

夏休みや正月休当イベントとして一泊出来る図書館というのがあったら利用したい。酒田の歴史や文化の事を色々な媒体で（アニメやドラマ等）で紹介し、観光につなげられると良い。

入りやすい観光案内所に寛げる居場所がある。

パネルや配布されている案内の紙は小さく、駅前広場と書かれているので、具体的にどのあたりかが分かりにくい。駅周辺の地図も載せて、駅前であることがひと目で分かるようにしてはどうでしょうか？このような立派なものが出来たら帰省が毎回楽しみになります。期待しています。

他の地域から来た方は、どこで食事をしたら良いのか迷います。大きな店だけでなく、地元の方がお進めできるお店等、紹介できる所があると便利です。その場所が、駅前や空港、市役所だといいかと思います。

他の町の人や県外の人に来て下さったとして、「酒田ってこんなところなんだ！！」とより考えを深めてほしいです！！よりたくさんの方がリピーターとして酒田に足を運んでくれるといいと思います。小さな力ではあるかもしれませんが、一人の市民として、参加できる場所は、活発に参加したいです。今回、このような機会を頂きありがとうございました。

村山などでは、駅に観光カウンターがあり、観光地を載せたマップと案内（説明）をしてくれるスタッフがいました。急に時間が空いて、よく知らない土地でご飯を食べることになった時、ジャンルと名物からいくつかすすめて頂き、とても助かったので、酒田でも導入できればいいかと思います。

もう少し、観光スポットとしても、活用できるようにお店など入れた方が良くと思います。（外人さん向けとかも）和テイストのものも。

レンタカー貸出業務をしていた頃、駅前で時間を潰せる所は、と、お客様より聞かれると24時間空いているところがないので答えに困りました。観光客に安心してお勧めできる施設にしてほしい。

にぎわいを創るため、魅力的な施設とするための提案に関する意見

駅前周辺は、シャッターが閉じられているところが多く、ライブラリーセンターだけに集中させるのではなく、全体が活気ある街となる事を願います。

シアターも併設されると良いですね。駐車場も高齢者や障がい者に優しい物であって欲しいですね。

構造内部は吹き抜けがよい。全体的に明るいイメージとなるよう壁はガラス張りがよい。色は白を基調とするか木目（明るめのナチュラル）がよい。

ライブラリーばかり充実しても関心のない人は止まらない。市役所の派出所なども併設されていると人が集まる？一部の壁でロックライミングができるとか。土産品や物産品のショップも必要では？（「夢の蔵」的な物）。

今まで幾度となく駅前ジャスコ跡地の開発計画は出てきたようだが実現してこなかった。なぜか？金銭的な問題だけではないと考える。市民が必要を感じていないからか？「あれば使用するが・・・」程度ではいずれ集客数は減る。「なければ困る」建物が出来てほしい。現在、駅前ジャスコ跡地は、駐車場として活用されているが、あれは大変便利。無料である事も良い。おかげで、駅前飲食店界隈が活気あるという話も聞く。駅前飲食店周辺に飲みに行きやすくなった事も事実だ。どうか今回の計画も計画で終わってしまう事のないよう祈るばかり。酒田の「よさ」をもっと多くの外部の人々へ知ってもらえるよう、そして何度も来酒したくなるような街になりますように。I love Sakata & Ineed Sakata・・・

図書館施設では駅前の活性化は望めないと考えます。もっと人が集まる様な施設へ変更するべきではないでしょうか。アンケートは図書館施設ありきの内容ですが、用語の説明等なく、調べないとわからない単語があり、不親切と思います。アンケートを書いてもらう気持ちが無いとしか思えない。誰の為の仕事をしているのか再考してください。

流行りもの、一過性のもの、市民全員に利用してもらおう施設、などとは考えないでほしい。

27億円もかかる理由は？連絡先も URL も無いのでは情報不足です。駅前から広がる酒田市を造って下さいね！！

A案のような施設が出来ると大変便利で嬉しいです。実現に向けてよろしくお願いします。

I T から I C T へと移行した今日の情報化社会の中での SNS への情報の発信と共にセンターをインターナショナルなコミュニティーへと発展させてゆくことが重要だと思います。

新しく生まれ変わる酒田駅前に期待します。緑の多い場所になれば嬉しいです。

アンケートありがとうございました。発展する酒田市を楽しみにしています。

イベント等の無駄な出費よりも、永続的な環境整備の費用投下をしてほしい。

飲食ができ、わいわいと話してもいいところや食べ物が買えるところなど、沢山作ってほしい。充実して欲しい。

駅と一体した開発の方がさらに良いものになると思う。

駅前、周辺の道路拡充、環境美化、明るい雰囲気づくりが大切と思われまます。

駅前開発の大きな柱として「にぎわいの創出」かと思います。施設の使いやすさとともに人々の集いやすいイベントや若者の集まる為に東北公益文科大学との連携も考えて欲しい。大学のサテライト的な利用もあっていいのではないかと。よろしく。

駅前がどうなるのか不安と期待がありますが、楽しみにしています。

駅前に新しい建物が出来る事を嬉しく思います。私は図書館は静かな雰囲気であるべきだと思うので、同じ建物の中でも図書館らしさを失なわないで欲しいです。自宅が駅に近いし、駅を利用して、通学している友達がいるので、完成したら沢山行きたいです。

駅前に図書館ができると聞き、とても嬉しく思っています。平田タウンセンターの様な、明るくて利用しやすい、地域の拠点となる施設であってほしいです。

企画のパンフレットを見てもものすごく楽しみです。

駅前を全体的に整備する必要がある。人の流れを作る。店（カフェ等）。人が集まらなければ活気も生まれぬ活気ある所人も集まる！！

おしゃれなテラスや新たなスポットとなり、老若男女が楽しめる施設にしてほしい。時間帯によって使用用途が変わるような施設があったりするとより幅広い来客者で賑わうと思う。（昼が料理教室など貸出させ、夜は飲食店が出せる様な）。配置図を見せて頂いたのですが、駐車場とけやき並の間にショップ類が独立してあるよりは、ブック&カフェやレストランの近くにあった方が良く思う。もっと若くていきいきした若年層の意見を聞いてほしい。

家族でA案のちらしのイメージ図を見ましたが、建物がなんとなく酒田の周囲の風景になじまない感じがしました。近代的すぎる？もう少し優しい、ゆったりとした自然な外観が望ましいのではないかと。雑草の駆除など維持にどのくらい手をかけられるのか疑問。今の図書館あとがどう使われるのか知りたい。図書館だけでどれだけ駅前に人が集まるかと疑問。三川イオンのように買い物したり映画をみたり色々な目的が集中していないと、なかなか人が来ないのではないかと。駅前から中町までの集客の流れが何かほかにはないか（点在している感じ）

官・学・民が連携し、酒田地域の良さをアピールできるもの。また、それに向け地域全体が努力し、地域活性につながる様な施設を望みたい。

<p>既存の駅前商店街が新施設と共にコラボレーションし、活気ある駅前になってほしいと思います。</p>
<p>計画されている一角だけ整備し、新しくなっても、周辺も一緒に変わらなければ、違和感は拭えない。酒田駅、旧ジャスコ跡地、旧ジャスコ跡地の向側の通り、この3つをブリッジで繋げた整備が望ましい。周辺にホテルはあるのに、わざわざ作る必要はない。集合住宅も必要ない。その人達だけのスペースになってしまう。車で移動する事が多いのが現状なので、駐車場が広いことが、人が集まる絶対条件！！</p>
<p>この度、駅前開発の建設が少しずつ確実に動き出し、とても嬉しく思います。酒田駅前活性化に向けて、他県から来ても恥ずかしくないおもてなし、見どころ等、ホテルの飲食店、土産店の充実と共に、酒田市民、庄内地方の人が気軽に出かけられ憩う場として、活用できるようになる事を願っています。事業プランの様な構想が実現するといいですね。</p>
<p>酒田市の強みを生かした施設にしたら良いと思います。</p>
<p>酒田の街に賑わいを取り戻したい。しかし、図書館をそのために利用するのは邪道です。TSUTAYA図書館。CCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブーツタヤ書店）（本社東京）を指定管理者とする公立図書館です。詳しくは書けませんが、酒田の駅前計画はそれと同じ道を歩もうとしています。私は一市民として、納得できません。我慢できません。</p>
<p>施設建設のみならず、以後の維持管理、メンテナンスまでのスタンスで整備計画をして頂きたいと思います。今まで酒田市は、箱モノを建てるだけ建てて、修繕、管理の面がおろそかになっていると思いますので、利用者、観光客の方々がいつも新鮮な気持ちで利用できる施設にして下さい。</p>
<p>施設そのものだけでなく、周辺地域や道路も訪れやすい様に整備していくことが望まれるのではないかと考える。</p>
<p>少し上品すぎないか？整然も過ぎれば人が集まらないのは、幾多の箱物が示しています。酒田の玄関として人の賑わいは重要です。昼の集客と夜のそれとは多少目的が違いますが、昼夜のバランスは大事です。留意すべき点です。</p>
<p>先日、八戸駅に行ったのですが、駅そばに図書室がありました。学生も駅には沢山いましたが、図書室には殆ど人がないようでした。ライブラリーを作るのはかなりの目玉がないと長く続かないようにも思います。</p>
<p>他県の成功例や失敗例を、ネットや、直に出向いて情報を収集して欲しい。</p>
<p>他県の例をもっと広く紹介してもらいたい。</p>
<p>電車で秋田から通っている友達と一緒に帰りを待っていることが多いが居場所が少ない。パチンコ屋など環境が悪い何もない。みんなが気持ちよく立ち寄れる場所が欲しい。勉強できる空間を増やしてほしい。駅前が淋しすぎてがっかりする。酒田からは出たい。</p>
<p>特にありませんが、生涯学習の場として活用できないでしょうか。松山まで行くのが不便です。</p>
<p>特には見つからなかったです。ぜひこの企画の実現を目指し、頑張ってください。酒田の良さを、多くの人に知ってほしいです。</p>
<p>とにかく人を集める事が一番必要であると考えます。</p>
<p>長く持続していくための計画。新聞を見ても酒田市がイベントや話題が一番少ないと感じる。丸山市長、もっと市の為に動いて下さい！</p>
<p>中町庁舎に雇用創造協議会が入って、中町での買い物客の増大に繋がる事を期待していました。実際は、お昼を中町で取ったり、買い物をしたりする姿は、あまり見かけません。コミュニケーションポイントの中核に図書館を据えろとお見受けします。現在の図書館の利用者はたくさんいますが、購買意欲のある方は少ないように思えます。駅前の賑わいになるのか不安です。</p>

山形駅のようなショッピングセンターと一緒に楽しめていければ、今後も活気ある酒田になると思う。
ライブラリーセンターの学習できるスペースを、広く、静かに集中できるような空間にしてほしい。また、この公共施設で、酒田市がより活性化されれば嬉しいと思う。
レストラン、ショップなどが充実していると、遠くても足を運ぶと思う。今までは、数年に一度しか図書館へ行っていなかったが、新しくなったらぜひ通って本を読みたいと思う。イベントや、催しにも参加していきたい。
自分は学生時代新潟駅をよく利用していました。あちらから酒田駅に帰省してくる度なんというか、小さなことでは「酒田駅（周辺も含む）をよくしよう！」という情熱は伝わってくるものの、根本的に変わらないあきらめムードにどこかがっかりしてしまっていました。まずトイレ！！トイレを綺麗なものにして下さい。何十年も駅のトイレがあのような状態では来訪者が増えないのもむべなるかなと思います。そして今度こそ市民を含めて「光の湊」を作り上げていきましょう。
若者が集まる工夫を考えてもらいたい。カフェ、レストラン（庄内のものをふんだんに使った手軽なレストラン）おしゃれなショップ（雑貨、衣服）などの整備。来客者向けのお土産売り場の充実、農産物、お菓子、伝統工芸、酒、発酵製品、自然を紹介、販売するショップの充実を図ってもらいたい。また合わせて、酒田駅の建て替えを含めて、酒田の玄関となる駅前を、明るく賑わいのある場所にして下さい。
具体的な施設や設備・機能への要望・提案
英会話ワークショップ（英会話を通して、様々な世代が関わり合う） 食べ歩き出来るスイーツが欲しい。（ジェラート、おまんじゅう、など）
映画上映も出来る小劇場が欲しい。（100人～150人程度） コインロッカー 酒田市だけの人口では無理がある。県内外から集客しても2～3年で閑散となりそう。中町との連携がどうなるのか心配。つたや図書館ではダメ。あくまでも酒田市運営を望む。
男だけのフィットネスルーム。 ヨガ教室等の施設が欲しい。 いつでも、誰でも気軽に休息に寄ろう！と思える様な空間を楽しみにしています。
貸ロッカーを沢山作ってもらいたい。料金が発生すれば、市にお金が入るから。 ドラッグストアも近くにあると便利。酒田市の景観に合った建物にってもらいたい。
気軽にお風呂に入れる施設が駅にあるといい。 スポーツジムがあるといい（スタジオや器具を使ったりの施設） 海のレジャー（海水浴や釣り）の人に便利な施設（レンタルや、釣り餌、交通手段の利便性など）はあるといいです。
きれいで機能的なトイレ（含むオムツ交換台） 利用しやすい駐車場・授乳スペース・ベビーカー お土産はもちろんその他服や雑貨のショップなどもあるといいと思います。
コンビニとは別にちょっとしたスーパーマーケットがあれば便利。（生鮮食品、野菜、果物等）・携帯電話の充電できるコーナー（現在、公共施設には全然ないので）
スポーツ観戦しながら（大きなTVなどで）飲み食いが出来る（バーというか）飲食店。 映画館もあつたら良いとおもう。ショッピングモールが出来たら嬉しい。
多目的体育館。塾、習い事。
トイレの充実と安全。 冬（積雪時等のフローア。滑り止め。1階入り口付近、熱で凍結防止等。

<p>バスターミナルや飛行機のチケット売り場を設けて、そこから出かけられるようにはならないものでしょうか？銀行、リラクゼーションルームもあつたらいいなあと思います。</p>
<p>パソコン（ワード、エクセル）を使用できると嬉しいです。</p>
<p>wi-fi 環境が充実していると助かる人が沢山いると思います。また、作家さんのサイン会やライブ（バンド、アイドル、問わず）が出来るような施設が出来ると嬉しいです。</p>
<p>wi-fi コーナー、特産品コーナー、フリースペースを設けた方が良いと思います。</p>
<p>遊び所とショッピングセンターを増やしてほしい。（ラウンド1とか）（フォーラスとか）</p>
<p>アニメイトが欲しい。</p>
<p>案内で運動（ヨガ等）出来るスペースがあれば良いと思う。</p>
<p>居酒屋など、少し気軽にお酒が飲めるところも欲しいかなと思います。</p>
<p>一時保育施設。</p>
<p>一般企業に貸出出来る会議室を完備して欲しい。</p>
<p>イベントスペースが欲しいです。即売会や領布会などの催しが開催できるくらいのスペースがあれば良いです。</p>
<p>イベントをしやすい様に、レンタルスタジオの様な空部屋があるといいかも。</p>
<p>今の市立図書館より本の量を増やしてもらいたい。</p>
<p>衣類等売り場少し欲しい。</p>
<p>インターネットやWi-Fi 環境。</p>
<p>インターネットやWi-Fi はこれからの街にとって、充実していかなければいけない。東京など駅はwi-fi でほとんどつながる。</p>
<p>インディーズで音楽活動をしていらっしゃる皆さんに、ミニライブなどのフリーイベントが出来る機会を（設備）ぜひお願いします。</p>
<p>運動場（様々な運動種目が出来る）が欲しい。カフェの充実（スターバックスとの連携）。</p>
<p>運動の出来る場所等があればいい。（フットサルや3ON3 バasketコート等）又は、体幹トレーニング場やマッサージ室。</p>
<p>映画館、気軽なカフェ、ランチを食べるところなど。</p>
<p>映画館がほしい。</p>
<p>映画館の設置。</p>
<p>駅周辺にカフェや時間待ちをする場所がないので、テーブル付きでそのような場所があれば、利用する方がとても多いと思います。</p>
<p>駅前にはショッピングする所が少ないので（洋服や靴、鞆）などの場所もあるといいと思う。</p>
<p>大きめのライブ会場が欲しい。</p>
<p>温泉、足湯、映画館。</p>
<p>学習室は必ず設置して欲しい。</p>
<p>学習スペースは窓側に置くべき。</p>
<p>学生にとって、学習ルームは非常に使用しやすいので、今後も充実させてほしい。</p>
<p>カフェなどの、ちょっと立ち寄れて、待ち合わせができたり、時間を潰せたり出来る場所がもっとあつたら良いなあと思います。</p>
<p>カフェやフィットネスがあれば良いと思います。</p>
<p>観光客だけでなく、地元民を対象にしたショップが欲しい。全国でもこのような再開発が多いのでもう少し酒田らしさがほしい。</p>

献血ルーム。

現在の図書館でも雑誌やTVで紹介され、読みたいと思った本を購入する前に、一度図書館のホームページで検索するとかなりの確率で、その本が置いてあります。ネットで予約して連絡が来たら取りに行くというのが効率的でよく利用していますが、その機能を突き詰めて、読みたい本が簡単に借りられる方法を考えて頂ければ良いと思います。夜間でも受け取れる暗証番号で開くロッカー等。

公共の運動施設＝トレーニングルームがありません。合併によるひらたタウンセンターは、市の施設ですが、利用客はあそこまで行くことが遠いと感じています。これからは年配者が、気楽に体を動かす場も必要性が増してきます。ひらたタウンセンターのあの狭い空間で、利用者登録者数は異常です。民間＝高い使用料を払う施設がありますが、役場の施設として、トレーニングルームを設置していないのは、酒田市だけではないでしょうか？元気がない人も元気になって欲しい人（お年寄り、リハビリ、高い使用料を払えない人）も利用できるトレーニングルームを今後市の施設として早速に作って頂きたい。

交流広場の様な場所が欲しい。新庄にある場所は100円で遊べる場所があるのですが、飲食スペースなどもありとても気に入っています。酒田にも必要です。

ゴミ捨て場がすぐわかるのであれば、利用者もポイ捨てなどが少しでも減るのではないのでしょうか。

コミュニケーションポートには是非、スポーツジム、カルチャーセンターなどの公共施設を設立して欲しい。

コンビニが入っていたり、カフェがあったり、若者が集まるような場所であって欲しい。大画面でスポーツ観戦出来たりしたらイベントなどでも使えて良いのではないかと思います。

酒田市内、及び周辺地域の小動物、水生生物などの展示など。

酒田市には温泉施設はないので作ってほしい。

市外の方々からも、注目されるスペースであって欲しい。特に子供の大きな遊び場や、ドッグランやねこカフェなども良い。

仕事等で、夕方からフィットネスジムに行けない人の為の、フィットネスジムがあれば良いと思う。

自習のスペースがもう少しあるといいなと思います。

質問15でも回答したが、最近開館した都市の施設にはCD、DVD貸出し、上映会、小ホールなどが併設されており、この施設には本オンリーでこのような発想がない。

自転車置き場。映画館を作ってほしい。

児童図書室は完全移転でしょうか？文化センターには遊具のある公園＋図書室があるのでとても良いと思っていました。児童図書室だけでも（縮小でもいいので）残して欲しいと思います。

自分が必要とする本が、すぐにどこにあるかを検索でき、年齢を重ねた人でも分かり易く、使用しやすい場所にしてほしい。

ジムやカフェなどの広場を設けてほしい。

ジャバみたいなプール。とにかく観光客、若い人を増やせ！！世界一のものを作って売りにする。温泉欲しい！！ゲームセンター、プール。駅の周りもうちょっと発展させないと外観から浮くからそこから始めようとしなくてもっと少しずつ頑張ってください。さいたまアリーナみたいなのが欲しい。観覧車。

正直図書館を利用する人は限られてくると思う。今時インターネットで調べる人が殆ど。お金をかけてつくるなら若者が集まるようにカフェや雑貨店、安くておしゃれなブティック、おいしいスイーツのお店など若者からファミリー向けのショップを沢山入れてほしい。図書館と聞いてガッカリしている！

ショッピングモールが必要。若者向けのショップがないと人が集まらないと思う。娯楽や飲食、温泉、宿泊等できる 24 時間営業の施設。

鍼灸整骨院関係の店舗が入ってほしい。酒 bar も良いと思うが飲食店（地元産、地酒などを紹介しながら）品のある店舗の導入はどうか。

スーパーマーケットもあれば良いと思います。

スポーツジム。

せっかく、人が集まるのだから、健康管理に、健康センターを設置し、老若男女利用できたら良いですね。

多数の人が集まれる所ですので、安全安心の為に防犯カメラ、ブザー等を各所に設置して頂きたい。

建物付近に手軽に食べられるファーストフード店の様な飲食店が欲しい。

タブレット端末などを設置すれば、便利だと思う。

小さな公園があっても良いと思う。イベントやワークショップ。

デパート、服屋の充実を考えて欲しい。若者が集まれる場、楽しめる場作り。

トイレ空間の充実。少し広めで、綺麗なトイレは、とても気持ちの良いものです。トイレも「居心地の良い場所」になります様に希望します。

トイレを綺麗にしてください。バスを充実させてください。電車の本数も増やした方がいいと思う。

東京ドームや幕張メッセみたいな大っきい大っきいステージ会場がほしい！！→X JAPAN、筋肉少女帯、LUNASEA、GLAY のライブしてほしい。

図書館にアニメの本を増やしてほしい。酒田を PR するためのアニメ、漫画を作って「光の湊」にでも置いたりしたらいいと思う。清水屋のアニメイト（？）グッズの充実。・・・なんか意見がこんなのでいいのでしょうか？（アニメとかばかりで）

図書館には、仕切りのある椅子を設置して頂きたい。

図書館の 2 階に学習室を設けてほしい。カフェがあれば観光客も入って来ると思うからいいと思う。行きやすい、使いやすい施設を期待しています。

図書館は必要なアイテムですね。それと健康維持の為に入浴と、シャワー室等が必要だと思います。それと映画館が有ると便利ですね。商業施設も必要だと思います。当然コンビニも必要でしょうね。

図書館もいいのですが、やはり駅前にはショッピングセンターを作って頂きたいです。住民もそうですが、旅行者の方はまず、駅前にはショッピングセンターがあるものと思って、立ち寄る人がいると思います。駅前というのは、その町の顔だと思うので、賑わいのあるものになると良いと思います。

図書の予約が今 5 件までなので、増やしてもらえると良いです。新聞のコピーが当日分出来ないのが困ります。小学校の宿題で必要になるので。駅はそのままシャトルバスを多く出してほしい。

とにかく酒田にも映画館が欲しいです。いくら車があるからといっても三川までいくのはちょっと遠い気がします。鶴岡にあって酒田にないのはおかしいのでは？三川でやらないヤツを酒田で上映してはどうでしょうか。

中町の交流広場の様な施設があると良い。（酒田は鶴岡や他の自治体に比べて児童向けの遊ぶ所が少ない）

新潟駅のように駅構内にいろんな店を入れて欲しい。

ネコカフェを作ってほしい。理由は酒田市にはないので、ネコカフェを作ったたくさんの人がネコと触れ合ってほしいから。

場所を示す表示は横文字、英語等の外国語だけではなく日本語表示もお願いします。年配者は外国語だけでは意味が分かりません。

広い駐車場があるので、レストランも充実させて欲しい。仕事帰りに寄れるスポーツクラブもあってから利用したい。

広場も整備するとするなら夏季等を考え木陰になる様なものが欲しい。

ファーストフード店やコーヒーショップ等あればより気軽に立ち寄りそうですと思います。

本庁舎機能の一部の利用拡大。（住民票、パスポート等の発行）

本当の気持ちはアウトレットモールを作って欲しいです。

本の検索、コーナー開設依頼などが出来ると嬉しい。

本町にお風呂があったときはよく利用していました。市内に一か所はほしいです。駅前にも作る様な事を聞いた時はとても嬉しく思っていたのですが、なくなったみたいですね！！

湊の街。単純に足湯ならぬ足海。海水浴ではない、裸足で海水に触れあえる場！

昔の柳小路の様な安価でソールフードの提供。気軽にのぞける店舗形式。OPENしてもすぐがっかりの施設ばかり、簡単に集まるポイント発行とか長続きする施策を考えてほしい。

無料 wi-fi は絶対必要だと思います。

もっと若者が楽しめるモノを作って欲しい。ミニシアター、カフェ、モダンアートなど。

山形市の駅裏の様に、スポーツジム（仕事が終わってから行ける時間）を、大きく設けてはどうか。健康の為に生涯スポーツの重要性も言われているし、夜、通う仕事終わりの人で、賑わうと思います。酒田には、大掛かりなスポーツジムが無いので。（プラスワンや小規模なものは、行きにくいし、一部の人の物になっているので）

郵便局があると、年金の受け取り、貯金、郵便と必ず、行く用事があり、本局の駐車場はとても狭いので大変助かりますし、駅に行くことが身近になると思います。

余計なお金と手間などかけないで、駅前の市営キャンプ場にするのが一番良い。全国から JR 利用のお客様が沢山来ます。

他市の図書館に行ってきました。私的な感想ですが、2階が図書館で吹き抜けの為、開放感はあるのですが、足音や小さな話し声も結構反射して聞こえ・・・場の設定の難しさを感じました。また、わかりやすい表示は必須と思いました。（高齢者の方に優しく）耐震性を考えた配架も検討下さい。（上の階の蔵書大丈夫なのではないでしょうか。怖いと思いました。）

ラーメン屋。

レストランは入りやすいのでしょうか？ショップはその場で飲食可能でしょうか？酒田の食が味わえるフードコートのような所があればよかったです。ラーメン、しそまきなど安価で皆さんが利用でき PR にもなると思いますが…。知人はゴマ豆腐のあんかけことのほか気に入ってました。

レストランもいいと思いますが、スタバのような気軽に立ち寄れるカフェとかが良いと思います。若い人を集めるにはおしゃれな雑貨屋や、洋服屋もあるといいかもしれません。

若い子が好きなショップを多数取り入れて欲しい。今、服等を買う時は鶴岡の S モールや、秋田、天童、仙台に行きます。酒田ではしまむらやハニーズはあるけど、ユニクロも GU もないし、もっと充実したモールが欲しい。

若者の服屋（アウトレット！！）・ヨガ教室・ツタヤ書店（カフェ付き）・無印良品

温泉があるといいなー。と思います。

その他の意見

新しい施設を、多額の税金を使って、作る必要はないと思う。税金の無駄遣いはしないで欲しい。はっきり言って、利用者はあまりいないと思う。

貴方が他田舎の駅前に降り立った風景をイメージしてみてください。いびつな現代風建築物はあるが、地元民の活気はない。今でも明らかにわかっている現状を、施設一つで活気ある駅前に戻すことは不可能と考える。酒田は都会ではないので便利を求める必要はない。田舎は田舎らしくすれば観光客にも自然に伝わると思う。なので平建て青果直売所（駐車場多数）を希望する。いずれにせよ、建設業者の一部でも他市業者が入札した場合、市民として抗議します。

今まで通り駐車場が良いと思う。税金を無駄にしないで欲しい。

色々な方面からの意見を取り入れて顔である駅前活性を望みます。意見として70歳以上の方へのアンケートも必要としているのにインバウンドやらバーチャルやwifiやら横文字多すぎませんか？あなたたちの自己満足でのアンケート用紙と気が付きました。今から気配り、配慮がない感じですから、なんだかむりっぽいですね！

駅前に図書館という考え方は、駅前開発に税金を投入するためとしか理解できない。駅前には本格的な図書館ではなく、現在の図書館（光丘文庫、中央図書館）の充実をするべきである。もう一度申し上げます。税金投入の為に駅前への新設図書館の必要性は考えられません。

駅前に図書館を作る意図が分かりません。文化センターの図書館をどうするのか→駅前に移転すれば人がもっと集まる??という事なんですか？

駅前に図書館を作る必要はあるのか？図書館は、今のままでいいと思う。その分の経費を違う事に使って駅前を生き返らせてほしい。県外の知人から、酒田駅は死んでるね。とよく言われます。仕事で出張で来る方からも、どこに行けば賑やかな所がある？と聞かれる。動き出すのが遅い気がします。計画で終わらないように頑張ってください。

駅前には普段の買い物ができる場所が無く、腰や膝へ痛みのある方が買い物へ行くのが大変だ、という話を耳にします。地元住民の暮らしやすさも配慮して頂けたら・・・と思います。

駅前にライブラリーセンターを作ること自体は賛成だが、既存の文化センターに入っている中央図書館や中町庁舎に移転予定の光丘文庫についてどうするつもりなのか？また、集合住宅については騒音対策などが必要になってくると思う。

限りある税金。本当に必要なのか長い目で見て考えて進めて欲しいです。

業務委託はしない事。市の直営で運営の事。

現在のままで良いです。

高齢の為、子供のお世話になっています。（生きているのやっとなです。）

コミュニケーションポートを作って本当に人が集まるのか疑です。お金をかけてまで立派なものを使って人が集まらず、結局使わずに終わるという事にならないでしょうか。

市民としては、ここまでお金をかけて作る意味があるのかと思います。学生は電車を待つ時間等で、利用するのに便利だと思うが、車通勤の人にしたら、寄るのも面倒・・・観光で来た方を対象にと考えても、よほどの工夫がなければ難しいのでは？デザインにこだわりたいのも分かりますが、もっとシンプルでも良いと思います。

この施設は岩手県紫波町の図書館の真似ですか。それ自体は悪くありませんが、高齢者住宅って本当に必要でしょうか。中町のもとても埋まっていないではありませんか。それよりも地元の人が利用するのはスーパーマーケットでしょう。中町の交流広場、市役所庁舎内の交流広場、どのくらい使用されているのですか。HPだけではなく広報での定期報告をして下さい。地元にながら全く分かりません。何をしているのかも。それ以上交流しなければならないと？誰が？何のために？異常に「にぎわい」を求めているようですが、静かな環境も必要でしょう。全ての図書館機能を駅前に移設してしまう事には反対です。現在の場所にあるから利用している人も多いのです。このアンケートに答えない人の事も考えるべき。いい加減リトルトーキョーを目指すのはやめたらいかがですか。いったいどのくらいの人口の町を想定しているのでしょうか。大火後の中町の失敗に学んでいませんね。建物を造れば人が集まるという発想はもう古すぎます。もっと人を育てるべき。酒田でしか楽しめないソフト面を充実すべき。その借金は次世代への先送りとなるのでしょうか。もうやめませんか。誰も責任を取らないのだし。

市民の税金をとにかく無駄に使用している様に見えてなりません。市役所もそうですし、あんな贅沢な建物は酒田市には必要ありません。今回も”しゃーしゃー”と建物を建てる様ですが、必要ありません。このままだと、北海道の夕張のように破たんになります。早めに気づいて下さい！！公務員は市民の意見を聞く前に仕事しろ！！以上。

周辺は浜田小学校の通学路となっていますので、工事期間を含め交通安全対策等については、特段の配慮を願いたいと思います。

商業施設としての側面と、それ以外の部分をしっかり隔ててほしいと思います。”融合”というのは、制度の面でも難しいと思います・・・。

ショップに何が入るのかわからないが、見るからに観光客がこの施設を魅力的に感じるかと言ったら首をかしげるものがある。このプランだと、結局市内に住んでいるものの憩いの場とはなりうるが観光客は取り込めないと思う。

ショップのスペースをもっと広くと取らないと集客は望めないと思う。都会の中にあるような図書館があるから人が集まるのであり、酒田に作ってもあまり意味はないと思う。

静と動を分けてほしい。

誰のための図書館か。駅前・・・？余計に行かなくなるかも。

特にありません。頑張ってください。

図書館に賑わいはありません。

図書館は酒田市の文化の中心です。その自覚を明確にする為、指定管理などはせずに、社会教育全般を長、中期的展望を持って市独自に充実を目指すものにして下さい。

とりわけ図書館について。図書館の質は資料、施設、職員で決まるといわれ、特に職員は75%の重要性を持つと言われている。図書館は地域でおきた全ての事を責任もって、次世代に届ける役割を果たし、知の集積こそ民主主義の前提であり、その中心的役割を果たすとさえ言われている。ぜひ、専門家を招いての講演会を開いて、もっと市民が身近に考え、市民が参画できる図書館にしてほしい。指定管理業者ではその役割は果たせない。100年使える施設にするために、直営で市民参画の図書館づくりをしてほしい。

どんなものでもいいとは思いますが、車社会・子育てを考えると、とても住みづらい。パチンコしか娯楽がない。酒田のイベントは実行委員のみの内輪での盛り上がりしか見えない。酒田を出て、親の介護で戻ってきたものの、退屈で仕方ない。図書館より他にやることあるだろうと思う。

内容は違いますが、6月ごろに亀ヶ崎小学校の交差点の街路樹が信号に掛かっており、見えないので、切ってほしいと土木課へTELしましたが、未だになんの対応もしてくれていない状態です。標識も隠れて目視できません。TELをして以来、街路樹もさらに伸びており、市のそのままの対応にあきれております。市民の声が反映されていない。

働く人の専門性、適性を重視してください。

羽越、奥羽とも新幹線通過県になりそうなところにも手を加えてもどうなる。(群馬-高崎、栃木-宇都宮、福島-福島、静岡-静岡と浜松、山口は広島-小倉ノンストップ)酒田は実験用として陸羽東西線で酒田-古川フル規格単線ででも通したら。酒田-仙台40分で行ける。通過も怖くないし、ついでに知事の穴あきダムもできる。

不用な箱モノはいらない。早く高速バスターミナルを整備してほしい。箱もので交流・創出なんてできない。もっと頭使って!!

僕の中学校のサッカーグラウンドの草は、いつも生え放題です。水飲み場や、トイレ也没有。もっとそうゆうところにお金を使ってもらいたいです。

最も条件の悪い人に依頼がありましたね。一日一日の生活で辛いです。

ライブラリーセンターに102億円の価値が本当にあるのでしょうか?本当に必要ですか?

私も年ですので、このアンケートに対して対用ならないかも知れません。大変申し訳ありません。

(7) アンケート調査票

平成 28 年 8 月/酒田市都市デザイン課

酒田駅周辺整備事業
駅前公共施設に関する市民アンケート調査

ご協力をお願い

現在、本市では、酒田駅前の旧ジャスコ跡地を中心とした区域で、交流・にぎわいの創出を図るため、官民連携での複合施設の整備を計画しています。

この複合施設の中心としてライブラリーセンター（現文化センター内の中央図書館・児童図書室の機能は当該施設に移転）のほか、カフェ、観光情報センター、広場、駐車場、バスベ이의公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称））を計画しています。

このたび、市民の皆様からのご意見を伺い、多くの市民から利用していただける魅力ある施設整備を図るための基礎資料として「駅前公共施設に関する市民アンケート調査」を実施します。

無記名でのご回答をお願いします。

お忙しい中、恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 8 月

酒 田 市

＜回答にあたってのお願い＞

- (1) ご本人による記入が難しい場合は、身近な方が代理で記入していただいても構いません。
- (2) ご回答は、該当する番号を○印で囲んでください。

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

酒田市企画振興部都市デザイン課 TEL 0234-26-6274 FAX 0234-26-6482
e-mail toshi-design@city.sakata.lg.jp

※特に断りがない場合は、設問への回答は 1 つを選択してください。

I あなたご自身について（平成 28 年 8 月 1 日現在）

質問 1 あなたの性別を教えてください。

- a 男性
- b 女性

質問 2 あなたの年齢を教えてください。

- a 10 歳代
- b 20 歳代
- c 30 歳代
- d 40 歳代
- e 50 歳代
- f 60 歳代
- g 70 歳以上

質問3 あなたの職業などを教えてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| a 自営業（農林漁業、商工業など） | b 会社員（派遣・契約社員含む） |
| c 公務員・教員 | d アルバイト・パート |
| e 専業主婦 | f 専門学校生・大学生 |
| g 高校生 | h 中学生 |
| i 無職 | j その他（ ） |

質問4 あなたの勤務地（就学地）を教えてください。

- | | |
|--------------|----------|
| a 酒田市内 | b 鶴岡市 |
| c 遊佐町 | d 庄内町 |
| e 三川町 | f その他（ ） |
| g 通勤、通学していない | |

質問5 あなたは通勤、通学のために、酒田駅（鉄道）を利用していますか。

- | | |
|--------------|-----------|
| a 利用している | b 利用していない |
| c 通勤、通学していない | |

質問6 あなたの家族構成を教えてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| a 夫婦のみの世帯 | b 親と子の世帯（2世代世帯） |
| c 親と子と孫の世帯（3世代世帯） | d 単身世帯 |
| e その他（ ） | |

質問7 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。

（ ）小学校区

質問8 読書は、あなたのライフスタイルの中でどの程度の位置づけですか。

- | | |
|------------|---------|
| a とても重要 | b 重要 |
| c あまり重要でない | d 重要でない |

質問9 日頃、本をどのくらい読みますか。

- | | |
|----------|------------|
| a 月に5冊以上 | b 月に2～4冊 |
| c 月に1冊 | d 2～3カ月に1冊 |
| e 半年に1冊 | f ほとんど読まない |

質問10 本は主にどこで読んでいますか。または、どこで読みたいですか。

- | | |
|----------|----------|
| a 自宅 | b 学校・職場 |
| c 図書館 | d 書店 |
| e 飲食店 | f 公園など屋外 |
| g 公共交通機関 | h その他（ ） |

質問 11 主にどんな環境で本を読んでいますか。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| a 静かで集中できる環境 | b 音楽を聴いたり、BGM 等が流れている環境 |
| c 飲食をしながら | d 移動中（電車、バス等） |
| e 待ち時間や休憩中 | f その他（ ） |

II 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

質問 12 過去 1 年間、中央図書館（児童図書室を含む。以下同じ）をどの程度利用していますか。

- | | |
|-----------------------|------------|
| a ほとんど毎日 | b 週に 2～3 回 |
| c 週に 1 回 | d 月に 2～3 回 |
| e 月に 1 回 | f 年に数回 |
| g 利用したことが無い ⇒ 質問 14 へ | |

質問 13 中央図書館を利用する際の目的は何ですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| a 図書を借りるため | b 館内での図書、新聞等を閲覧するため |
| c DVD・CD の視聴のため | d インターネットを利用するため |
| e 資料を利用して調査研究するため | f 宿題、勉強をするため |
| g 仕事をするため | h 調べ物の相談のため |
| i 講座や行事（読み聞かせ等）に参加するため | j 子ども等の付添いのため |
| k 気分転換、リフレッシュするため | l その他（ ） |

質問 14 質問 12 で「利用したことが無い」と回答した方のみお尋ねします。

その主な理由は、何ですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| a 場所や利用の仕組みが分からない | b 自宅や学校、勤務先から遠い |
| c 別の図書館（学校図書室含む）で満足である | d 行くための交通手段がない |
| e 開館日や開館時間に都合がつかない | f 本は購入して読んでいる |
| g 貸出や返却の手続きが面倒である | h 本をあまり読まない |
| i インターネット、電子書籍で十分である | j 雰囲気や苦手である |
| k 利用したい図書・サービスが無い | l 忙しくて行く暇がない |
| m その他（ ） | |

質問 15 中央図書館で充実してほしいものはなんですか。（3 つまで選択してください。）

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| a 書籍、雑誌等の充実 | b 居心地の良い空間 |
| c 図書貸出等の手続きの利便性 | d 書籍、雑誌、資料等の探しやすさ |
| e インターネットや Wi-Fi 環境の充実 | f ビジネス支援の充実 |
| g 子ども・ティーンエイジャー向けの書籍やサービスの充実 | |
| h 読み聞かせコーナーの充実 | i 地元産業・郷土資料展示コーナー |
| j 高齢者や障がい者の利用のしやすさ | k 利用しやすい開館日・開館時間 |
| l 交通の利便性・駐車場の充実 | m 専門的な職員による対応 |
| n その他（ ） | |

Ⅲ 酒田コミュニケーションポート（仮称）について

<ライブラリーセンター>

質問 16 近年、滞在型の図書館として、居心地の良い図書館、交流できる図書館、飲食が可能な図書館、夜間も開館している図書館など新たな魅力を持った図書館が注目されています。駅前のライブラリーセンターでは、どのようなことができれば良いと思いますか。（3つまで選択してください。）

- a 電子書籍等の電子情報に気軽に触れられる
- b 仕事、学校帰りに気軽に寄れる
- c 静かな部屋で調査や自習ができる
- d イベントや催し物ができる
- e 趣味・仲間が見つげられる
- f 友人や仲間と集い、交流ができる
- g 子ども連れで気軽に利用できる
- h 目的がなくても気軽に立ち寄れる
- i くつろぎながら読書ができる
- j 長い時間、滞在できる
- k 飲食ができる
- l 託児ができる
- m その他（ ）

質問 17 現在の中央図書館の開館時間は、平日が午前9時から午後7時まで、日・祝日が午前9時から午後5時までです。駅前に整備するライブラリーセンターとしてのふさわしい開館時間を何時から何時までと考えますか。

<開 館>		<閉 館>	
a 午前7時頃 b 午前8時頃 c 午前9時頃 d 午前10時以降 e その他（ ）	）から	a 午後5時頃 b 午後6時頃 c 午後7時頃 d 午後8時頃 e 午後9時頃 f その他（ ）	）まで

<広場>

質問 18 今回の駅前整備では、多目的に使い、緑地等も備えた広場も整備していくこととしています。広場では、どのようなことができればよいと思いますか。（3つまで選択してください。）

- a イベントの開催
- b 本が読める
- c 体を動かすことができる
- d 緑を感じることができる
- e 休憩ができる
- f 待ち合わせや談話ができる
- g 飲食ができる
- h 趣味仲間やサークルの活動ができる
- i その他（ ）

<駐車場、バスベイ>

質問 19 今回の駅前整備では、駐車場やバスベイを整備する計画としています。整備後、酒田コミュニケーションポート（仮称）を利用するとした場合の交通手段は何ですか。

- a 電車
- b 自転車
- c バス
- d タクシー
- e 自動車
- f バイク
- g 徒歩
- h その他 ()

＜観光情報センター＞

質問 20 現在の駅舎内の観光案内所の環境改善や機能向上を図るため、観光情報センターの整備を計画しています。ライブラリーセンターなどと連携を図りながら、観光客、来街者にどのようなサービスが提供できれば良いと思いますか。

- a お土産品の充実
- b 休憩ができる（カフェ等を含む）
- c ライブラリーセンターの地域情報資料を活用しての情報発信
- d インバウンド対応機能の充実
- e インターネットやWi-Fi環境の充実
- f バーチャル映像等による歴史、文化、自然の紹介
- g その他 ()

質問 21 持続的に交流やにぎわい創出を図っていくため、市民の皆さんからも、新公共施設のイベント企画や施設運営等へ積極的に参画していただくことがとても大切と考えています。あなたは、参画したいと思いますか。

- a 参画してみたい
- b 参画しない
- c その他 ()

質問 22 その他必要なものや使いやすい新しい施設とするため、ご意見があれば記入をお願いします。（自由意見）

ご協力ありがとうございました。

このアンケートの結果は、市ホームページ等にて公表していく予定です。

(2) 高校生アンケート結果

1 調査項目 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備に関する高校生アンケート調査

2 調査目的

酒田駅前の旧ジャスコ跡地を中心とした区域で、交流・にぎわいの創出を図るため、官民連携での複合施設の整備を計画しています。この複合施設を中心としてライブラリーセンター（現文化センター内の中央図書館・児童図書室の機能は当該施設に移転）のほか、カフェ、観光情報センター、広場、駐車場、バスベイの公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称））を計画しています。

市民の皆様からのご意見を伺い、多くの市民から利用していただける魅力ある施設整備を図るための基礎資料とします。

3 調査期間 平成28年8月25日（木）～9月1日（木）

4 調査方法 市内各高校（5校）より

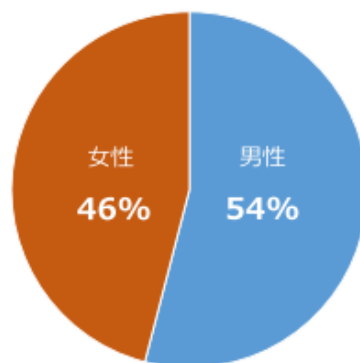
5 調査対象者 市内各高校に通学中の生徒

6 回答者 694人

7 調査結果

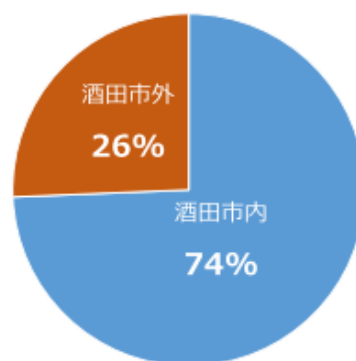
質問1 あなたの性別を教えてください。

男	375人	54%
女	319人	46%
合計	694人	100%



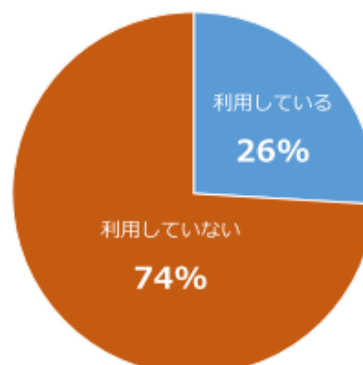
質問2 あなたの住んでいるところを教えてください。

酒田市内	516人	74%
酒田市外	178人	26%
合計	694人	100%



質問3 あなたの通学のために、酒田駅（鉄道）を利用していますか。

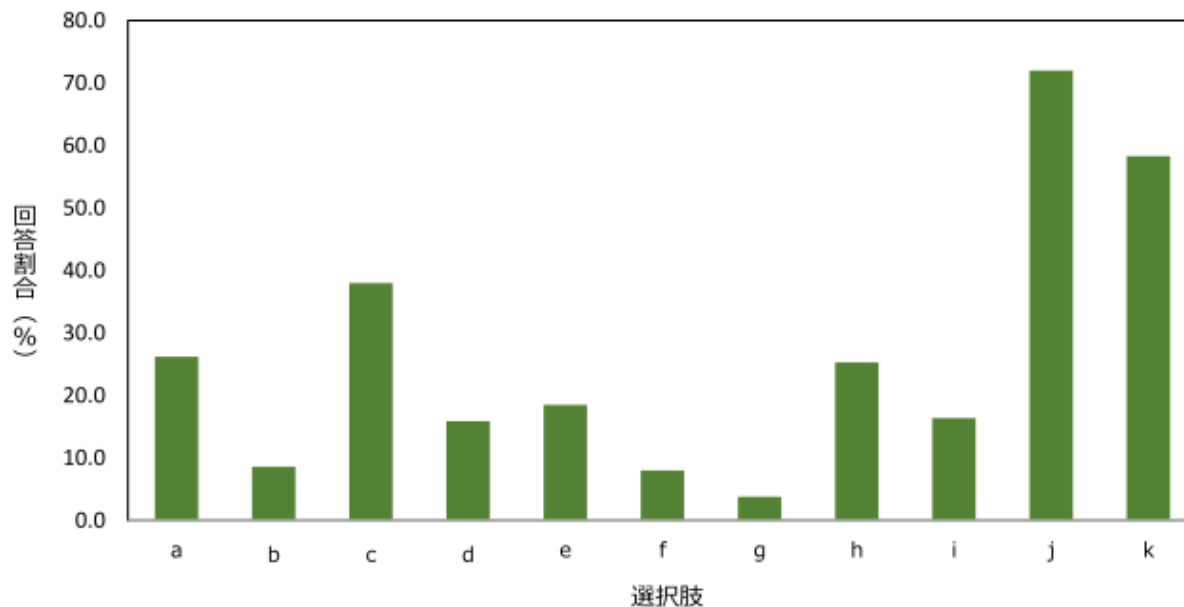
利用している	180人	26%
利用していない	514人	74%
合計	694人	100%



質問4 通学途中や休みの日等に、利用しやすい、利用したくなる駅前公共施設となるため、必要な機能、スペース、設備、サービス等を教えてください。（3つまで選択）

項目	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
回答数（人）	182	60	264	111	129	56	27	176	114	500	405
回答割合（%）	26.2	8.6	38.0	15.9	18.5	8.0	3.8	25.3	16.4	72.0	58.3

※全体回答者数 694人



※質問4 選択肢

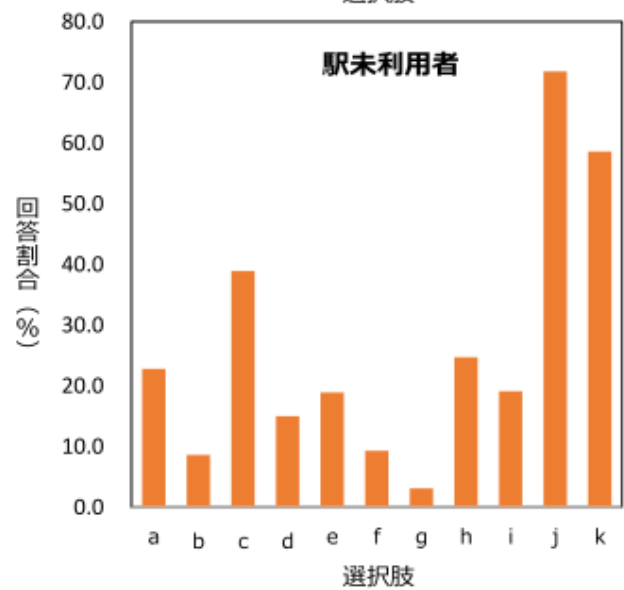
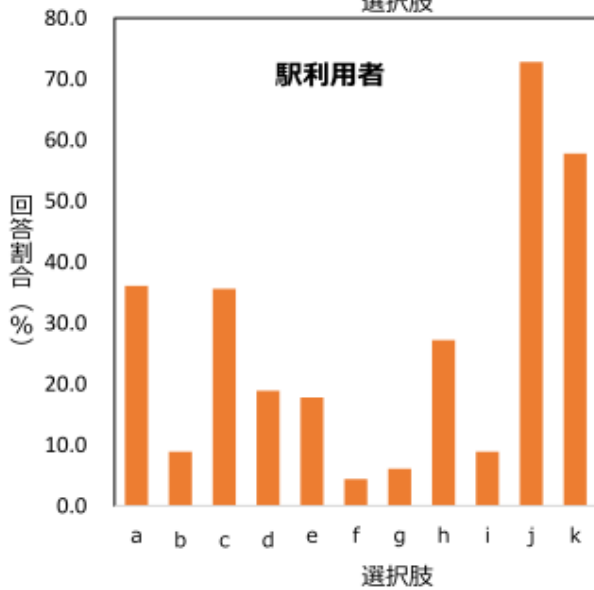
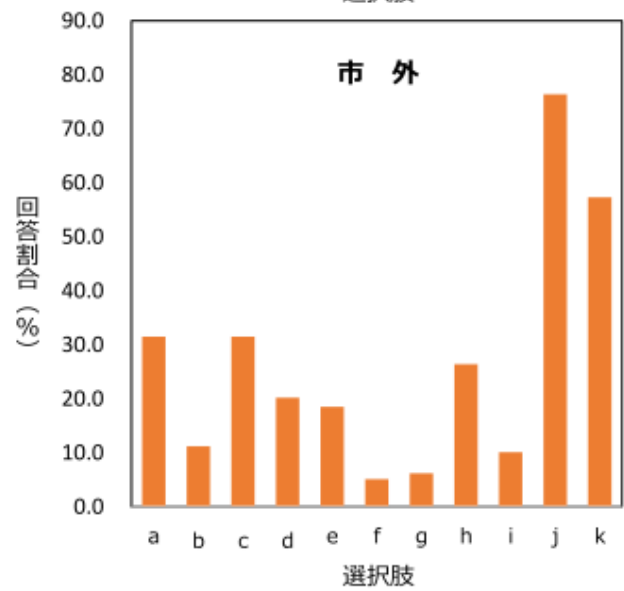
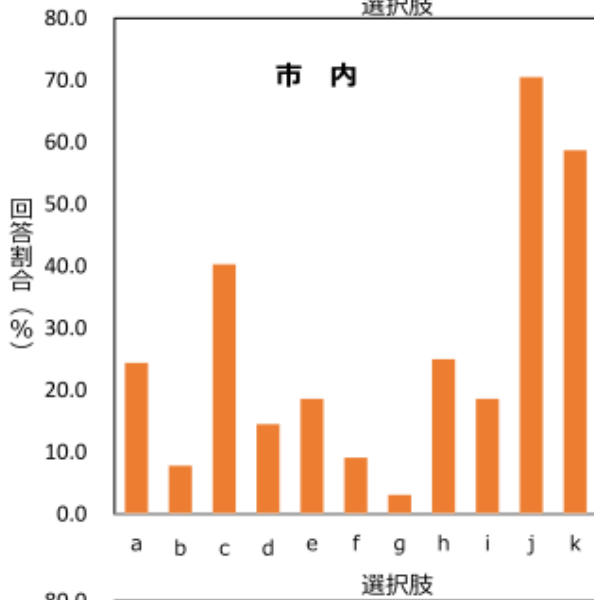
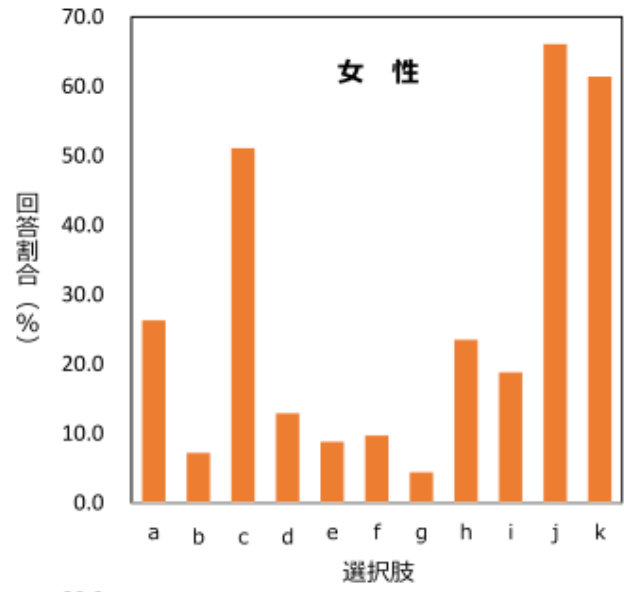
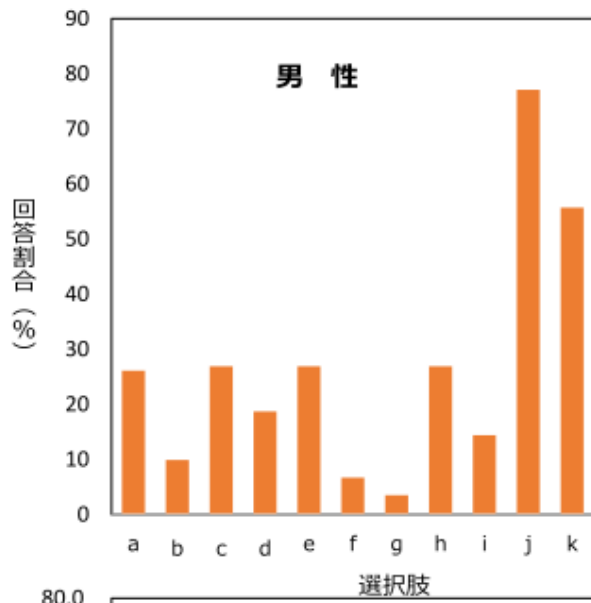
- a 友人と雑談しながら、本を読める場所がほしい。
- b 静かにする場所（サイレントブース）がほしい。
- c 勉強できる場所をたくさん設けてほしい。
- d ゆっくりくつろげて、本が読めるスペースがほしい。
- e マンガをたくさん置いてほしい。
- f ティーンズ（10代、中高生向け雑誌等）のコーナーの図書を充実してほしい。
- g 就職や進学に役立つ情報がほしい。
- h 屋外でも休憩できるようなテラスやベンチがあると良い。
- i 開館時間を延ばしてほしい。（現図書館は、平日午後7時）
- j インターネットやWi-Fi環境を充実して欲しい。
- k 自由に飲食できるスペースがほしい。

◎選択項目が多かった上位傾向を見ると、蔵書や読書スペースの充実等の図書資料（閲覧機能を含む。）に直接的関係するものより、ネット環境の充実、飲食可能スペース、学習室の充実等、交流・滞在型機能を求めるものが多かった。

◎属性ごとに比較してみても、前述の傾向は、ほぼ同じであった。（上位5つに選択された項目は、ほぼ同じ）

◎唯一、属性比較で傾向が違ったのが男性の属性で、“マンガをたくさん置いてほしい。”が上位5つの中に選択された。

参考：属性ごとの集計



質問5 その他必要なものや使いやすい新しい施設とするため、ご意見があれば記入をお願いします。

※主な意見のみ抜粋

大項目（意見数）	小項目	主な関連意見	
案内情報（4）	利用方法	電車に乗る機会がないため、利用の仕方がわからない。	
	案内等	時計や電光掲示板を設置してほしい。	
施設全体（51）	交流の場	雑談できるスペースがあるといい。 空いた時間をつぶせる施設だといい。	
	機能・施設	バリアフリーやユニバーサルデザインに対応しているといい（子供からお年寄りまで使いやすいように）。 ライブラリーセンター以外の施設をもっと入れてほしい 洋式トイレを多くしてほしい。 パソコンやWi-Fiが使えるたり、DVDが見れる場所が欲しい。 ベビールームや子供を預けられる施設。	
	スペース	飲み物が飲めてくつろげるスペースが欲しい 子どもがにぎやかに過ごせる場所と静かに勉強できる場所を分けて欲しい。 気軽に利用できる。 音楽を自由に聞ける。 外でくつろげたり、イベントができる。	
	観光	観光客が楽しめるスポットにして欲しい。	
	雰囲気	都会的にして欲しい。 綺麗なデザインにして欲しい。 和風なデザインが酒田らしいと思う。	
		都会っぽくなりすぎないで欲しい。 緑がたくさん欲しい。	
	ライブラリーセンター（17）	蔵書	リクエストした本は他市から借りるのでなく購入して欲しい。 本の種類の充実。
		スペース	にぎやかにできる場所。 広い図書館。 図書館ばかりメインにしないで欲しい。
		雰囲気	みんなが利用しやすい図書館。
飲食店等（カフェ憩いの場）（72）	お店の種類	カフェ。 立ち食いソバ（うどん）。 お茶やコーヒーの飲み放題。 全国チェーンの飲食店。 メイド喫茶。 地元の特産物が食べられるレストラン。 ラーメン屋。 スイーツ店。	
		雰囲気	勉強しながら飲食ができる。 ゆっくりくつろげる。 学生が入りやすい飲食店（値段や雰囲気）。
民間、商業施設（98）	お店の種類	ショッピングセンター（アウトレット）。 服屋。 土産物屋。 宿泊施設。 スポーツ施設。 楽器取扱店。 雑貨屋。 本屋。	

	その他意見	中高生が遊べる場所にしてほしい。 ホテルは大きくなっていい。 集合住宅に人が入るか不安なのでしっかりPRしてほしい。 駅前の商店街と連携して欲しい。 本屋はいらない。
学習場所 (16)	スペース	勉強しながら自由に飲食ができる。 学習ブースを増やして欲しい。 賑やかに勉強できるスペース。 静かにゆっくり勉強ができる。
公共交通、駐輪場、駐車場 (13)	駐輪場	自転車が綺麗に並べられる駐輪場が欲しい。 広い駐輪場。
	交通	酒田駅からの二次交通の充実。
スポーツ施設 (18)	施設の種類	バスケットリング。 サッカー場。 テニスコート。 スポーツジム。
娯楽施設 (映画・ゲームセンター) (55)	施設の種類	映画館。 音楽ショップ。 アニメのグッズが充実しているお店。 ゲームセンター。 ネットカフェ。 プリクラ機の設置。 お風呂や温泉施設。
開館時間 (4)	時間	朝早くからの開館。 部活が終わった後にも利用できるよう遅くまでの開館。
交流 (5)	場所	通勤・通学の場所としてだけでなく、若者が集まるような交流の場となって欲しい。
その他 (27)	その他	酒田が発展する楽しい場所にして欲しい。 駅前の商店街との連携。 似たようなお店だけでなく、多様性のあるお店が欲しい。 就職先を酒田に増やして大人でも使いやすい場所にして欲しい。 ゲームアプリとの連携。

◎カフェが欲しいという意見が多く、中でも価格設定や雰囲気が中高生が入りやすいようなカフェがいいという意見が目立った。

◎買い物ができる場所や友人と遊べる場所が欲しいという意見も多く、一人でゆっくり静かに過ごすというよりも、交流できる場所が欲しいという意見が多い傾向にある。

◎また、静かにするスペースと賑やかにできるスペースを分けてほしいという意見も多く、目的によって使用するスペースを変えたいというのが読み取れる。

3 市民ワークショップ結果

(1) 市民ワークショップの目的

酒田駅前に新しく整備する予定の複合公共施設「酒田コミュニケーションポート(仮称)」を、市民だれもが使いやすく、市外から酒田を訪れる人たちにとって魅力あふれる場とするには、何が必要かを市民同士で考え、基本計画に活かすアイデアをまとめることを目的とする。

(2) 実施概要

次の要領で実施した(全3回)。

回	テーマ	日時	場所	参加者数
1	新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう	平成28年9月22日(木) 9時半~12時半	交流ひろ ば1階	30
2	酒田らしさを施設に活かそう	平成28年10月2日(日) 9時半~12時半	同上	24
3	新しい施設の使い方を考えよう	平成28年10月22日(土) 13時~16時	同上	19

(3) 各回のまとめ

各回の進行内容及び主なアイデア・意見等は、次のとおりである。

① 第1回

ア テーマ 「新しい施設に必要な機能、欲しい機能を考えよう」

イ 進行内容

- ・ワークショップに入る前に、「最新の公共施設整備事例について」のミニレクチャーを行い、新しい施設のイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、「新しい施設に必要と思う機能、欲しいと思う機能」について、「ライブラリーセンター」「観光情報センター」「カフェ」「広場・駐車場・バスベイ」の4つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、ディスカッションを行う。
- ・時間の関係上、発表は7グループ中2グループにとどめ、後は各グループの成果品を全員で見て回る形とした。

ウ 成果物

- ・グループ(A班~G班まで、7グループ)で出された主なアイデアは、次のとおりである。

●ライブラリーセンターについて

【施設】

- ・ホワイトボード付（備付）の自由に使える会議室、打合せスペース
- ・学校図書館支援ルーム
- ・ちょっとした買い物ができる機能（場所）を併設（ついでに寄れる）
- ・固定イスでなく自由に配置を変えられる多目的ホール（講座、講演会、上映会）
- ・高齢者と身体の不自由な人に親切な作り（バリアフリー、多目的トイレ、オストメイト対応トイレ）
- ・学習室（パソコン持ち込み可）
- ・映画館（多目的に使える）
- ・スーパー
- ・棚の高さを低くしてほしい
- ・腰が痛くならないようなイスの設置

【空間・動線】

- ・天気の良い日は外で本が読めるスペース
- ・樹のある森的な空間のライブラリー
- ・友人と一緒に話せるスペース

【児童図書室関係】

- ・赤ちゃんコーナー（フロア）の設置（遊具の設置やキャラクター絵本などの棚の配置）
- ・子ども広場と児童図書のスペースを一緒にする
- ・児童書のスペースは騒がしくても大丈夫な構造、間取り

【貸出関係】

- ・宅配での本の貸出し、返却サービス
- ・ほかの図書館の本も借りられるシステム
- ・ドライブスルー返却機能

【蔵書関係】

- ・地元の郷土歴史の（庄内近郊）コーナーを作り、勉強できる機会があるといい
- ・ビジネス支援コーナー（就業や起業に役立つ情報と書籍）

【サービス関係】

- ・Wi-Fi 機能
- ・コンシェルジュの設置
- ・大人も利用しやすい（仕事終わりに）時間帯の開館
- ・24h 読み放題
- ・気に入った本を購入できる機能
- ・夏休みなど、小中学生の宿題や自由研究のサポートをしてくれるボランティア（元先生等）
- ・地下施設で音楽が流れる中で本を読める（クラシック）
- ・パソコンやタブレットを自由に使えるコーナー（電源、コンセントも）
- ・飲み物の持ちこみOKのブース
- ・実験コーナー（理科等）、体験コーナー（折り紙等）の企画

●観光情報センターについて

【案内・情報関係】

- ・QRコードで説明やマップが出るようなガイド
- ・居酒屋、夜のお店情報、観光情報誌にない観光情報の提供
- ・観光ガイド機能（ガイドの養成？）
- ・天気、病院等の場所が分かる
- ・旧酒田市だけでなく、遊佐、八幡、平田、松山、友好都市等の紹介
- ・行きたい所への所要時間、利用できる交通手段、料金などがすぐわかる
- ・地域の活動（ボランティア情報）わかる、つながることのできる場
- ・ホームページを外国人にも分かるようにつくる

【空間・動線関係】

- ・郷土芸能、文化、歴史がわかる展示施設
- ・お土産品（食品）を販売しているスペース
- ・入浴施設、サウナ

【サービス関係】

- ・Wi-Fi
- ・医療、税金に関することを教えてくれる窓口を駅降りて、すぐに使えると年寄りに優しい
- ・地元のいろいろな会社の日本酒が試飲でき、そこで買える
- ・気楽に集い飲み食いが出来る場所
- ・医療施設か老人ホームなどの紹介や相談
- ・酒田の伝統工芸品展示、紹介
- ・地元大学生のツアー実施や駐在ガイド、おもてなし隊などとの連携
- ・地元食材、郷土料理の実演販売
- ・酒田の人のあたたかさが伝わるようなものを目で伝える。方言で他県などから人をむかえる
- ・若者が来て楽しめる施設
- ・高齢者が多いので、常にロコモ運動が出来る（指導者付き）

●カフェについて

【施設】

- ・芝のある場
- ・トイレに配慮する
- ・コワーキングスペース
- ・レンタルできるブースやスペース（プロジェクターとかホワイトボード）（展示できたり、演奏会、パーティー、読書会のできるルーム）

【空間・動線】

- ・若者が集まる、かわいい、きれいと思えるような商品や建物のデザイン
- ・「ゆったりいられる場」と「ちょっと利用」が両方できるデザイン

- ・くつろいでゆっくりできる空間
- ・昼と夜の営業で違った雰囲気を出してほしい
- ・乳児連れのお母さんでも安心して過ごせるスペース（段差低いスペース）
- ・ペットを連れて入れるエリアがあったらいいな

【メニュー】

- ・地産、地消のメニュー
- ・カフェとは別に酒田ラーメンが食べられるスペース（観光用としても）

【サービス】

- ・Wi-Fi 機能
- ・平日の仕事後も使える営業時間
- ・買ったお土産を食べたい。弁当持込み可にしてもらいたい。飲料も
- ・アルコールの提供
- ・民間の企業が物販できる（期間出張型）
- ・地元の飲食店とのコラボイベント開催
- ・酒田の名産品、地元の土産品などを置く
- ・ゆっくり本が読めるよう（長居できるよう）に2本目のドリンクが安いと嬉しい
- ・携帯やノートパソコンが充電できる
- ・岸洋子のシャンソンを流す

●広場・駐車場・バスベイについて

【広場】

- ・Wi-Fi 機能
- ・公園のように子供が外で遊べる（すべり台、シーソーとかの遊具）
- ・野外ライブできる
- ・足湯ができる
- ・子供を遊ばせながら親がゆっくりできる
- ・休憩スペース（少し横になれるような）
- ・バーベキューができる
- ・トイレについて、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ（それぞれに、おむつ替えシート、キッズチェア設置）
- ・季節の花が咲いている
- ・芝のある、寝転がって遊べる
- ・スポーツができる

【駐車場】

- ・分譲マンションから雨に濡れないで施設に行ける（地下で繋がっている）、融雪設備
- ・駐車場の場所がすぐわかるようにマークの表示
- ・無料で幅の広い止めやすい駐車場
- ・マンション駐車場と外部から駐車する場所と分けてほしい（1,2F と 3,4F とか）

【バスベイ】

- ・その場でバスのチケットが買える（庄交バスターミナルのような）高速バス
- ・バス乗り場が誰にでもわかりやすい表示で、高齢者や障がい者が使いやすい乗り場
- ・電車、バスの出発前（5分）の全館内放送

② 第2回

ア テーマ 「酒田らしさを施設に活かそう」

イ 進行内容

- ・1回目の内容の振り返りを行う。
- ・「地域資源を活用した図書館サービス」の事例紹介を行い、酒田らしさを施設に活かすイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、「酒田のアピールポイント」について、「食」「自然」「歴史・伝統」「観光スポット」「その他なんでも」の5つのカテゴリごとにアイデアを書き出し、アピールポイントを施設に活かす方向性として、「情報発信」「イベント」「デザイン」という3つのテーマでまとめを行う。
- ・6グループ全ての発表を行った（班編成は出席者数の関係上、1回目とは異なる）。

ウ 成果物

- ・グループ（A班～F班まで、6グループ）ごとに出されたアイデアは、次のとおりである。

【A班】まとめのテーマ：イベント

実施場所	イベント内容
観光情報センター	・庄内の四季の映像を流し、山居倉庫、北前文化について知るイベント！
広場	・酒田の特産フェア（広場で屋台を出してみんなで食べる。祭のように楽しく♪ 民俗芸能のステージも！）
ライブラリーセンター	・酒田市立図書館の前身である光丘文庫を記念して、光丘文庫のできた日を酒田市立図書館の記念日としてイベントを開催する。 ・本間家や光丘の歴史的発進、地域文化人の紹介、地域文化のデジタル化による紹介 ・酒田に関することを知る日としてイベントを作る「酒田の歴史を知る日」

【B班】まとめのテーマ：イベント

イベント内容
自然体験型イベント（子どもたちの学びと結びつける）
出張観光（施設に出張してきてもらう）
外国人向けイベント
北前船イベント
参加型花火
ラーメンフェスタなど
芋煮会など
お酒・おつまみ

【C班】まとめのテーマ：情報発信

アピールポイント のカテゴリ	情報発信に使える酒田のアピールポイント
自然	鳥海山、ジオパーク、飛島、海も山も楽しめる、冬の日本海、最上川（豊富な水資源）、鳥海山をバックにした四季の稲田
食（めし）	庄内メロン・柿・梨・赤ネギ、漬物（茄子）、ダダチャ豆、酒田のラーメン、孟宗竹、トビウオ（ラーメン）、芋煮会、庄内米、グルメ、日本酒（元 JAL 国際線指定酒）、魚介類（寒鰯汁、カキ、スルメ、ハタハタ）、すし、オランダ煎餅
観光・歴史・伝統	<p><日和山> 日和山公園（北前船、最古の灯台、石碑、文学の散歩道）、即身仏、台町周辺（小路）</p> <p><スポット> 寺町（京都を思わせる）、「おくりびと」ロケ地、本間様・相馬楼、山居倉庫、土門拳記念館、飛島</p> <p><旧町> 飛島神社（仁王堂）、平田の十二の滝、松山城址、八幡の玉すだれの滝</p> <p><歴史> 北前船（山居倉庫）、江戸時代から続く鶴岡・酒田の関係（京・大阪のような）、国府所在地（平安時代）</p> <p><人> 岸洋子、北の富士、大川周明、吉野弘、石原莞爾、松尾芭蕉、西郷隆盛</p> <p>まちあるき・ぶら探酒田、黒森歌舞伎・松山能・酒田祭り、ししおどり</p>
その他	なんといっても酒田弁（とくにお年寄りの）、ゆかしさ、相手に協力する・協調する気がある、公益の心（人のためにがんばれる）、親切な人柄、人なつこい人柄

これらアピールポイントを、ユーチューブなど使って、こちらから発信していったらいいのではないか、というまとめがあった。

【D班】まとめのテーマ：デザイン

<ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリー、情報センター、カフェ、広場、全体を「酒田らしさ」をテーマにし、それぞれ独立させるのではなく、有機性を持たせて酒田の玄関口としての機能を持たせる。（＝施設デザインのコンセプト） ・カフェ、情報センターの壁面も最大限にいかし、インパクトをもたせる。（市民も意外に知らない） ・ライブラリーセンターに酒田を知るコーナーを設置する。（企画展をする） ・つながり（統一性） → すべての施設を通して日常的に酒田をイメージできる。（歴史、文化、自然、食....） ・酒田を知るコーナーin LC（ライブラリーセンター） → 文化、商業、自然で分ける 観光センター⇔ライブラリーセンターの双方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・観光客向けに（時間がない）ライブラリーセンターに行かなくても、観光センターでも事足りる工夫。 ・タッチパネルで映像に流れる ・観光センター → さっと楽しめる → 興味を持ったら ・ライブラリーセンター → じっくり調べる

【E班】まとめのテーマ：情報発信

情報発信の場所	情報発信手法・内容
施設全体	・映像で食を発信（五感で感じる）、サイネージ、プロジェクションで季節ごとの情報、建物屋上展望デッキを設ける（視覚利用しての情報発信）。SNSで発信
ライブラリーセンター	・酒田市の観光図書コーナーの設置、関連図書コーナーの設置
観光情報センター	・酒田見所カレンダーの掲示、アウトドアレジャー窓口への誘導、タブレット端末
広場	・祭りの際の拠点機能が担える場所に、イベントの開催（ラーメン、酒）
駐車場・バスベイ	・駐車券にQRコード（市のHPやガイドなどにアクセスできる、有料広告で収入も？）、利用回数に応じてサービス提供（無料食事券など）、サイネージで乗換案内

【F班】まとめのテーマ：デザイン

デザインのテーマ	デザインの内容
外観はどんな感じ？	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、屋根が波形だったりする = 山居倉庫の屋根に見えたり、波に見えたり、山並みに見えたり、光の動き＝ライトアップする ・モニュメント：北前船をモチーフに（器にみたくて）酒田の名産・名物をのせる（イメージはカゴいっぱいのかだものみたい）
モニュメント	・北前船をモチーフに（器にみたくて）酒田の名産・名物をのせる（イメージはカゴいっぱいのかだものみたい）
内装はこんな感じ？	・例えば、スペースの一部に木の感触を味わえるようなもの、かわら、材料を使って、東屋みたいなものを作る

③ 第3回

ア テーマ 「新しい施設の使い方を考えよう」

イ 進行内容

- ・2回目の内容の振り返りを行う。
- ・様々な市民に使ってもらうための事例紹介を「学び（医療情報など）」「子育て支援」「市民交流」「情報発信」の4つの視点から行い、新しい施設に市民が使うイメージ形成を図る。
- ・ワークショップでは、①必要と思う場所・機能②なぜ必要なのかの理由③必要と思う場所や機能の具体的な使い方、を個々に書き出し、それらアイデアを「学びの場」「子育ての場」「情報発信の場」「交流の場」「その他」というテーマでグルーピングし、さらに具体的な場をイメージしながらまとめを行う。
- ・5グループ全ての発表を行った（班編成は出席者数の関係上、1回目・2回目とは、異なる）。
- ・グループ発表後、「あなたが将来コミュニケーションポートで過ごすある一日」というストーリーを個々に考え、A4用紙1枚にまとめた。

ウ 成果物

- ・グループ（A班～E班まで、5グループ）で出されたアイデアは、次のとおりである。

テーマと主なアイデア

●学びの場について

- ・酒田の歴史について深く知る
- ・光丘文庫の残っている本の閲覧とアーカイブ（本の説明、DVDの録画のアーカイブ）のできる場
- ・目的別に対応してくれる学びの場
- ・中高生を応援する学びの場
- ・地域を知れる学びの場
- ・「ひとり」と「みんな」自在に使える場
- ・酒田を知り、好きになる学びの場
- ・学生が時間を有効利用できる学びの場
- ・酒田の良さを学べる場
- ・生活の利便性の向上を学べる場

●子育ての場について

- ・児童＋ジュニアコーナー（おしゃべり、泣いても気にしないで利用できる場）
- ・親子連れが気軽に立ち寄れる場
- ・「公園デビュー」に代わる「〇〇デビュー」の場
- ・子どもも大人も楽しめる
- ・小さい子が安心して遊べる場
- ・子育て情報を共有し相談できる場

●情報発信の場について

- ・情報発信できる掲示板（サイネージ）
- ・人を集めたい、発信したい人のための部類分けしをして、明確な発信ができる場
- ・酒田らしさを発信する場（市民にも！観光客にも！）
- ・観光センターとの連動
- ・参加型情報発信
- ・インパクトのある観光情報センター（ハード）
- ・積極的な情報発信（ソフト） →検索でなく、拡散で伝える
- ・地元と来訪者の口コミが行き交う場
- ・若者が集う場の提供

●交流の場について

- ・おしゃべり、会議室、発表スペース（区切って使えるスペース）。有料で会議室、学習室（個室）の場
- ・軽食の持ち込みも自由に摂ることのできる場
- ・読書だけに限らず多目的に使用できる場
- ・おしゃべりルームの設置
- ・みんながくつろげる（観光客も市民も）
- ・おいしくて、おしゃれで、おちつけるカフェ
- ・集客イベントのできる場+駅前の「交流」の拠点
- ・日常的に集える場
- ・定例のイベント開催

●その他

- ・多様なニーズに応える場（サイレントルーム、オープンな学習スペース）
- ・返却ポスト（ドライブスルー、駅返却ポスト etc.）
- ・観光みやげを買える所（簡単な情報の発信）
- ・「いつ」でも「誰」でも使いやすい（例えば、夜間返却、荷物預かりサービス）
- ・「買える」サービス
 - ・夜遅くまで利用できる
- ・多機能で使える
 - ・各施設、機能の融合

4 高校生ワークショップ結果

平成 28 年 10 月 7 日開催 高校生ワークショップ
(光陵高校×東北公益文科大学×市) 全体発表の概要

1 班 (班名 : 不思議おかしいメンバー)

○図書館に行かない理由

- ・堅苦しい。
- ・そもそも話せるスペースがない。

○どういう図書館があったら使うか

(スペース)

- ・そもそも携帯を利用できるようにしてほしい。その上で、充電できるコンセントの整備 (高校はどうしているのだろうか)。Wi-Fi 設備

(設備)

- ・売店、カフェテリア等の飲食
- ・バーカウンターとかも。そこで夏には氷水を置いてほしい。

(本)

- ・最新刊を置いてほしい。
- ・世代に合わせて様々な本の充実。

(その他)

- ・図書館自体をお洒落にしてほしい。外観、本のチョイスを含めてお洒落にしてほしい。
- ・大きなポイントとして、図書館という名前だと堅苦しいので、名前を変えてほしい。
- ・酒田の特産品などを使って地産地消する図書館。木材、食材等を含めて、それを楽しみながら、読書や勉強ができれば。
- ・静かなスペースとお話しできるスペースを分けたりする。
- ・時間外に貸出し、返却できたり、セルフでできたりするシステムの導入

※フロア質問

携帯の利用形態は。→音楽を聴いたり、調べもの用に携帯を使う。音楽をとにかく聞きたい。

2 班 (班名 : ペッパー)

○放課後、休日どこにいるか

- ・学校
- ・測量
- ・グラウンド (部活)
- ・休みの日だと、カラオケや本屋さんに行っているのがほとんど。

○図書館に行かない理由

- ・図書館を利用しない人が班全員であった。

その理由は、

- ・行くのが面倒くさい。(これはそもそも論)
- ・漫画本が無い。
- ・新刊がない。
- ・本屋の方が探しやすい。
- ・まじめな場所というイメージ
- ・ほしい本が無い。

○何があったら良いか。

- ・漫画本
- ・新刊本
- ・休める場所。個室があるのが大事。(ごろんとできたりとか)
- ・カフェであったり、お話しができるところ。
- ・おもちゃ屋さん。小さい子どもが利用しやすいのでは。
- ・運動できる場所
- ・化粧ができるところもあるとうれしい。
- ・映画館
- ・アニメイトがあると光陵高校の半分は行くと思う。
- ・ペッパーがいたら、外から人が見に来ると思う。

3班 (班名 : ○○の集い)

○放課後、休日どこにいるのか

- ・ラーメン
- ・マック (ファーストフード)
- ・温泉 (サウナで語る)
- ・卓球 (なかなか場所が取れない)

○図書館に行く理由

- ・勉強 (そもそも図書館を利用しないが、強いて言えば勉強ぐらいにしか利用していないという意味)

○図書館に行かない理由

- ・本に興味がない。
- ・漫画や読みたい本、小説がない。
- ・静かで、飲食ができない。

○何があったら良いか。

- ・24時間営業
- ・Wi-Fi環境がある場所、コインロッカー
- ・キッチンスペース (電子レンジとかポットとかがあって気軽に利用できるもの)
- ・ATMを置く。
- ・歴代ジャンプを全部揃える。

- ・カフェがほしい。駅通学の人が、待ち時間で利用できるし、現状は駅近くで話せる所がない。
- ・リラックスできる場所（温泉、サウナ、マッサージチェアなど）
- ・個室がほしい。勉強にも集中できる。
- ・映画館（知り合い同志で使えるような少し小さめのもの）
- ・スポーツ施設（スケボーやバスケットリング）
- ・本屋。図書館に行かない理由に返すのが面倒という意見や、ニーズに合った本が無いという意見があったので、例えば、図書館でほしい本が見つかったときに、すぐそこで買えるみたいなものがあればと考えた。本の裏表紙とかにバーコードとか付いていて、そこを携帯とかで読み込んで、すぐにネット購入できるような仕組み等があったらいい。
- ・ゲーセン
- ・フードコーナー
- ・撮影スタジオ（ユーチューブとか、クラス CM の動画撮りのため）
- ・ライブハウス（人を呼んでトークショーとか、人を呼べるようなスペース）

※フロア質問

ネットで買えるというのは、電子図書のことか？

→電子図書でも良いし、実物の本（厚み、香り等が感じられるような）も良い。

4 班（班名：パイセン）

○放課後、休日どこにいるか

- ・友達の家
- ・カラオケ
- ・学校
- ・マック
- ・体育館

○放課後、休日何をしているのか。

- ・卓球
- ・勉強

○図書館に行く理由

- ・班の中では6人中5人が図書館に行く。
- ・勉強、テスト勉強
- ・本を借りにいくため。
- ・静かに勉強に集中できるから。

○図書館に行かない理由

- ・借りに行くのが面倒くさい。
- ・小説などを読まない
- ・借りるより買った方がよい。
- ・携帯が使えない。
- ・家から遠い。
- ・飲食できない。

○何があったら良いか

- ・筋トレルーム
- ・託児施設（子ども向けの映画上映とかと連携できるかなと考えた）
- ・映画館
- ・プラネタリウム

- ・温泉、シャワールーム
- ・買い物できる場所。今の駅前には、コンビニしかない。スポーツ用品とか日用品が買えるところがあれば。
- ・インターネット、Wi-Fi 環境 ・飲食できる場所
- ・運動とか、ランニングして駅前に疲れた温泉とかあれば。それも 100 円で入れるみたいなの。
- ・映画館、プラネタリウムについては、温泉自体を映画館とかの一部として利用することができれば。入りながら見るとか。温泉に入りながら本を読めれば。
- ・カフェ。お友達と会話ができるといい。勉強もできるといい。

※フロア質問

- ・託児施設をほしいと思った理由は
→別のワークショップに参加した際に、同じテーブルの人から聞いた。観光客とかか、子どもを預けて親が観光を回るということができれば。

5 班（班名：チーム炭水化物）

○放課後、休日どこにいるか

- ・家
- ・カラオケ
- ・ヤマダ電機
- ・本屋
- ・ゲームセンター

○放課後、休日何をしているか。

- ・部活
- ・ゲーム
- ・測量
- ・ダーツ、カラオケを歌う

○図書館に行く理由

- ・静かで集中できる

○図書館に行かない理由

- ・自分の本があるので、わざわざ行かなくて良い。
- ・興味のある本、読みたい本がない。
- ・静かすぎてストレスだ。何か物音がすると振り向く。くしゃみもしゃっくりもできない。
- ・お年寄りばかりのイメージ。

○何があったら良いか。

- ・カフェは必要。でもお洒落すぎて入れない感じは嫌。学生とかが働いているようなカフェだったら行きやすい。電車の待ち時間に良い。
- ・文房具販売をしてほしい。スーパーで売っているような文房具でなくお洒落なものを置いてほしい。ここからネット注文できてほしい。
- ・オープンスペースということで、ネット環境、Wi-Fi 環境の整備が必要。
- ・音楽（BGM）が流れている場所。

- 座敷を整備して、座って本が読める。お年寄りの方にも良い。
- 会話ができる、自由に話していいスペースがあれば。
- 映画館でなくても、企画イベントで映画上映をやってほしい。パブリックビューイングもできればいい。
- イベント会場もほしい。ゲーム大会とかできれば。カラオケもできれば。
- 今までやったことがないようなことができる場所。例えば、小動物も触れ合える場所とか。猫カフェとかあっても。やったことが無いスポーツ（ダーツとか）が、気軽にできるスペースがあれば。
- バーチャル水族館。自分の描いたものが画面で泳ぐようなもの。それを観光施設になるかな。
- **VR** システムもあつたらいいな。**VR** でバーチャルなまちづくりができるようなものになれば面白い。セグウェイもあるといい。

5 各団体等との意見交換

団体名	開催年月日	主に出された意見項目
副市長グループミーティング（子育て中の母親）	平成 28 年 7 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れが利用しやすくなるような空間について ・児童図書の蔵書や陳列方法について ・施設に行きやすい駐車場や公共交通機関について 等
読み聞かせボランティア「あさの葉会」	平成 28 年 7 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせがしやすい空間の配置や機能について ・蔵書の種類や陳列方法について ・高齢者や高校生が利用しやすくなる図書館について 等
読み聞かせボランティア「絵本の部屋」	平成 28 年 7 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせがしやすい空間の配置や機能について ・児童図書の蔵書の種類や陳列方法について ・学校や家庭との図書館の連携について 等
一般社団法人 子どもの読書サポート アシード	平成 28 年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で働く人材について ・新規利用者の開拓について ・読み聞かせがしやすい空間や機能について 等
松陵コミ振役員等	平成 28 年 8 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に長く利用される施設について ・その他、事業に関する質問 等
障がい者福祉会	平成 28 年 8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚障がい者が利用しやすい施設の機能について ・災害時に必要な機能について ・点字図書や音声図書について 等
東北公益文科大学 学生	平成 28 年 9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が利用しやすくなる空間や機能について ・駅利用する観光客へのおもてなしの仕方について ・公共交通機関が利用しやすくなる仕組みについて 等
点字読書会	平成 28 年 9 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者や弱視の人が利用しやすい空間や機能について ・点字図書や録音図書の充実について ・点字図書館と市立図書館との連携について 等
コワーキングスペース __アンダーバー	平成 28 年 11 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・公益大生の図書館利用状況や本の利用について ・人が集まりたくなる場や居心地の良い空間作りについて ・新規利用者や固定客の確保の仕方について 等

写 真

表 紙：平成 28 年 7 月に事業予定者に選定された西松建設株式会社の提案プラン図

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画

発 行 山形県酒田市
〒998-8540 山形県酒田市本町二丁目 2 番 45 号
電話 0234(22)5111（代表）

編 集 酒田市企画振興部都市デザイン課
E-mail toshi-design@city.sakata.lg.jp

策 定 平成 29 年 3 月